

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/1(月)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C小森)本日はあまり雨が降らず過ごせた。昨日、サイトバンカに50cmの滞留水があったことを速報したが、調査行っただけで状況を後ほど報告する。プラント関係はサイトより報告があります。

サリーについては、注水試験および単体試験を始めているところです。水処理関係は後ほど補足します。

4号機 SFP の冷却を昨日より開始しています。

(1F 所長)本日の天気は曇り、軽い雨で、熱中症およびけがの発生はありません。4号機 SFP 冷却については後ほど説明するが、十分冷えており、冷却効果が出ています。速報で通報しましたが、1号機スタック根本で 10Sv/h の線源があることがわかりました。今後調査する必要がある。現状は接近しないように処置をしている。

(1F 発電)1号機は 3.6m³/h で炉注水を行っており、RPV 底部温度は 93℃で安定しています。2号機は 3.7m³/h で炉注水を行っており、RPV 底部ヘッド温度は 123℃、D/W 圧力は 34.0kPa gage で安定しています。SFP 温度は 34℃です。3号機は 8.9m³/h で炉注水を行っており、RPV 底部ヘッド温度は 109℃、D/W 圧力は 0.3kPa gage で安定しています。SFP 温度は 31℃です。4号機 SFP 温度は順調に下がっています。本日 10 時ちょっと前に、R/B カバーリング関連の工事のために温度検出器のケーブル取り外すひつようがあったため、取り外しを実施している。現在は吸い込みポンプ入り口で温度をみており 49℃です。なお、ポンプまでの配管に保温材がなく、配管温度を見ているため実際の SFP の温度は若干高く、ケーブル取り外し前で 8℃の差があった。5、6号機については本日、タンク間の移送および水移送はなく、特記事項はなし。

(1F 復旧)原子炉注水、SFP 注水について特記事項はありません。滞留水の移送について、2、3号機は移送を継続しています。明日、2号機からプロセス建屋への移送を停止する予定です。2号機タービン建屋地下・トレンチの水位はそれぞれ 3mm、6mm 下降しています。3号機タービン建屋地下は 2mm 下降、トレンチは 1mm 上昇です。4号機は変化ありません。集中ラドプロセス建屋は 28mm 上昇し、OP5308mm、HTI 建屋は本日 10:21 に移送を停止しており、52mm 下降して OP3360mm です。本日は、水処理装置のベッセルを3塔交換(装置停止なし)しています。明日はベッセル交換の予定はありません。

本日の仮設タンクからメガフロートへの移送はなく、6号機タービン建屋地下から仮設タンクへの移送もありません。明日は、仮設タンクからメガフロートへの移送を 10:00～17:00、6号機タービン建屋地下から仮設タンクへの移送を 11:00 から 16:00 に予定しています。

(1F 土木)滞留水タンクの G・H エリアの継続工事中です。ガラ撤去については、3・

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

4号機タービン海側エリアにてコンテナ5個分回収しています。海工事については、1～4号機透過防止溝設置工事のため、エクイエッチ船が港に入り、シルトフェンスの開閉を午前中に1回実施しています。明日はシルトフェンスの開閉はない予定です。5, 6号機前面の防波堤補修のためテトラポット積みを行っています。

(1F 建築)1号機カバーリング工事について、R/B 周りのガラ撤去を実施し、物揚場では3回目の水切りを行い、柱2本と・38mの梁1本をメガフロート上にあげています。明日は引き続きメガフロートから物揚場に移送を行います。3号機カバーリング工事については、碎石・鉄板敷き、H鋼の設置を継続しています。飛散防止テントについては、日中および夜間工事で継続しており、日中に雨水排水の工事、夜間にテントの屋根・壁の組み立てを行っています。スラッジ貯蔵施設については継続で地盤改良を行っています。

(1F 保安) (書画にて説明) 1・2号機主排気筒底部にて、10Sv/hの線源が確認されました。ガラ撤去終了後に全体の線量確認のためにガンマカメラで確認したところ、1・2号機主排気筒にオレンジの線量があることが認められた。詳細に確認したところ、1・2号機のSGTS配管が合流する主排気筒底部に高線量を確認した。現在はコーンで区画をして線源の注意箇所を明記している。線量マップに表示の部位を明確にして、1号機主排気筒脇に雰囲気で70～100mSv/h、1・2号機SGTS配管で10Sv/h以上の線源があることを注意喚起しました。また、3・4号機の同様の場所を確認したところ、バックグラウンド同等で7～8mSv/hです。

(安定化C小森) ベントの影響も考えられる。遮蔽により周りの線量を下げる必要もあり要注意。3・4号にないことについてどう考えるか。とりあえず注意喚起をお願いします。

(安定化C滞留水移送) (書画にて説明) プロセス建屋の西側がサイトバンカであり、昨日、サイトバンカ地下にある水に放射線があるとの速報を受け本日詳細に調査を行った。たまり水の状況は、サイトバンカ建屋地下の床上に60cm弱の水深となっており、730m³たまっている。放射能は 4.3×10^4 Bq/cc。周辺のサブドレンの放射能濃度は1Bq/cc以下であり、サブドレンが流入していることは考えにくく、プロセス主建屋の水が漏れ込んでいる可能性が高い。流入量は概ね2cm/日で上昇しており、25m³/日入っていると考えられる。流入経路については、昨日プロセス建屋とサイトバンカをまたぐホースからサイホン効果により流れ込んでいることが考えられると発話したが、現場を確認したところホース表面の線量は0.005～0.01mSv/hであり、高汚染水が流れた形跡はない。なお、今後サイホン効果が発生することのないように弁の閉止を行っています。ほかの経路について図面により調査したところ、プロセス主建屋とサイトバンカをつなぐ地下通路が考えられる。この地下通路はコンクリートで閉止しているが、プロセス主建屋の水位がサイトバンカの床面より高くなっているため、浸みだしてサイトバンカに行っている可能性がある。ほかの流入箇所につい

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

で検討したところ、プロセス建屋の水位より下にある貫通部としては、地下通路の扉のみで他の貫通部はプロセス建屋の水位より上にあるため、地下通路の可能性が高い。今後の調査については、サイトバンカ内は 10^4Bq と高線量で厳しいため、水位の監視と周辺のサブドレンの監視により系外の浸出がないか監視を行う。追加でサブドレンの監視ができないかということで現場を確認したが、サイトバンカの東側を調べたところ、ガラが多く、できる箇所はこの1カ所のみとなることが確認されましたので、明日、サブドレンを採取するツールを準備して採取する予定です。

(安定化 C 小森) 当面は水位管理となる。単に監視だけではなく、除洗が必要かもしれないが、止水ができるかの検討も必要となる。

(安定化 C 冷却 PJ) 3号機 SFP 冷却装置の冷却塔に供給している散水ラインの消防関係の採水口について、カバーリング工事で使えなくなるため、明日4号機の採水口にホースを敷設し直しをおこないます。作業時間は30分程度で、明日午前中を予定しており、一時的に冷却水の供給が止まりますが、3時間半までは水がなくならないため、監視しながら行います。SFP 温度には影響ないと考えます。

(安定化 C 小森) 完全に冷却機能がなくなるというわけではなく、冷却能力はおちないのでですね。

(安定化 C) 本日、ベッセル3塔の切替を行いました。明日はベッセル交換の予定はありません。流量は 37.7t/h で継続しています。

(安定化 C 小森) 4号機 SFP の熱電対を動かさざるを得ませんでした。復帰できるかどうかは検討願います。その間はポンプ熱交で測定するようにしてください。

(本店広報) 本日の QA プレスについては、11:00よりお40分程度、統合会見として16:30から今も継続しています。午前中は、通水試験の開始、サイトバンカのたまり水について説明し、午後は引き続きサイトバンカについての質問があった。遮水壁を海側へ設置していくこと、出入り管理について核物質防護上の問題点を NISA より注意を受けた。高線量線源についてはこの後にふれる予定です。詳しい説明は状況に応じて行います。遮水壁について、地下水による海洋汚染拡大防止のため、今後 STEP2の間に設置する予定。核物質防護上の問題については、立入証明書の原本が確認されておらず、本人に手渡しされていないことが問題。8/4までに調査・報告を行うよう NISA より指示があった。

(J ビレッジ) 視察状況の報告について、本日午後、衆議院厚生労働委員会の23名の方にご視察を受け、20分遅れのため駆け足となったが、J ビレッジにおける放射線管理の状況を説明した。滞りなく視察を終了した。また、夕方、衆議院の環境委員会の方のサーベイトと休憩のため、30名の通過があった。

(1F 所長) 県・町の現場調査について、大熊町双葉町の立ち入りがあり、先ほど終了しました。

より、ワールドカップ時のユニホームが免震等に送られてきましたので、見

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

たい方は来てください。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/2(火)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C ■■■■) 水処理施設は順調に運転しています。昨日、1号機の主排気筒、SGTSの配管が接続しているところに、非常に高いホットスポットがあることが、昨日報告されました。本日、別の目的で1号機のT/BにあるSGTSの部屋でサーベイをしています。この部屋が非常に線量が高い、約5Svという線量になっていることが分かりました。いずれも、PCVベントとの関連ではないかと思っています。この点、後ほど報告します。

(1F ユニット所長) 本日、おかげさまで傷病者の発生もなく、無事、作業の方は継続しています。プラントの方の状況ですが、特段、影響のあったところはありませんが、また、線量が高いところが見つかったということで、作業員の安全確保、線量の安全を確保する観点で、立入等の注意がきちんとできるように、ないしは近寄らないように確実に措置をしたいと思います。

(1F 発電) 1号機は原子炉へ 3.8m³/h で注水を行っています。RPV 底部ヘッド温度は 93℃で安定しています。2号機は 3.8m³/h で注水を行っています。RPV 底部ヘッド温度で 126℃、D/W 圧力は 32.5kPa gage で安定しています。SFP 温度は 33℃です。3号機は原子炉へ 9.1m³/h で注水を行っております。RPV 底部ヘッド温度は 106℃、D/W 圧力は 0.3kPa gage で安定しています。SFP 温度は 30℃です。4号機 SFP は冷えてきており、ポンプ入口温度で 43℃まで下がっています。まだ、若干低下傾向がありますが、少なまってきています。6号機は仮設RHRSポンプで原子炉ならびにSFPを冷却していますが、本日、仮設RHRSポンプの先にある熱交換器の冷却効率をあげるために温度調節を実施しています。冷却水のバルブを多めに開けることによって、冷却効率は改善されています。炉水温度は機能まで 35℃くらいまでしか下がっていませんでしたが、本日 17時現在で 30℃を切るまで効率的な運転になりました。

(1F 復旧) 水移送、水処理は継続しています。しかし、T/Bの水位は思ったほど下がっていないのが実情です。2号機のT/Bの水位は 5mmほど下降して OP3621mm、3号機はトレンチで今朝より 1mm下降して OP3747mm、4号機はT/Bで 4mm下降して OP3600mm という状況です。プロセス主建屋は今朝より 13mm上昇して OP5350mm、HTI建屋は 10mm上昇して OP3434mm です。水移送ですが、本日 16:00から移送を停止する予定でしたが、2号機の水位低下が予想より緩やかなため、19:00から停止します。8/4まで移送を停止する予定です。水処理の方ですが、本日、キュリオンのベッセル交換はありませんでした。明日、ベッセル3塔交換予定していますが、水処理装置の停止はありません。本日、3号機SFP循環冷却装置の二次系スプレイ水の水源を3号機側から4号機側へ切り替えを実施しています。特にプール水温度の変化なく順調に切り替えが完了しています。4号機は17:

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

05から17:37までSFPの補給を実施しています。約15t/h補給しており、スキマサージタンクの水位は2.57mから5.78mに上昇しています。1号機のR/Bの調査を10:30から12:10まで人が入って実施しています。11:00から12:00までSGTS室をロボットが入城して調査を行っています。明日、3号機のCS注入へのMO弁メガ測定を3号機R/Bで行います。明日、2号機のPCV内のガスサンプリングを実施します。1号機のN2供給装置ですが、PS1からPS3への切替を行うということで、明日、6:00から8:30にN2の供給装置の停止を行います。合わせてこの時間帯に1号機のIAのドレン抜きを行う予定になっています。滞留水ですが、6号機のT/Bから仮設タンクへの移送、仮設タンクからメガフロートへの移送は明日も継続して行います。

(1F 保安)1号機のSGTSの入口の扉の線量が高いということで、今、保安班2名がテープアウト、表示に向かっています。

(1F 土木)滞留水のタンクの工事は継続中です。本日、Gエリアのタンクについては、夜間作業を実施予定です。明日も夜間作業を実施する予定です。無線重機によるガラ撤去は、本日、コンテナ5個のガラ撤去を実施しています。港湾工事については、透過防止溝設置工事は、くい打ち船の調整を行っています。従って、シルトフェンスの開閉は本日は実施していません。

(1F 建築)いずれも継続工事です。R/Bカバーリング工事は、1号機については、本日、鉄骨部材の荷下ろしが終わり、次回の水切りは8/4を予定しています。その他、1、3、4号機の周辺整備工事を実施します。スラッジ貯蔵施設については継続して地盤改良工事、また、飛散防止用のテント設置工事については、屋根等の設営を行う予定です。

(1F ユニット所長)Gエリアについては、夜間作業を実施予定ですので、安全には十分注意したいと思います。

(安定化 C 冷却PJ)(書画にて説明)本日、1号機SGTSトレイン室をロボットで調査しています。先週金曜日に格納容器内のガスをサンプリングするということで酸素分析ラインの配管貫通部からガスを引いて分析をしています。できれば、今後、もう少しエレベーションの高い位置から格納容器内のガスを引けないかということで、今回、不活性ガス系ベントラインから引けないかということで、ロボットで調査を行いました。今日の線量測定の結果ですが、作業時間は11:00から11:30も30分程度で、安定化センターの作業グループの方で実施しています。計画線量2mSvに対して被ばくは最大で0.2mSvでした。ロボットを操作する人はT/B 2階のオペレーティングフロアのところで待機し、こちらの入口からロボットをSGTSトレイン室に向かって徐々に前進させました。入口のところで18mSv/hであり、だんだん中に入るにつれて線量が相当高くなってきて、SGTSトレイン室の入口の手前で5000mSv/hという測定結果でした。入口に人が立ち入らないように立入禁止表示の対応を考えて

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

います。

(安定化 C [REDACTED]) この部屋のなかに格納容器のベントラインの配管が走っている
ということですか？

(安定化 C 冷却PJ) SGTSの部屋のなかに格納容器のベントラインの配管が走って
います。

(安定化 C 冷却PJ) (書画にて説明) 明日、PSAを点検のため移動させるので、一時的にN2の供給が停止します。今までのN2の供給状態ですが、当初、2台のN2発生装置を使って、1台は1号機に、もう1台は2、3号機に両方供給していました。先々週、壊れたわけではありませんが1号機のPSAが不調のため、不測の事態を回避するためにこれを止めて、2ラインで送っていたものを、タイラインを開けて、PSA4号で3プラントに供給していました。調子の悪いPSA1号を点検するために、予備としてグラウンドにしています3号と取り替えをして点検したいと考えています。レイアウトの話ですが、PSA4号と1号は非常に近接して並んでいて、1号を移動させるのにトレーラヘッドを間に噛まさないといけないう状態になっています。このため、4号を前に移動させなければなりませんが、4号にケーブルが結線されていて、改善しないと前に移動できないということで、4号を一端停止となって一時、3プラントともN2が供給できない状況になります。明日の全体のスケジュールですが、6:00に4号を停止し、ケーブルの開線、移動関係を実施し、1号を移動が終わったら、速やかに4号を戻して結線をして、あらためてN2の供給を開始します。滞りなくいけば、2時間30分程度で工事は終わると考えています。その後、落ち着いた段階で、1号のところが空きますので、3号を持ってきてケーブルの結線、試運転、供給開始を10:00くらいを目処に考えています。一方、2号機のカスサンプリングの予定がありまして、あまりPCVの中の状態を変化させない方がよいのではないかと踏んでいまして、もともともう一ライン、ちっそ君という非常に能力は小さいですが、99%で20m3/h供給できる設備があります。これを使って、1号機と3号機の供給は行いませんが、2号機、13m3/hで現在注入していますが、13m3/hここから流した状態で運用したいと考えています。6:00に4号を停止しますので、5:30くらいからちっそ君を起動してラインナップをかけて2号機に注入しながら先程の取替を実施し、できれば、2号機をインノペにしないような状態にしてうまく供給を続けたいと考えています。現状、どの程度N2を停止していてもよいかというと、7/29時点での崩壊エネルギーで発生する水素から鑑みまして180から190、大体1週間程度、今のプラントの状態であればN2を停止していてもよいという評価がありますので、その内数の中で工事は完了するように工事は計画しています。

(安定化 C 施設基盤部) 本日、2号機のPCVカスサンプリングの準備をしていましたが、明日、カスサンプリングをやるということで実施していましたが、単体試験で若干の不具合が発生しまして、サンプリング装置にリークが発生しました。現在、調整し

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ていまして、明日のガスサンプリングに間に合うかどうか検討中です。明日、もしかしたらガスサンプリングができないかもしれないという状況であります。

(安定化 C 水処理部) 明日、3塔ベッセル交換を予定しています。現在の流量は38.5t/hで水処理は継続中です。また、淡水化装置も継続運転中です。

(本店広報) 本日のプレス対応状況について報告します。午前中の会見は11:00から11:50まで実施しています。主な質問は、サイトバンカー建屋の高レベル滞留水流入経路についてでした。状況の再確認と今後の水処理の方法についての質問がありました。また、10Svの排気筒SGTSに関連する質問についてです。高線量によりまして、今後の作業への影響、あるいは長期的な影響、今後の調査方法についても質問がありました。夕方の会見は17:30から実施しており、現在、継続中です。Packbot を用いた1号機の SGTS 室の調査について、約5Svを確認したということです。これに関しましては、昨日のSGTSとの関連等々について質問がありました。

(2F ■■■) 今まで、1, 2, 4号機の原子炉の除熱をB系で行っていましたが、この間にA系の復旧作業を続けてきました。4号機についてA系のRHR、原子炉の除熱を行う系統が生かせる状況になってきましたので、今まで仮設ケーブルを使って動かしていた熱交換器建屋のケーブルのルートを正しくもう少しよい状態に変えるため、明日、4号機のRHRのB系を停止し、A系に切り替え、その間にケーブルのリルートを実施しようと思います。このため、4号機のRHR、原子炉の除熱系統が3時間ほど夕方停止する予定です。予想では、29℃の炉水温度が9℃ほど上昇すると考えています。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/3(水)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C [REDACTED])

本日も、3000名を超える作業員の方が現場にて対応しておりますが、継続作業として、1uSFP冷却装置設置工事、水処理施設においてはベッセルの交換、カバリング工事等、多くの作業を実施しております。又、朝方、本日は窒素供給装置の取り替えを実施しており無事完了しております。又、炉注点の取替えのため、CS系電動弁の動作確認調査の一環として、メガリング作業を本日行っています。

明日、PCVサンプリングを予定しております。

(1F)

本日も熱中症等の傷病者・病人・怪我人はいませんでした。今月に入ってから無しの状況が続いているため引き続き継続していきたいと思います。しかし、今朝方、1Fの進入路にて追突事故が発生しました。ご存じの通り、6号線・発電所への進入路は段差・ひび割れがあるためブレーキをかけなければならない箇所が複数あり、今後は、ブレーキをかけなければならないという予測運転を注意していきたい。

プラント状況は各号機とも概ね安定しています。炉注入量も特段変動はなし。

4u SFP 温度は本日 17 時現在で 42℃。本日 5 時で 42℃。昨日 17 時で 43℃のため、ここ半日、1日を見る限り、ほぼ安定してきた感がある。外部冷却については、7/31 からシステムは稼働しておりますが、当初は86℃あったところわずか2～3日で40℃以上下がってきた。4u SFPについては安定化に向けて一歩進んだ感がある。関係者の皆様のご尽力に感謝を述べたい。

今程、[REDACTED]からもありましたが、本日、N2封入装置の取替作業を行いました。安定化センター関係者の方々は、昨夜から免震棟に宿泊し、朝5時から手際良く作業を完了している。こちらも御礼申し上げます。

(1F発電班)

1u 炉注入量 3.8m³/h、RPV 底部ヘッド温度 94℃でパラメータは安定した状況です。

2u 炉注入量 3.6m³/h、RPV 底部ヘッド温度126℃、SFP温度 33℃、D/W 圧力は 35.5kPa gage でパラメータは安定した状況です。

3u 炉注入量 9.1 m³/h、RPV 底部ヘッド温度 110℃、SFP温度 31℃、D/W 圧力は 0.2kPa gage でパラメータは安定している。

4u SFP 温度 42℃でほぼサチった状況。5,6uも冷温停止継続中でパラメータは安定した状況です。

(1F 1～4u 復旧班)

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

2u 縦坑からプロセス建屋への移送は停止中。水処理は継続中。その影響により、2u T/B 水位は上昇、3,4u は下降になります。プロセス建屋水位は下降、HTI は上昇傾向です。2u T/B 水位は、今朝方 7 時より 18mm 上昇し、OP+3666mm です。3u トレンチ水位は、3mm 下降し、OP+3740mm です。4u T/B 水位は 2mm 下降し、OP+3594mm という状況です。1u R/B 水位は今朝から 8mm 下降し、OP+4725mm。プロセス建屋水位は今朝から 30mm 下降し、OP+5283mm。HTI 建屋水位は 11mm 上昇し、OP+3458mm です。

水移送は、明日 7 時頃、2u 縦坑からプロセス建屋への移送を再開し、ほぼ同時に 3u T/B からプロセス建屋への移送を停止します。

水処理は、本日、H ベッセルを 3 塔交換しました。明日も H ベッセル 3 塔の交換予定です。又、5 時半からアレバ装置の下流ホースを取替えて流量を改善するという工事が行われます。

その他として、N2 供給切替は現在 PSA3 で供給しており、従来の PSA4 は停止している。本日は 3u 炉注点変更検討にともない、CS 系 MO-12B メガー測定を実施し、メガーは十分あり、少なくとも駆動モータは健全という確認をしています。明日は 2u PCV ガス ワンショットサンプリングを予定しています。

(1F 5,6u 復旧班)

T/B から仮設タンク、仮設タンクからメガフロートへの移送は明日の予定はありません。

(1F 土木班)

タンク関係は、継続で G エリアタンクの建設中です。尚、本日も昨日に引き続き、G エリアにおいて夜間作業を予定しております。ガラ撤去は、3~4u T/B 海側でコンテナ 4 個分撤去。海関連工事について、1~4u 透過防止溝設置工事のための仮設の杭を設置。それに伴うシルトフェンス開閉はありません。

(1F 建築班)

R/B カバーリング関係は、1u 建屋上部カバーに支障となるはねだし鉄骨撤去を実施、明日も継続。又、カバーリング鉄骨材の海上輸送を明日予定しています。

3u 関係は、周辺路盤の整備、解体用重機の組立を実施し、明日も継続です。

4u 関係は、オペフロ上部解体用重機の組み立てを実施し、明日も継続です。

滞留水関係は、スラッジ貯蔵施設の地盤改良を実施し、明日も継続です。

(安定化センター水処理 PJT 部) (書画使用)

水処理施設の流量低下原因について、原因究明がほぼできたため明日作業を行います。その概要について報告致します。

全体概要として、プロセス建屋に貯まった滞留水をポンプで汲み上げて、セシウム

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

吸着装置を経由して、凝集沈殿装置を通して、SPT(B)タンクに水をかき揚げる。その水を淡水化装置で淡水化して炉に戻すシステムになります。今回の事象は、凝集沈殿装置が入っている廃液処理水タンクから隣の建屋にある除染装置処理水タンクに移送するラインの流量がでない点の一つ。それから、移送ポンプからSPTタンクへ流すラインも流量がでない点があり、2箇所確認されている。こちらは配管の圧損が高くなっていることが考えられるため、バイパスラインを設ける工事準備を進めておりました。

明日の工事は、一点目は凝集沈殿装置の廃液処理水タンクからサイトバンカにある除染装置処理水タンクに行くライン(本来のライン)のバルブ下流側にバイパスラインを当初設けようとしたが、雰囲気線量が 50mSv/h ある事から、線量の低い場所を選び、配管口径は変わらない別ライン(書画参照)に配管を繋げバイパスラインを設ける工事を計画しています。既設で使用していないオーバーフローラインを分岐させて繋げる。オーバーフローラインの途中から仮設ホースを繋げて、処理水タンクへ水を流す。二点目は、処理水タンク下流側にある移送ポンプの下流側に分岐を設け、そこからホースを繋げる。計2箇所、明日工事を実施する。

明日の予定は5時30分にシステムを停止し、ラインフラッシングを実施した後、水抜きを行い、配管を切断し接続を行う。予定では17時までに一連の作業を行い、その後、通水確認、起動という流れを考えている。

その他に、明日ベッセル3塔交換を予定している。本日もベッセル3塔交換のための切替作業を行っていますが、現在の運転状況は 38t/h で水処理を継続している。淡水化装置も運転を継続している。

本日、水処理の週報を提出している。1~4u の滞留水貯蔵状況は 96920t であり、前回一週間前の報告から比較すると、1,3,4u 水位は低下しているが、2u は増加傾向にある。こちらは台風による地下水の流入によるものと考えられる。各建屋からプロセス建屋及び HTI 建屋に移送され貯蔵されている量は 23850m³ ある。

水処理の除染効率はヨウ素 131 で 1.8×10^2 、Cs 134 で 1.3×10^6 、Cs137 で 2.3×10^6 であり所定の性能が得られている。淡水化処理装置は入口側で 6600ppm 塩素濃度はあるが、装置出口側で 20ppm にて処置ができています。

トピックスとして、サリーに関する報告徴収に対する報告を実施しています。

(安定化センター施設基盤部)

現在、冷却PJTにて検討している3u 炉注点変更に際し、最も有望なCS系注入ラインを用いた場合、開ける必要のある 12B 電動弁のメガー測定を本日実施している。R/B 1F南側二重扉入ってすぐのMCCにて測定実施。主回路、制御回路ともに15 MΩあり、十分使えろと判断をしています。当該 MCC を生かすためケーブル敷設を行う。T/B 側からケーブルを引くため、松の廊下にある 2u からの滞留水ホースの水

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

を止め、フラッシングを行い線量を下げる必要がある。滞留水処理の具合を考慮し、日程を調整したい。

(冷却 PJT 部 [REDACTED])

昨日、原子炉の注水に関する報告徴収の指示を受けており、本日報告書を提出しています。本店側から内容を説明致します。

(循環注水冷却 Gr [REDACTED]) (書画使用)

昨日、1F 1～3u に関する原子炉への注水維持に係る報告徴収を頂いてきました。内容は原子炉への注水を維持するための設備設置状況、方法、次に掲げる事項((1)～(5))に係る安全性の評価の結果についての報告になります。

- (1) 注水システムを構成する設備の構造強度及び耐震安全性
- (2) 注水システムの冷却能力
- (3) 注水システムの機能喪失時の対策
- (4) 注水システムの運転管理及び保守管理
- (5) その他注水システムの設置に係る安全性の評価に当たって必要な事項

こちらを受けて報告書についてヒアリングを実施し、先程 17 時 50 分に報告書を提出している。

(本店広報班)

本日のプレス対応について報告致します。午前は 11 時から 11 時 52 分に実施しており、内容は先日公表している 1u 5Sv 検出箇所について図面、写真、動画を使用して詳細を説明しました。又、N2 封入装置切替についても説明しております。

マスコミの関心事項である 5Sv について質問が集中しており、位置関係、ベントとの関係、高線量箇所の再調査の有無についての質問が主なものでした。午後は 17 時 30 分から開始しており既に終了しております。説明案件はたまり水の週報、保安院への報告事項(サリー追設)、合わせて水処理の流量低減対策について明日早朝からの作業と説明している。殆どが水処理に関する質問でした。炉注水の維持に関する報告については、この後、18 時 40 分に 3F 会見場で説明をする予定です。

(2F)

2点報告があります。MP校正を、年に一度の定期点検のため、線源校正を実施しています。MP1から本日実施。これに伴い指示は $1.5 \mu\text{Sv/h}$ から $1.9 \mu\text{Sv/h}$ に変動。これは、JISに定められている許容誤差の範囲内であり、より真値により調整した結果です。校正期間中に、仮設測定装置及び周辺 MP に変動はありませんでした。

又、4u RHR 切替を夜間に実施します。震災の復旧以降使用していた B 系を A 系に切替えます。DG(A)サーベランス後、SHC を B 系から A 系に切替えます。これにより B 系接続の天井を這わせていた仮設ケーブルを熱交建屋に通せる様、リルートを実

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

施します。これにより浸水防止に対してより信頼性のあるものとなる。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/4(木)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C所長)

全体会議を開催したいと思います。本日も色々な活動(トラブルも含めて)がございました。一つは水処理に関して流量低下に対する改造を実施し、停止時間は10時間程度であり、現在流量の調整をしています。詳細は後程説明しますが、流量はかなり回復しています。それから、滞留水の水位の現状について、現在単体試験を実施しているサリーの試運転の予定についても併せて説明します。トラブル関係では、大熊2Lからきているミニクラで電源トリップがありました。免震棟の負荷がつながっており、非常用ガスタービンが起動しました。12:50 事象発生。16:25 には免震棟復旧、非常用電源で賄っております。原因は追及中です。現状を後程ご説明致します。2uPCVサンプリングは、凝縮水が大量に出ているため本日は中止しました。サンプリング方法をもう一度検討したい。環境関係では西門ダストサンプリングの状況について、検出限界を下げる対応を実施しており、現状を説明致します。

(1F)

先ずプラント状況ですが、2u 炉注入量が若干低下傾向だったため流量を 3.8 まで戻しています。プラントパラメータに変化はありません。作業関係は、本日13時前、重要免震棟が停電になり、非常用ガスタービンで電源供給されていきました。原因は大熊2L経由で受電しているミニクラ遮断器が解放したため。予備変 M/C が全停致しました。その負荷に重要免震棟がぶら下がっていたため停電しました。幸い負荷はプラントにかかわるものはなかった。又、5u 非常用DG5Bが誤起動しています。作業上のアイソレミスが原因です。5,6u は来週 8/9 からPTW運用を再開したいと考えており、その中でしっかりアイソレミス防止に努めていきたい。

(1F発電班)

1u 炉注入量 3.8m³/h、RPV 底部ヘッド温度 93℃でパラメータは安定した状況。

2u 炉注入量は注水量の低下があったため、17:50 に 3.2 から 3.8m³/h に調整、RPV 底部ヘッド温度 123℃、SFP温度 34℃、D/W 圧力は 34.1 kPa gage でパラメータは安定した状況。

3u 炉注入量 9.1m³/h、RPV 底部ヘッド温度 109℃、SFP温度 31℃、D/W 圧力は 0.2kPa gage でパラメータは安定している。

4u SFP 温度 42℃でほぼ変化なし。5,6u も冷温停止継続中でパラメータに大きな変動はありません。

(1F 1～4u 復旧班)

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

本日、2u からプロセス建屋への移送を 7:09 に再開。3u からプロセス建屋への水移送を 7:17 に停止しています。又、5:30 から水処理を停止しています。

2u T/B 水位は上昇、3,4u は下降になります。プロセス建屋水位は下降、HTI は上昇傾向です。

2u T/B 水位は、今朝 7 時より 7mm 下降し、OP+3689mm です。3u トレンチ水位は、7mm 上昇し OP+3743mm です。4u T/B は 3mm 下降し、OP+3585mm という状況です。1u R/B 水位は 4mm 下降し、OP+4713mm です。プロセス建屋水位は今朝から 47mm 上昇し、OP+5296mm。HTI 建屋水位は 6mm 上昇し、OP+3501mm です。

停電関係では、負荷の一つである 1u 構内配電線のケーブルメガーがおかしく現在現地調査中です。又、本日 4u SFP に 15t 注水しました。明日は 1u SFP に注水予定です。水処理流量改善工事については、12:00 に工事完了しており、15:30 に起動しています。16:13 に流量は安定しておりますが、さらに流量調整を現在実施中です。2u 関係では、PCV 負圧システムの取合い点調査を実施しております。PCV ガスサンプリングは本日は断念しています。

(1F 5,6u 復旧班)

本日の 5BDG 誤起動について説明します。12:09 に DG 起動し、12:25 に停止しています。原因は燃料域水位計のバッテリー接続テストを実施しようとした際のリフトによるものです。これは再び津波により全電源が喪失した際の水位計復旧対応についてテストをしており、その手順書の内容は本設電源が落ちている想定で書かれていたため、バッテリーを接続するために本設電源をリフトした際、水位信号が喪失し DG5B が起動しました。電源が生きているという想定の手順書に修正し、次はきちんとしたアイソレを実施し作業を行います。

滞留水については、6u タービンから仮設タンクへの移送を 11:00～16:00、仮設タンクからメガフロートへの移送は 10:00～17:00 を明日予定しています。

(1F 土木班)

水処理装置のタンク設置工事は、G、H エリア共に本日、明日継続実施です。無人によるガラ撤去は、3～4 号機 T/B 海側道路を本日、明日継続実施です。本日の実績は 5 コンテナになります。海工事関連は、1～4u 透過防止溝は本日仮設のガイド杭を打つ予定でしたが明日に延期しています。シルトフェンス開閉は本日、明日共にありません。北護岸のテトラポット設置は本日、明日共に実施です。

(1F 建築班)

R/B カバーリング関係は、1u では鉄骨部材の水切りを無事完了しました。オペフロ上部の鉄骨ガラ撤去は明日も継続です。3u 関係では、周辺路盤整備、オペフロ上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

部解体用重機の組み立てを明日も継続です。4u 関係では、解体重機の移動を実施。明日は重機整備、主排気ダクト等の撤去を行います。4uSFP 下部補強は本日片づけを完了。全ての作業を完了しています。滞留水関係では、スラッジ貯蔵施設地盤改良作業を明日も継続です。

(安定化センター水処理PJT部) (書画使用)

本日、5:30 にシステムを停止し流量改善作業を実施。凝集沈殿装置の下流側の廃液処理水タンクの下流側の配管圧損が高いためバイパスラインを設けています。一つは廃液処理水タンク出口側、もう一つは除染装置処理水タンクの下流側に3つのタンクがありその下流側にバイパスラインを設けている。16:13 に流量は安定的に流せる状況になり、その際処理水タンク出口側で 66t、もう片方は仮設流量計で見て 59t ぐらいです。バルブを絞っているため 59t 程度になります。廃液処理水タンク下流側の配管では水が十分流れることを確認しています。現在、流量の微調整を実施中です。セシウム吸着塔出口に3連タンクがあり、出口バルブを絞ってタンクレベルが約 50t で現在安定した状況です。もう少し定格流量を流せる様にし、タンクレベルが上下しない範囲で上流側の流量調整を実施しています。流量調整が終わりましたら報告致します。

(安定化センター水処理PJT部) (書画使用)

T/B、プロセス建屋水位シミュレーションについて説明致します。本日、水処理装置を停止したため、シミュレーションではT/B建屋水位が OP+3700 近くまで上昇する予定。ぎりぎりの処で作業を実施している。8/6,7,8 のタイミングでサリー試運転を考えていたが、OP+3700 に対して T/B 水位が余裕のない状況のため、8/16 頃にずらし、サリー試運転を予定したい。T/B 水位に余裕をもって作業にあたりたい。正式な日程は調整させて頂きたい。もう一つは、サイトバンカに水がたまっている件について、8/10 頃にプロセス建屋に水を移送する予定です。

(安定化センター施設基盤部) (書画使用)

本日 12:50 頃、予備変M/Cが停止した件について説明致します。予備変 M/C は現在大熊線2Lから受けており、負荷には重要免震棟がぶらさがっています。又、配電線にも電源供給しています。調査の結果、移動用ミニクラ遮断器が開いていることを確認しています。又、炉注ポンプ、SFP代替、N2供給には影響がないことも確認しています。大熊線2Lから移動用ミニクラを介し予備変M/Cに供給しており、負荷に供給されております。

12:50 に遮断器がトリップした状況は、移動用ミニクラ遮断器の地絡方向リレーが動作し飛んでいた。又、その先の予備変M/Cは遮断器は3つ程飛んでいましたが、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

地絡方向リレーが動作したのは1u 配電線のみでした。その他は 27 リレー (低電圧) で飛んでいました。それぞれの健全性を確認すべく、連系線のメガー測定を実施し 2000MΩ 以上あること、また母線のメガーやそれ以外の負荷についてもメガーがあることを確認していますが、1u 配電線のみメガーがゼロであることから原因と考えています。

1u 配電線ルートは予備変M/Cから構内配電線が正門まで走っている。この先も 1u 配電線は走っているが現在停止しています。予備変M/Cから正門間がメガーがゼロであることが分かったことから現場を確認していますが、本日は日が落ちてきたため、明朝からまた調査を実施したいと考えています。

● (書画使用)

現場調査の進捗を報告します。1u 配電線ルートにある多回路開閉器を調査した結果、多回路開閉器1番～切替盤～多回路開閉器2番間ケーブルルートのメガーが落ちていた事を確認しました。(書画参照)この赤く塗った電路ルート間で地絡が発生している。ここは埋設管路になっており、付近で滞留水関係等の工事が行われています。作業中に管路をつぶしてしまったのではと推測される。採取したデータより、対地間はS相、T相共にメガーゼロ、線間は T-S 間がメガーゼロのため、TとSが落ちていることとなります。考えられるのは、ケーブルを潰すか引っかけるかして、初期事象として1線地絡が発生し、先に遮断器が飛んでいる間に次の事象(他相のケーブルを潰す)が発生したと考えられる。詳細は埋設管路を掘り起こさないとわからないが、メガー測定結果から見ると上記原因と思われます。明日朝に詳細調査を実施し報告致します。

(安定化センター施設基盤部) (書画使用)

2u PCV サンプリングについての状況ですが、本日は隔離弁を開け循環ライン(サンプリング容器をバイパスするライン)で循環運転を行いました。配管に水が溜まったことを確認したため、ガス採取不可につき中止しています。その後、隔離弁を閉め仮設ラックは隔離した状況です。今後は、水抜き方法やサンプリング方法の見直しを検討致します。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(環境影響評価 Gr (書画使用)

グラフは西門ダスト濃度、空気中のCs134, 137濃度を示したものになります。6月までは2Fホットラボで測定を実施、7月からは1Fホットラボで測定を実施しております。1Fホットラボは比較的バックグラウンドが高く検出限界が高くなることから、検出限界を下げる努力をして参りました。8/6 から従来のMPカーからタイマー付きダストサンプラでサンプリングを開始する予定です。これは長時間採取可能であることから検出限界を一桁程度下げることが可能となります。8/5 から試験的な採取を行います。結果がよければ、6日からデータを提出していきたい。MPカーの隣にダストサンプラを置き測定を実施します。尚、西門以外の敷地内、海水サンプリングについても検出限界を下げる努力をしていきたいと考えています。

(安定化センター) (書画使用)

一昨日、1,2u 排気筒に繋がっているSGTS配管付近で 10Sv/h 検出された件について、構造の面から同様に高い箇所がないか検討し、懸念される部位が挙がったため、本日現地で測定しておりその結果を報告致します。

12u 排気筒は、SGTS配管は排気筒の中に刺さって終わっているため、この内面に液状のものが溜まっていると下に落ちる構造になっている事が分かった。排気筒下面(一番底の面)は中央部が低くなっており、そこから横にあるスタックドレン配管へ繋がっているため、当該配管に流れていると推測されたため本日確認しています。確認結果は当該配管底部で 3.6Sv/h のため、流れ込んでいると思われる。放射性物質を扱う設計となっているため、直ちに何か影響が出るという事は無いが、立入禁止表示を掲示しています。付近における作業時は、十分注意し、対策について検討していく。

(本店広報班)

本日のプレス対応について報告致します。午前は11:00から開始し、11:15に終了。質問は 2u PCVガスサンプリングのやり方について数問でした。午後 16:30 から開始しています。モニタリング状況について、プラント状況については 2u PCVサンプリング中止の件、5uDG 起動の件、免震重要棟停電の件について説明しています。停電については、直ぐにライブカメラを伝送できなかったことから、マスコミからライブ映像が見られないという問い合わせもありました。当該事象については、14:30 に免震重要棟で停電発生、ガスタービンが起動し、プラントには影響がない旨を個別に説明をしています。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/5(金)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00. (安定化C所長)

皆様おつかれさまです。全体会議を開催したいと思います。本日は昨日と比べるとイベントはありませんでした。特記事項として、水処理関係については 50t 定格で運転している状況で、昨日2回ほどトリップしており、水漏れ事象もありました。後程ご説明致します。工事関係では淡水化装置(蒸発濃縮)の試運転を実施しております。又、昨日の地絡事象について、本日実施した地絡箇所の調査結果について報告致します。遮水壁関係の地下水ボーリング調査にてケーブルを傷つけてしまったとの事です。後程説明致しますが、再発防止を含めてしっかりやっていきたい。2uPCV サンプリングについては、まだ検討中であり、早くとも来週の前半にできないか検討しております。

(1F所長)

本日の気候は、朝早く雨が降り、それ以降曇りになり、現在は晴れています。又、軽い熱中症の方が1名でしたが状況は改善しております。

(1F発電班)

1u 炉注入量は今朝方に注水量の低下があったため、9:00 頃に流量調整し、現在 3.9m³/h、RPV 底部ヘッド温度 94℃です。

2u 炉注入量は 3.9m³/h、RPV 底部ヘッド温度 120℃、SFP温度 35℃、D/W 圧力は 31.6kPa gage で大きな変化はありません。

3u 炉注入量 9.0m³/h、RPV 底部ヘッド温度 108℃、SFP温度 32℃、D/W 圧力は 0.2kPa gage で変動ありません。

4u SFP 温度 41℃です。5,6u も冷温停止継続中でパラメータに大きな変動はありません。

(1F 1～4u 復旧班)

本日、3u からプロセス建屋への水移送を本日 8:42 に再開し、2,3u からの移送が続いております。

水処理については、昨晚、今朝未明に2度トリップしていますが、4:21 以降は安定して処理を継続しております。それに伴い水位は良好な方向に向かっております。

2uT/B 水位は、今朝 7 時より 7mm 下降し、OP+3672mm です。

3u トレンチ水位は、1mm 上昇し OP+3761mm ですが、T/B 水位は 2mm 下降です。

4uT/B は変化はなく、OP+3603mm という状況です。移送が 2,3u から行われているにも関わらず、プロセス建屋水位は今朝から 24mm 下降で OP+5222mm のため、流

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

量改善の効果が出ていると思われます。OP+5222mm。HTI 建屋水位は 8mm 上昇し、OP+3540mm です。

作業関係は、1uSFP 水張りを現在実施中です。水処置については、本日はベッセル交換はなく、明日ベッセル4塔交換を予定しています。

(1F 5,6u 復旧班) (書画使用)

滞留水については、明日、6u タービンから仮設タンクへの移送、仮設タンクからメガフロートへの移送を行います。

8/8 5u RHR(C)ポンプ電源を仮設から本設への切替作業について説明致します。

現在停止中の 5uRHR(C)ポンプは、仮設電源 M/C(6C)から電源供給されていますが、本設電源である M/C(5C)が復旧されているため、電源を本設へ切替えます。その際、電源切替後の確認運転(寸動運転)を2~3秒程度、回転方向に行います。これはケーブルが正しく接続されたか確認するためです。そのために一時運転中の RHR(D)ポンプを約 40 分停止します。

タイムスケジュールは、7:30 から 10:00 にかけて RHR(C)ポンプ電源切替を行い、その後、確認運転を行います。確認運転前に RHR(D)ポンプを停止し、寸動運転終了後、RHR(D)ポンプを再起動します。

確認運転時の系統図を用い説明します。現在、SHC 運転モードで、PLR入口側から取り出し、RHR(D)ポンプを使用し原子炉へ戻していますが、RHR(C)寸動運転により、流量の引き込みで RHR(D)ポンプ(運転側)に影響を及ぼす事が懸念される事から、念のため RHR(D)ポンプを停止致します。作業後は RHR(D)を継続して用います。(補足情報として、RHRS 冷却系はB系が本設ポンプを用いているため、RHR 熱交の淡水側はB系を継続して使用します。)

(1F 所長)

整理すると停止中の RHR(C)ポンプについて、電源を本設側に切り替える作業を行うため、一時的に RHR(D)ポンプを停止するということか。

(1F 5,6u 復旧班)

その通りです。

(1F 土木班)

地下水処理タンク設置工事は、G,Hエリア本日、明日継続実施です。無人によるガ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ラ撤去は、3～4 号機 T/B 海側道路を本日、明日継続実施です。本日の実績は2コンテナになります。海関連は、1～4u 透過防止溝設置工事は、明日、シルトフェンス開閉があります。仮設杭設置は継続です。北護岸のテトラポット設置は本日、明日共に継続実施です。尚、免震棟停電に関する調査は後程説明致します。

(1F 建築班)

R/B カバーリング関係は、1u では昨日水切りをした鉄骨部材の陸揚げ。オペフロ上部の鉄骨ガラ撤去は明日も継続です。3u 関係では、鉄板敷き路盤整備、解体用重機の組み立てを明日も継続です。4u 関係では、解体重機の整備、鉄板敷き溶接、明日は主排気ダクト等の解体を行います。滞留水関係では、スラッジ貯蔵施設地盤改良作業を明日も継続です。

(土木) (書画使用)

8/1 プレス発表した海洋汚染拡大防止のための遮水壁についての資料を用います。2 ページ目の現在青い線で示している山側遮水壁の検討を行うため、1 ページ目の赤い丸をつけている箇所でボーリング調査を実施しておりました。今回、当該調査により埋設電源ケーブルを損傷させました。損傷した埋設電線管を写真に示します。調査前に試掘(手掘り)により埋設物の有無を確認しており、一度 60cm 程の位置に電源ケーブルを確認していたため、ボーリング位置をずらして再度 2m 程試掘による確認を行っております。しかし残念ながら確認が足りず、離隔を取るのが足りなかった。当該ケーブルを確認するにはもう少し深く掘る必要があった。今後は、再発防止対策として、試掘や埋設物の確認をきちんと行い離隔を十分取って作業を行いたい。

(安定化センター施設基盤部) (書画使用)

補足を致します。本日調査を行った処、上のケーブルは完全に切断されており、下のケーブルは少しかすっていた。もう一本は健全でした。昨日の全体会議で説明した通り、2本のケーブルが損傷していたことが分かりました。こちらの1号線は、MP 7,8 の非常用電源ラインとして準備中でした。このラインは使用できないため、別ルート(比較的近い3号線)を選択する事や損傷箇所をバイパスする等、もう少し検討していきたいと考えています。又、再発防止対策については、先ずは土木関係埋設物の図面を各PJTへ配布する等して周知をお願いし、再発防止については検討していきたい。

(1F 所長)

広大な面積のある中で、地下水路チェックのためになぜ当該箇所で行う必要があっ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

たのか、調査箇所のチェック方法について宜しく検討願います。

(土木)(書画使用)

今回の調査位置は、1～4u 南北方向に遮水壁を設けるため三点選定した中の一点になります。調査を行うにあたり、材料、機器の搬入がし易い道路脇箇所や、その他作業(タンク設置工事等)の干渉がない場所を選んだ経緯があります。

(1F所長)

作業を行い易い箇所は既に他の作業がやっていると事を念頭に置くこと。又、ボーリング作業は、図面から十分な隔離距離をとれる作業エリアを第一に選定して下さい。

(安定化センター所長)

今回の教訓は、土木以外に建築も関連する話であり、各PJT間の情報のやり取りの仕方も必要かと思われる。本件は、センター・発電所でももう少し深掘りしていきたい。

(安定化センター水処理PJT部)(書画使用)

5点ほど説明致します。

①昨日、夜7時頃、システム起動後にシステム停止が発生しました。薬液注入装置ポンプの一台が停止したためです。凝集剤としてポリ鉄を注入する装置があり、1台運転中のポンプが停止したが、予備機が自動起動できなかつたため停止しました。昨晚、運転中だったポンプを手動起動させた処、起動できたため事象としては一過性と判断してシステム全体を起動しています。本日、予備機を手動で起動させた処、異常なく起動できなかつたため詳細は不明です。次回サリー試運転時等、システムの計画停止時に追加的な調査を実施します。

②昨晚 2 時頃、システムの工程異常が発生し、システム全体が停止しています。これは、凝集沈殿装置、セシウム吸着装置、バルブ、ポンプの運転状態を監視し、どこかで異常が発生した際にトリップさせるものです。停止後、トリップ要素を調査しましたが、特に異常が無く 4 時頃リセットをし再起動しています。こちらもシステムの計画停止時に追加調査を行います。

③昨日、サイトバンカ内で水たまりが発見された件について、漏洩が確認された近傍に、セシウム吸着装置の交換した圧力容器を仮置きするエリアがあり、そこで容器を洗浄し廃液を流すホースが走っています。その継ぎ手から漏れた事が確認されています。漏洩水の分析結果は、Cs134 で 5×10^6 、Cs137 で 6×10^6 であり、レベルの高い水である事が確認されました。次回停止時に併せて、希釈しながら洗浄していきたい。具体的な方法は別途考えていきたい。尚、洗浄ルートは、既に高線量により

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

作業ができないため別エリア(高温消却建屋)にホースを引き替える作業を行っています。

④以前、水処理装置の淡水装置にて、ポンプにエアが巻き込み砂ろ過装置の逆洗ができなくなった件について、原因はレベルスイッチの設定が悪かったという事で、類似レベルスイッチ3カ所について、明日 9:00~12:00 で淡水装置を停止し、健全性を確認します。

⑤水処理装置の中で、淡水化装置で出てきたレベルの高い廃液を処理する蒸発濃縮装置設置工事の完了が近いので試運転に入っていきます。I, II 期に分けて工事を行っていましたが、今回完了するのは I 期工事になります。90t/day, 160t/day で処理できる装置がそれぞれあります。試運転について、90t/day はポンプ単体試験を行っており、この後、水による試験を行います。その後、8/10からは淡水化装置から出てきた廃液を使用した濃縮試験を行います。160t/day は水による試験を行っており、明日、淡水化装置から出てきた廃液を使った試運転を行い院サーベイス状態に持っていけます。

概念図を説明すると、淡水化装置から出た廃液をタンクに入れ、回してやる構造になっています。その中の熱交換器チューブにより暖めて、濃い廃液と蒸気に変えて、淡水と廃液に分ける仕組みになっています。

(安定化センター所長)

水処理システムは、少しずつトラブルを潰していき、そのための計画(サリー試運転時のシステム停止期間中に調査を行う等)をしっかり立てていきたい。又、ホースの信頼性は重要なため、特にレベルの高いものについては要注意として、現場の施工試験をしっかりしていきたい。

(1F所長)

濃縮装置の電気コンセントレーターの負荷について確認しておいて下さい。

(安定化センター)

蒸気ボイラー・電気ボイラー共にありますが、電気の負荷について確認致します。

(本店広報班)

本日のプレス対応について報告致します。午前は11:00から開始し、11:50に終了。質問はサイトバンカ水漏れ事象、除染装置薬注ポンプ停止事象等について説明しています。本日未明に発生した工程異常による停止事象について、5:42 にマスコミにメールで連絡しています。又、午前中のレクは、サリー試運転日程、明日からのKK-1 定検について説明しています。KK-1 定検については、明日以降の電力需給

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

の状況、再稼働について質問を受けています。夕刻の当社単独記者会見は、18:00から開始しています。定番のサンプリング状況を中心に説明しています。

(センター所長)

水処理関係は多岐に渡るシステムのため、色々苦勞をしています。正念場のため皆様の協力を得ながらしっかりやっていきたい。特に今回、流量が改善されたのはプラスの話であり、全体の水バランスを良く考えて、サリー試運転工程は来週にも状況を見えるように進めていきたい。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/6(土)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化センター小森)本日は暑めの日であったが、土曜日であったので作業は少なかった。トピックスはあまりない。

(1F所長)朝のうちから霧が濃い状態であった。明日にかけて軽い雨が降る予想である。人身災害はなかった。

(1F発電班)

1u 炉注入力量は $3.7\text{m}^3/\text{h}$ 、RPV 底部ヘッド温度 94°C です。

2u 炉注入力量は $3.7\text{m}^3/\text{h}$ 、RPV 底部ヘッド温度 120°C 、SFP温度 35°C 、D/W 圧力は 31.3kPa gage です。

1, 2号機の炉注入力流量が低下傾向なので継続監視する。

3u 炉注入力量は $9.0\text{m}^3/\text{h}$ 、RPV 底部ヘッド温度 108°C 、SFP温度 33°C 、D/W 圧力は 0.2kPa gage です。

4u SFP 温度は 41°C です。5,6u も冷温停止継続中である。

8月7日21時から1時の間で、重要免震棟の受電ルート変更のため瞬停がある。HPでオンライン公開している福一テレビカメラも瞬停となる。工事内容は後ほど説明する。

(1F 1～4u 復旧班)

水移送関係は2, 3号機で移送継続している。

2uT/B 水位は、6mm 下降です。3u トレンチ水位は、3mm 下降で、T/B 水位は 5mm 下降です。4uT/B 水位は 2mm 下降です。プロセス建屋水位は 6mm 下降で $\text{OP}+5203\text{mm}$ 。HTI 建屋水位は 7mm 上昇し、 $\text{OP}+3565\text{mm}$ です。

本日予定どおり、RO レベルスイッチ点検のため RO を停止したが、若干遅れたが予定どおり作業終了した。

ベッセル4棟交換を実施した。

(1F 5,6u 復旧班)6号機 T/B から仮設タンクへの移送は予定どおり11時～16時に実施した。仮設タンクからメガフロートへの移送も予定通り10時～17時に実施した。来週、1日2日早い、6号機の RHRS 代替冷却系の接続方法を強化する。(書面で説明)RHR(RHRS?)の仮設ポンプから RHRSB 系へ繋がっているが、8月9日7時から15時にかけて、配管等新たに新設し RHRSA 系へ繋げる。FPC 温度は1時間あたり 0.4°C 、炉内温度は 1.2°C 上昇が見込まれているが、現在の冷却水の温度からすると問題ない。

(1F土木班)

汚染水の処理設備関係、タンク関係だが継続で実施している。Gエリアで本日夜間作業を実施する。無人によるガラ撤去は、3～4 号機 T/B 海側継続実施です。1～4u 透過防止溝設置工事は、海峡内の掃海作業を実施した。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(1F 建築班)

R/B カバーリング関係は、1u では鉄骨○前のジュウキャクブの整備を行っている。
3u 関係では、継続で搬入路の整備、資材の搬入、また解体用重機の組み立てを実施した。4u 関係では、主排気ダクトの撤去を継続で行っている。3号機関係で屋根打ち作業の準備作業として、クレーン治具の継ぎ足し、ウェイトの運搬を実施した。滞留水関係では、スラッジ貯蔵施設地盤改良作業を実施している。飛散防止テントについては、昼間作業でカメラの調整、掲示板の取り付け等実施している。このあと、20時より屋根シート張り、壁の搬入組立を実施する。

停電作業について、8月7日21時から8月8日1時まで4時間の予定で重要免震棟の電源切替を実施する。円卓のある緊対室関係は CVCF 系統が供給されるので問題ないが、周囲の小部屋や1階のほとんどの部屋が保安灯の点灯のみとなる。しかし、企業の休憩所等は別系統であるので使用に問題はない。通常入口で使っている2号棟は、21時と1時に30秒ほど瞬停があり、電源切替がある。

(1F 保安班)シルトフェンス開閉に伴い放射線濃度を計測しているが、本日の分析については7月29日に続いて検出限界を僅かに超える結果である。今後もシルトフェンスの開閉に伴い的確に計測を実施したい。

(安定化センター水処理チーム)(書面で説明)ベッセル4棟を交換した。H スキッドのセシウム吸着棟3番目のスキッドの2番目(3-2の箇所のこと)が今まで待機状態にあったが、切替えようとしたところベッセルと配管との接続部が着脱式になっているが、そこが接続されていない事象が確認された。弁が閉まっているので漏えい等はなかったが、接続忘れがあったとのことで交換した後、接続する際に引継ぎがうまくいっていなかったものと思われる。原因については聞き取りを行いながら対策を行うこととする。水処理装置としては50tで継続している。

現在設置中の蒸発濃縮装置について本日試運転を行おうとしたが、全体の配管接続確認に手間取ったため、明日昼間に行う。1日工程を延期する。

(安定化センター小森)原因について深堀すること。

(本店広報班)プレス対応状況について。内容的には昨日免震棟が停電した理由について説明、サリー試運転の延期の理由について説明、淡水化装置のレベルスイッチの点検の状況について説明した。18時から会見を実施しているが、セシウム吸着棟の No2 についても説明している。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/7(日)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C所長)

おつかれさまです。全体会議を開催します。本日は水処理でシステム停止が朝ほどありました。詳細は後程説明致しますが、現在は、調整を実施し復旧をしています。それ以外の工事は少なめでした。

(1F所長)

本日は、曇り、晴れという状況で雨は降っていません。明日朝にかけて降る予想です。人身安全という観点では、熱中症、怪我などはありませんでした。

(1F発電班)

1u 炉注入量は 3.7m³/h、RPV 底部ヘッド温度 94℃で変化はありません。

2u 炉注入量は 3.7m³/h、RPV 底部ヘッド温度 120℃、SFP温度 35℃、D/W 圧力は 28.1kPa gage でパラメータに変化はありません。

3u 本日朝方、炉注入流量が増加傾向だったため7時頃に調整を行っています。

現在 9.0m³/h。RPV 底部ヘッド温度 107℃、SFP温度 33℃、D/W 圧力は 0.2kPa gage でパラメータに変化はありません。

4u SFP 温度 41℃です。5,6u も冷温停止継続中でパラメータに大きな変動はありません。

本日、夜21時から1時迄、1F免震棟の受電ルート関連工事が有るため21時、1時にそれぞれ瞬停がありご承知置き下さい。

(1F 1～4u 復旧班)

本日今朝方、3u 炉注入量の 9.5→9.0 m³/h に調整しています。1～3u 共に注視していきます。又、4u SFP スキーマーサージタンクに 15t しています。水移送は 2,3u ともに移送を継続中です。2uT/B、トレンチ水位は、それぞれ 7mm と 8mm の下降です。

3uT/B、トレンチ水位は、それぞれ 4mm と 3mm の下降です。4uT/B で 3mm の下降です。受け入れ側は、プロセス建屋で水処理装置が停止していた関係から、85mm 上昇で OP+5268mm です。HTI 建屋は 7mm 上昇し、OP+3592mm です。明日 HTI からプロセス建屋へ水移送を行います。

水処理は、朝方、キュリオン SMZ 3 号機ポンプトリップをしています。原因は調査中です。アレバ装置は、薬注ポンプのストローク調整を実施し、16:54 に定常流量状態になりました。

(1F 5,6u 復旧班) (書画使用)

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

滞留水については、明日、6u タービンから仮設タンクへの移送を 11:00 から 16:00 に実施します。本日はありませんでした。仮設タンクからメガフロートへの移送は本日はありません、明日は 10:00～17:00 に行います。

(1F 土木班) (書画使用)

タンク関係は予定通り実施しています。本日の夜間作業はありません。無人によるガラ撤去は、3～4u 号機 T/B 海側を予定通り計画中止しています。海関連は本日休行しています。一点書画にて説明致します。

3u 開閉所と建屋を結んでいる電気洞道にて、起変ダクトからコントロール建屋へ若干、水が漏れており、その調査結果を報告します。地上部に箱形のベントハウスがあり、ここからダクト内を見てみました。地盤レベル OP+10m から 3m 下がりの所にあります。書画で示す開口部から水が若干流れ出ていました。1m 角の開口部から少しにじみでていた。水量は鉛筆3本程度です。建屋側からサーベイを行い、結果は、 $1.7 \times 10^0 \text{Bq}$ 、ph 6.8、3900ppm であり地下水と思われます。地下水は、洞道が少し水没する形で滞留しており、それが開口部から漏れている状況です。

電気洞道のため、ケーブルが這っており本程度生きているという事で、現在調査中です。水抜作業は、電気ケーブル等の状況を把握してから行います。又、移送先等、処置について検討していきたい。尚、電気洞道内の確認は、水のサーベイを行ってから実施します。

(1F 建築班)

1uR/B カバーリングについては、鉄骨建て方の開始に向けた準備作業を行っており、建て方に干渉する壁面の鉄骨切断、鉄骨の足下整備を行っています。明日は、750t クレーン 2 台の入替作業等を行います。3u カバーリングについては、西側通路の路盤整備を継続して行っています。4u カバーリングについては、本日作業はありませんでした。明日から主排気ダクトの撤去を又開始します。飛散防止テント設置工事は、日中、夜間共に作業を行っており、壁の組立、シート張り、カメラ設置等を行っています。スラッジ貯蔵施設地盤改良は継続で行っています。

(滞留水関係)

HTI水位が上昇してきたため、明日 10:00 から約 8 時間、HTI からプロセスへ移送を行います。

(発電班)

先程、発電班から 21 時と 1 時に電源切替に伴う電源瞬停について説明しましたが、TV 会議システムもあらかじめダウンさせ、電源切替後、復帰させます。この間、連絡

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

は電話連絡願います。期間は21時前、1時前にそれぞれ10分程度停止しますのでご承知置き下さい。

(1F 所長)

昨日、海サンプリングで揺らぎがあった件についてその後進捗はありますか。

(1F保安班)

本日は実施していません。その他については通常の変動の範囲内です。

(安定化センター水処理PJT) (書画使用)

今朝、水処理装置が全停止しているが、凝集材を入れるポンプトリップ及び予備機が起動しなかった状況を検知しシステムが停止しています。薬液ポンプは系統全体の流量を見ながら、自動的に流量を調整し、薬液を注入する構造になっています。現場を確認した処、インバーター過負荷信号がでており、ポンプのモーター側負荷が大きくなりインバーターが停まったことが分かりました。現場にて当該ポンプの寸動を行いましたが、2台とも動いているため、何らかの形で一時的にモーター負荷が上がりトリップしたと考えている。

ポンプの仕組みは、モーターの回転を往復動に変換するダイヤフラムポンプであり、薬液注入時はダイヤフラムを引っ張ることにより、下から薬液を吸い込み、ダイヤフラムを押すことにより、上に薬液を出す仕組みになります。薬液量は、モーター回転数(往復動速度)とダイヤフラムのストロークを変えることで調整しています。今回はモーター側負荷が高いことから、ダイヤフラムのストロークを短くして負荷を軽減させるという作業を先程まで実施しており、ポンプ側の異常が無いことを確認してから、水処理を継続運転させています。以前、第2段側の沈降分離装置で同じ様に薬液を注入するポンプでも同じようなポンプの不具合がおこっているため、今後、ポンプ電流値の動き方を詳細調査していく事を考えています。システム計画停止を踏まえて、計画していきたい。

又、上記のシステム自動停止をする前に、本日、キュリオン装置 SMZスキッド3番目のポンプが停止した事例がありました。現在、エラーログ採取により調査中であり、原因は掴めていません。引き続き、原因調査を行っていきたい。

3点目として、本日、蒸発濃縮装置2A,Bについて、実廃液を使用した試運転を行いました。A号機B号機共に試験を行い、12tの濃縮廃液を処理し、約6tの蒸留水を生成しています。濃縮装置としての性能は特に問題ないことを確認しています。今後、継続して処理していく事を考えています。

(安定化センター所長)

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

先程の蒸発濃縮装置について、2B は計器不良があると聞いていますがインサービスに入ったということで良いのですか。

(安定化センター)

当該計器については別計器で監視できるため運転は可能です。交換品は 8/9 に到着予定です。

(環境影響評価 Gr)(書画使用)

西門ダスト濃度の検出限界レベルを下げる作業について、検出限界レベルを 2×10^{-2} から 3×10^{-7} に感度を上げており、今まで検出できなかった範囲を検出できています。

※上記の発話内容について、レコーダにて確認した結果、以下の内容に訂正。

「検出限界レベルを昨日から $2 \sim 3 \times 10^{-7}$ ぐらいに感度を上げまして、昨日のデータ 1.7×10^{-6} 、今までだと 2 あるいは 3×10^{-6} の検出できなかったものが検出できるようになっております。今後も 2×10^{-7} レベルまで放出量評価を行います。」

(安定化センター水処理 PJT)

明日の予定を補足します。ベッセル 3 塔交換を予定しています。

(本店広報班)

本日のプレス対応について報告致します。午前は 11:00 から開始し、30 分強の会見でした。水処理の停止状況を説明しています。夕方は 18 時から実施しており、蒸発濃縮装置のインサービスについて説明しています。

(2F)

2u RHR (A) の復旧作業を進めており、昨日、T/R を完了しています。明日、14:00 ~ 15:30 予定で現在運転している B 系から A 系に切替えます。その後、B 系のケーブルのルート変更を実施し、完了後、待機状態に移行させます。作業は 1.5 時間程度で、水温は 3°C 上昇を予想しています。

(福島地域支援室)

水処理装置の流量は、現在、定格の 50 ですか、それともセシウム吸着塔が 1 個使えない事から 37 ぐらいですか？

(安定化センター水処理 PJT)

現在、アレバ出口で約 50t 前後ですが、全体の水位レベルは安定していないため、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

キュリオン出口で 46t ぐらい流れています。

(福島地域支援室)

まだ調整中で、最終的に 45,46t になる見込みということか？

(安定化センター水処理PJT)

大体 45,46t になると考えています。

(センター所長)

引き続き安全に留意して作業・管理を進めていきたい。他になれば、これにて全体会議を終了致します。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/8(月)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C [REDACTED])

まず本日の状況ですが、水処理については昨日トラブルがあったが、本日は一部のポンプが停止中ではあるが、水処理は継続している。1u プール冷却工事は今週 8/10 の運転開始を目指し、現在各種テストを順調に進めている。1u カバーリング工事については、同じく 8/10 に建方を開始するということで、準備工事を実施しているところである。その他多数の工事が行われている。それでは作業の詳細、プラント状況について 1F からご報告を宜しくお願いします。

(1F)

発電所の天気は夕方近くになりキリが濃くなってきているが、雨は降り出していない。今日はケガ・熱中症の発生はなかった。プラントのパラメータは安定して推移している。滞留水の移送関係だが、2u・3u の滞留水のプロセス建屋の移送は継続して行っている。今日は予定通り、HTI 建屋からプロセス建屋への滞留水の移送を行っている。6uT/B から仮設タンク経由メガフロートへの滞留水の移送も計画通り実施している。

(1F 発電班)

1u 炉注入量は 3.6m³/h、RPV 底部ヘッド 94℃で安定中。

2u 炉注入量は 3.6m³/h、RPV 底部ヘッド 120℃、SFP 温度 35℃で安定中。D/W 圧力は現在 26.5kPa と、ここ数日ゆっくり下がり傾向になっている。

3u 炉注入量は 8.9m³/h で注入中。昨日の早朝に流量調整した以降、上昇傾向は再現していない。RPV 底部ヘッド 105℃、SFP 温度 33℃、D/W 圧力 0.2kPa でいずれも安定している。

4u については、SFP 温度はポンプ入口で 42℃と安定している。

5・6u については特になし。

(1F 復旧班)

水移送関係では、2u・3u とも移送を継続。水位は 2u T/B、トレンチでそれぞれ 8mm の下降。3u で 4mm と 3mm の下降。4u T/B で 3mm の下降となっている。受け入れ側の集中 Rw だが、プロセス建屋で 33mm の上昇で OP+5303。現在、HTI 建屋からプロセス建屋への移送を実施しているが、18:30 頃に停止する予定。HTI 建屋は 105mm 下降し、OP+3497 になっている。明日はサイトバンカからプロセス建屋へ移送する予定になっている。

水処理装置関係は、本日ベッセル 3 塔の交換を実施している。明日は 4 塔の予定。6uT/B から仮設タンクへの移送を予定通り実施終了している。メガフロートへの移送も 10:00～17:00 の間で実施している。

(1F 土木班) (書画使用)

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

汚染水処理設備は敷地造成、タンク設置等を継続。本日の夜間作業は休行。ガラ撤去は 3・4u のタービン海側で継続実施。1・4u 側の透過防止工設置工事は、本日開渠内で透過防止工の準備を進めており、明日開渠内に材料を搬入するのでシルトフェンスの開閉が予定されている。

(1F 建築班)

1u R/B カバーリング工事は 8/10 の鉄骨建方開始に伴い、準備工事を実施している。3u・4u については周辺の碎石工事を継続して実施している。飛散防止用テントについては本日も夜間作業をする予定。スラッジ貯蔵施設に関しては継続して地盤改良工事を実施する。

(放出抑制 Pj 部)

1u カバーリング工事について、8/10 より鉄骨建方を開始予定。予報では天気も今週は良さそうなので、8/10 より間違いなくできるものと思っている。

(書画使用) 簡単に建方の対処状況について説明する。8/10 については、南東側に柱脚の架台を設置する予定になっている。原子炉建屋の下屋の部分とコントロール建屋の屋根の上にまたがった形になるので、非常に変形の形状であるが、下に水切りした時の写真を出している。大きさは幅が 3.3m、長さ 6.4m、高さ約 6.9m、重さ約 30t で、750t クローラクレーンで自動玉掛け外し機を用いてつり込みを予定している。一部、線量が高い所だが、自動で遠隔操作にて建方をする予定になっている。引き続き、南西側の柱脚も同様に設置し、今のところの予定では 8/12 頃に北側の柱を立てる予定となっている。

(水処理 Pj 部) (書画使用)

本日ベッセル交換 3 塔の交換をフラッシングなしで実施している。SMZ の 3 番のポンプがトリップしたことを昨日報告しているが、今現在は 1,2,4 番で流量をかせぎながら運転している状況。アレバ側出口で 47.5t の流量が流れている状況。明日、H スキッドの 3 塔の交換と、入口側の SMZ の差圧が高くなっているため、SMZ の 1 番のベッセルの交換を予定している。以降 2 番、3 番、4 番のものについても交換を行うが、H スキッドとの交換のタイミングを見計らいながら、重ならないように作業を進めていきたいと考えている。

(安定化 C)

一部ポンプが止まっているけれども、流量としては定格に近い流量で処理中ということですね。

(本店広報班)

本日午前中は単独で 30 分程度。内容は、3u ダクトからコントロール建屋への漏水、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

東北電力への電力融通の実施です。東北電力への電力融通の実施については各社夕刊に掲載しているところ。午後については統合会見として16:30から実施している。当社からは出入管理についての改善内容等について説明。本件については8/1に出入管理の改善内容等について保安院から報告を求められたもので、本日報告したもの。PP上に係わることなので、詳しくは説明していないが、改善内容としては7/19から写真付き公的証明書により本人確認を行うこと、同じく7/19より本人へ立入証明書を手渡す手続きとしていること等を記載して報告している。

内容としては以上だが、1点だけ。コントロール建屋への漏水については昨日の会議にてご説明いただいたが、やはり4日もかかったことが、「水が漏れた」がキーワードになり、内容的には大きなことではないということだが、マスコミからは「もう少し早く」と言われており、今後宜しく願いたい。

(安定化C■■■■)

非常に大切な点だと思う。現場では建屋内の漏れ込み量はいろいろな所からあり、その中のごく一部がたまたま具体的に見えたというところで、確かに一般の方のご関心事項と考えると、我々としては全体として小さく思ってしまうが、積極的に公表しなければならないと思う。ご指摘ありがとうございました。

その他ないようでしたら、本日の全体会議はこれにて終了したいと思います。お疲れ様でした。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/9(火)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C [REDACTED])

8/9の統合本部の全体会議を始めます。

昨晚8:21に、落雷の影響で水処理施設のレベルスイッチの一つにノイズが発生し、SPTタンクのレベルが低いと検知したため、水処理装置がトリップするということが起こった。幸いレベルスイッチに損傷はなく、その後、直ちにレベルスイッチにリセットをかけ、水処理装置は運転を継続している。また、本日は様々な作業が展開されており、カバーリング工事、タンク設置工事、海周りの工事等あるが、その中で今日は格納容器の中のサンプルを採取するという作業が行われている。また、3uの原子炉へ注水するラインを多様化するための作業の一つである、高線量にある弁を遠隔で開くという作業に成功している。では、本日の作業の詳細、プラントの状況について1Fからご報告いただきたい。

(1F)

今日は熱中症、ケガ人の発生はなかった。ただ、明日は今日よりも気温が上がるとの予報であるので、作業には万全を期したい。

昨夜、落雷の影響と思われる系統の誤動作があった。先週の日曜は早朝に震度5弱の地震も発生している。ここ10日間で地震と雷があったということで、1FのEMの中で突発事象発生時のチェック事項は大丈夫か、連絡体制はきちんと連絡が取れるのかというところの再確認を周知したところ。

プラントの状況だが、炉注入及びプール水温とも安定している。現状、1u・2uの炉注流量は3.6m³/hで安定しているが、これが3.5m³/h以下になるような場合は増量することで調整したいと考えている。

今ご報告があった通り、3uの炉注を見直すということで、コアスプレイラインのMO弁の動作確認ができたということで、より効果的な冷却に向け、安定化センターと共同作業を進めていきたいと考えている。

(1F発電班;1～4号)

1u～3u、4uプールを含め、安定な状態にある。

1u 炉注流量 3.6m³/h、RPV 底部ヘッド 93℃、D/W 圧力 0.029MPa g。

2u 炉注流量 3.6m³/h、RPV 底部ヘッド 118℃、SFP 温度 35℃、D/W 圧力 25.4kPa g。

3u 炉注流量 8.9m³/h、RPV 底部ヘッド 105℃、SFP 温度 33℃、D/W 圧力 0.2kPa g。

4u(SFP)は元々86℃と高い温度だったが、最近では42℃で安定した状態にある。

先ほど紹介した通り、1u・2uについては3.5m³/hを下回れば調整して上げることもデータ見ながらやっていきたい。

(1F発電班;5～6号)

本日仮設RHRSポンプの配管の増設工事を実施している。従来はB系に接続され

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ていた配管を A 系にも接続できるようにした。これにより万が一 B 系のポンプに異常があっても A 系に切り替えをして運転する考え。なお、この工事に伴い RHR 系のシャットダウンも一旦停止しているが、5 時間半程停止して、14 時頃に再度復旧している。現在プールを冷却している状況で、夜 8 時頃を目標に炉水の冷却モードに切り替える予定。

(1F 復旧班;1~4 号)

炉注水関係は特段問題なし。引き続き注視していく。

SFP 注水関係は、1u SFP 代替冷却の作業を実施しているが、明日、一次系のテストランがあるので、問題なければインサービスとなる。

水移送関係は、2u からプロセス建屋への移送を、プロセス建屋のレベルが上がっているのを停止している。水位は、2u の T/B とトレンチでそれぞれ 8mm の下降、3u で 4mm と 3mm の下降、4u T/B で 7mm の下降である。受け入れ側の集中ラドは、プロセス建屋で 7mm の上昇で OP+5351、HTI 建屋は 10mm の上昇で OP+3475 となっている。

水処理装置関係は、昨日の落雷によりアレバ装置・キュリオン装置が停止しているが、昨日の起動以降問題はない。RO 装置については今朝の 1:50 に前タンクのレベル低で自動停止しているが、本日 9:35 に起動をかけており、その後特に問題は発生していない。ベッセル関係の交換だが、本日 4 塔の取り替えを実施している。明日は SMZ の C 塔・B 塔を取り替え予定。

(1F 復旧班;5~6 号)

6u 地下から仮設タンクへの移送は本日 11:00 から開始しており、明日の 17:00 までの移送を予定している。

メガフロートへの移送は本日 10:00 から開始している。開始直後にホースにピンホールが見つかり、すぐに養生して一旦移送を停止した。11:40 過ぎにホース取り替えを終了し、再開している。その後ホース等からの漏れはない。メガフロートへの移送は 8/12 17:00 まで行う。

(1F 土木班)

いずれも継続作業。滞留水タンクの設置工事は、G エリア(?)でタンク設置工事を実施。本日、明日とも夜間作業はなし。

海域の工事だが、1u から 4u の透過防止工の設置工事を実施している。本日シルトフェンスの開閉はなかったが、明日鋼管矢板の搬入の作業を予定しており、海の状況にもよるがシルトフェンスの開閉を行う予定でいる。

(1F 建築班)

原子炉建屋カバーリング工事だが、1u については明日いよいよ鉄骨の建方に入る。本日はその鉄骨の移動と、鉄骨の位置出しをするシステムの動作確認を行っている。明日は南東の柱脚 1 ピース、約 30t の重量物だが、こちらの建方を明日朝 7 時から

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

行う。3u は西側道路の護岸整備、オペフロ上部の解体用重機の組立を明日も継続で行う。4u はオペフロ上部のガレキの調査に本日入った。それから上部の解体用重機の遮蔽体の取り付けを本日も行った。明日は重機の設置等の整備になっている。滞留水関係では、スラッジ貯蔵施設建築工事だが、地盤改良を本日も行い、明日も継続で行う。

(安定化 C 施設基盤部 [REDACTED])

(※書画使用) 3u の炉注水ラインの効率的な注水を行うため、コアスプレイのラインからの注水ができないかを検討している。MO 弁があるが、この電源を活かすべく、今日は仮設のケーブルを引き、MO 弁の動作確認をしている。R/B 1 階の電源が活きていないことから、T/B の MCC から R/B に MCC まで約 100mm ケーブルを引き、この MO 弁を動かしている。結果は良好。ただし、本店からの 4 名で作業を行ったが、計画線量 3mSv をオーバーしている。4 名のうち、最小が 3.88 mSv、最大で 6.55 mSv で、作業時間も 1 時間弱で考えていたが 1 時間半ほどかかってしまった。以後、超えないよう、しっかり管理していきたい。

(安定化 C [REDACTED])

この弁が電動で開くようになったことは大きな前進だが、作業手順をよく事前に検討して、計画線量を超えないよう、宜しくお願いしたい。

(安定化 C 計装設備 G [REDACTED])

(※書画使用) 2u 格納容器のガスのサンプリング結果について報告する。作業は本日午前 10 時頃から準備を開始し、片づけを含め 12:20 頃まで、作業員 8 名で最大被ばく線量は 1.83。3 回採ったが、Cs-137 が $2.4 \times 10^{-1} \sim 5.4 \times 10^{-1} \text{Bq/cm}^3$ 程度、Cs-134 も同じような値で $2.3 \times 10^{-1} \sim 5.1 \times 10^{-1} \text{Bq/cm}^3$ 。ヨウ素については検出限界以下だった。クリプトンは 2 回目、3 回目に 7.4×10^1 、 $7.5 \times 10^1 \text{Bq/cm}^3$ という値が検出されており、キセノンについても $3.8 \times 10^1 \sim 4.7 \times 10^1 \text{Bq/cm}^3$ 。参考に 1u 格納容器ガス濃度を記載しているが、これと比べると 2 桁程度低い値である。2u ダスト濃度と比べると 2 桁程度大きい値となっている。1u 格納容器ガスの場合はキセノンとかクリプトンは検出されていなかったが、今回は検出されている。こちらについては原子炉安全評価 G に見解を頂きたい。

(安定化 C 原子炉安全評価 G)

一番の関心は臨界か未臨界かだと思うが、臨界の場合にはキセノンの場合では、133、135、138 が検出されるが、今回は検出されておらず、臨界ではないと判断される。また、クリプトンに関しては元々 1u はかなり桁が 2u に比べ大きく、エネルギーのピークがキセノンに重なってしまい、1u の場合はこれに重なってしまっている、という判断である。

(安定化 C [REDACTED])

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

臨界かどうかの判断では、もしも臨界であれば出るべき核種が出ていないということがあるが、この Kr-85 や Xe-131m が検出されることは異常ではないということを説明できるのか？

(安定化 C 原子炉安全評価 G)

そもそもクリプトンに関しては半減期が約 10.7y であり、停止直後から現在に至るまでインベントリが変わっていないという状況。従って、今回のガスサンプリングで出てくるとことは十分考えられることである。キセノンに関しては、元々 I-131 から出るものであり、これも出てもおかしくはないものである。

(安定化 C 水処理 Pj 部 [REDACTED])

水処理ですが、今日は SMZ といってキュリオンの装置のベッセルを交換していて、明日 2 塔の交換を予定している。入口側のベッセルの差圧が今上がってきていて、水の流れが悪い状況になっている。キュリオンの出口側の流量で 41t くらいしか流れていないということで、入口の差圧が高くなっている分、流量が落ちてきているのかなという状況。ただし、以前問題になったアレバの出口の方は 56t くらい流れているので、配管詰まりという問題はないことが確認されている。

水処理装置の追加で入ってくるサリーについて、先日報告を保安院さんに出していたが、本日 15 時にサリーの設置についてご了解をいただいた。なお、この際、今後キュリオンを含め、サリーからも使用済みのベッセルが出るので、水処理装置の制御室の近くに貯蔵室があるので、制御室の線量低減対策を行うようご指導を頂いた。

それから、本日、サイトバンカからプロセス建屋への移送を予定していたが、プロセス建屋の水位が高いので明日 10 時からの移送を予定。プロセス建屋の水位が高いことに関しては、本日 2u からプロセス建屋への移送を停止しており、水位を調整しており、明日のサイトバンカからプロセス建屋への移送を行いたい。また、2u の移送についてもサイトバンカの移送のタイミングを見ながら、予定では 10 時くらいから再開する予定でいる。3u の移送については今日も明日も継続して行う予定。

あと、昨日、落雷の影響で水処理装置が止まったこと、淡水化装置に水を送れなかったことについては、書画カメラを使って補足説明をする。

(安定化 C 淡水化 G [REDACTED])

(※書画使用) SPT(B)タンクまででシステムとしては大きく分かれている。昨日雷の影響によりシステムが停止した。停止した中身は 2 通りあり、SPT(B)タンクの水位計装の装置に雷のノイズが乗り、水位低低の誤信号を出した。その誤信号については滞留水装置全体が停止するトリップシーケンスにつながっており、これが起因となってシステムが停止した。この類似事象については、計画停止時に電源の切替を実施した時に、誤って水位計装の電源が一部取り忘れていたことがあり、計画停電と同時に装置全体がトリップしたのと同じである。今回の原因は雷である。2 つ目は、STP(B)の浄化された水を抜き出して RO へ送る SPT 受入タンクがあるが、こちらの水

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

位の計装について誤作動を引き起こした。SPT 受入タンクは 85t と小型だが、SPT タンクの脇にあり、そこから RO 装置に移送するプログラムになっている。その中にあるレベル変換器が落雷により内部のヒューズが断線し、その結果、計器の電源が喪失し、信号がゼロを指し、水位の指示があたかも低下しているような信号が送られてしまった。そのためポンプの制御系が水位低低となり、起動不可となった。昨晚の段階で全体の水処理システムの復帰はなされたが、レベル計のヒューズの断線を復旧したのが今朝 6:57 なので、そこまでは SPT の水を溜めていく一方で、RO へは移送できなかった状況となっていた。その結果、ヒューズの鋼管により復旧し、復旧前後で、タンクの水位は 52.7% でレベルの変動はなかったという判断をしている。

(安定化 C [REDACTED])

雷対策については、急仕立ての施設ではあるが、それなりに重要な施設には耐雷対策をとってきたところではあるが、若干まだこういう弱い所が少し分かってきたところ。再度、耐雷対策について万全を期すよう、[REDACTED]さん宜しく。

(安定化 C 施設基盤部 [REDACTED])

はい了解しました。現状でも炉注ポンプや炉注の代替ポンプについては接地をとる等の対策をしているが、もっと細かいレベルで対策を見ていきたい。

(本店広報班)

今日午前中 11 時～11 時半まで、3 階大会議室でプレスレクを実施。昨夜発生した水処理装置の停止・再開、未明の淡水化装置の自動停止について説明。主に落雷との関係、耐雷対策等へのご質問をいただいている。この他、(聞き取れず)に関する質問の他、D/W 圧力・S/C 圧力値の上昇について説明したため、これに関する質問が出ている。それから、18 時から当社単独の会見を 1 階のプレスルームで対応注中。プラント状況に加え、1u 原子炉建屋カバーの建方に関する資料を説明する予定になっている。2u 格納容器サンプリングについても説明予定。

(安定化 C [REDACTED])

その他ないようでしたら、本日の統合本部の全体会議を終了したいと思います。みなさま、ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/10(水)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 小森所長)

本日のトピックスとしては、1u の SFP プールの冷却を開始し、4 つ目のプール冷却に入った節目の日。それから 1u カバーリングの鉄骨建方も始めたということで、カバーリング工事の節目の日かと思う。今後も気をつけなければならないのは、赤チン災害も含め、ケガが 3 件あった。安全第一で作業を進めなければならないので、工事の内容に応じ、安全管理を徹底していかなければならない。

(1F 吉田所長)

天候は晴れで暑かった。通り雨、雷は、こちらはなかった。

3 件の人身災害が出た。いずれも基本的なことができていない。もう一度、現場は恐いという意識を徹底していただくため、協力企業さんにサイト EM でお願いしたところ。当社社員も同じで、もう一度心を引き締めていきたい。

(1F 発電班)

1u はプール冷却を 11:22 にインサービスしている。ポンプ入口温度で、当初の 47℃ から 17 時現在で 46℃ と、若干ながら低下傾向が見られている。

また、原子炉注水流量を 1u～3u とも調整している。8:32 現在で、1u・2u とも 3.5m³/h、3.4m³/h だったので、3.8m³/h に調整している。一方、11:20 の段階で 4.0m³/h まであがり高めだったため、3.8m³/h に絞る操作をしている。3u については、8.0～8.8m³/h でハンチングしてたため、16:22 に 9.1m³/h まで調整している。

それ以外については、特段異常はない。

RPV 底部ヘッドは 17 時現在で、1u が 94℃、2u が 118℃、3u は 105℃。

プール温度は、1u は 46℃、2u は 35℃、3u は 33℃。

D/W 圧力は 2u が 26.9kPa、3u は 0.2kPa g と安定している。

5u・6u は特にトピックスなし。

(1F 復旧班; 1～4 号)

水移送は、3u からプロセス建屋へは継続。本日、サイトバンカからプロセス建屋への移送が 10:06～14:19 に行われている。また、2u からプロセス建屋への移送は 16:47 に再開して、移送中。

水処理は、部分流量で継続している状態。本日、SMZ の 2 塔を交換しており、その間は 33～34m³/h くらいで運転を続けていた。この交換が 11:20～15 時くらいで行われており、交換後は 49m³/h と、ほぼ 50m³/h に近い値で運転が行われている。

その関係から、水位も複雑な動きを見せている。2u T/B は今朝より 15mm 上昇し、OP+3635。3u トレンチは今朝から -2mm で OP+3714。4u は -4mm の OP+3560。

ちょっと気になるのが、1u R/B が 11 時以降、3mm くらい上昇の方向へ転じている。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

基本的には T/B からの流れと考えられ、問題ないと思うが、継続して注視するとともに、今後大きく増えるようであれば、念のため本日インサービスした循環冷却装置の水漏れ等がないか、明日確認したいと思っている。

その他の作業としては、1u 循環冷却装置については 11:22 に系統インサービスしているが、その前に 10t の水張り、並びに、ポンプ A, B のテストランを実施し、異常のないことを確認している。

また、本日 4u の SFP に補給しており、13:08~13:47 で 15t という状況。

サリーは朝 7 時から 8 時半にかけて予備ベッセルの水切りが行われている。

(1F 復旧班;5~6 号)

明日の作業は、6u T/B から仮設タンクへの移送を 10 時~16 時で予定している。

仮設タンクからメガフロートへの移送は、現在も継続しているが、8/12 17 時まで継続する。

(1F 土木班)

滞留水タンクの工事は、G エリア・H エリアで実施。本日は昼間のみ、明日も夜間作業はない。無人重機によるガラ撤去は、本日コンテナ1個分を回収している。海域の工事は、1u~4u 側の透過防止工の工事、北側防波堤でテトラの据付を行っている。本日、鋼管矢板の搬入のため、シルトフェンスの開閉を1回実施している。明日のシルトフェンスの開閉は予定していない。

(1F 建築班)

カバーリング関係では、1u は原子炉建屋の建方を開始し、本日は南東の柱脚を実施した。明日は南西の柱脚の設置を行う。3u は解体重機の組み立て、路盤整備作業、明日は路盤整備作業の継続。4u は解体重機への遮蔽材の取付、路盤整備作業で、明日は路盤整備作業の継続になる。

スラッジ貯蔵施設関係では、地盤改良工事を継続しており、明日も継続になる。

(安定化 C 冷却プロジェクト部)※書画使用

1u SFP 循環冷却システムについて、1u の場合は 2u~4u と異なり、一次系本設の FPC ポンプ・熱交が健全なため、二次系の部分のみを今回新たに設置した。運転開始時はポンプ入口で 47℃だったのが、17 時現在で 1℃下がって 46℃になった。熱交換器出口温度は 42.5℃で、ゆっくりと温度が低下してきている。二次系の温度は熱交換器出口で約 40℃なので、最終的には 40℃くらいでバランスすると思っている。

(原子炉建屋カバーG)※書画使用

本日は南東側の鉄骨建方を行った。部材の数量としては 62 ピース分の本日1ピースを行った。明日は逆側の南西側を設置する予定。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(安定化 C 小森所長)

残りの 2 つはいつやる？

(原子炉建屋カバー G)

7 月末の段階で実施しており、4 脚のレベルを 1 回確認し、北側の基礎のレベルを確定した段階で設置完了となる。

(水処理プロジェクト部 ████████) ※書画使用

今日、1 週間分の水処理実績を報告している。

貯蔵の状況は、前回は 2u だけがマイナスになっていなかったが、今回は各号機とも建屋の貯蔵量が減少に転じている。送り側はプロセス建屋・高温焼却炉建屋の合計で 23,930m³。

水処理装置の性能は、DF は 6 乗のオーダーが得られている状況となっている。

淡水化装置は、入口塩素濃度で 6600ppm のものが出口で 20ppm まで減っている。

8/7 から蒸発濃縮装置の運転を開始している。前回からの相違点として、貯蔵量の欄に濃縮廃液貯槽を記載している。容量 5000t に対し、現在 210t を貯蔵。

出てきたきれいな淡水は、炉の注水に使っている。8/3～9 までで 2789m³ を使っており、累積処理水は 14088m³。

水処理の実績については以上になるが、蒸発濃縮装置については、もう 1 系列、試運転を実施しているが、調整に手間取っているところもあり、工程に変更が入っている。試運転の対象は 1A、1B、1C と全部で 3 つあるが、1A はブロアの差圧が高く、流量バランスの見直しが必要になっており、1B は電源装置のインバータに過負荷が発生しており、吸込側のリークチェックが必要な状態。このような状況のため、1C については水試験に入ることができていない。当初計画では明日から運用を開始する予定であったが、8/15 に廃液を使った最終試験を実施し、問題なければ 8/16 に運用開始とするスケジュールとしたい。

今日の実績は 1F から報告があったが、明日は H ベッセルの 3 塔を交換する予定。

(滞留水移送 G)

3u の T/B と立坑の水位に差が見られていたため、立坑に新しい水位計を入れて検討したところ、こちらの方がより正しい値を示しているということが確認されたため、明日から新しい水位計を採用したい。これにより、読み値が 80mm ほど下がり、3u T/B の水位により近づくことになる。

(1F 吉田所長)

確認だが、17 時現在の 3u のデータは OP+3714mm だが、それが OP+3634mm、つまり 80mm 引くことになる？

(滞留水移送 G)

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

16 時の読み値では OP+3664mm である。

(1F 吉田所長)

時間の差はあるが、結局、T/B とは 100mm 程度差があるということですね。我々は系外放出等を考えるとトレンチ水位の方を考えないといけないのだけれども、余裕分という意味ではトレンチ水位の OP+3664mm が正しいということで良いのか？

(滞留水移送 G)

はい、そう考えています。

(安定化 C 小森所長)

低めにいったと言うよりは、校正して T/B とトレンチとの水位は少し狭まったということだと思うので、明日からそれでしっかり管理していきたい。

(本店保安班)※書画使用

本日、被ばく状況について厚生労働省に報告している。

内部被ばくの確定状況ということで、20～50mSv の方の確定状況、3～5 月の評価状況。それと、被ばく管理の強化について、3 点ほど報告しており、入構証に顔写真を付けるとか、レシートを渡し線量通知行うこと、不明者に対する調査について報告している。

(「3 月 4 月 5 月分の被ばく線量の分布」について書画を使用し説明)

厚生労働省からは、未評価の方の速やかな評価、不明者の徹底的な調査について、指示をいただいている。

現在、積み残しがあるが、いずれ WBC の測定を月 1 回にしていこうと考えており、徐々に WBC も増える予定。当面、月 1 回の報告することとなっており、早く正常化を進めていきたい。

最後の件については、近々に周知文書として関係各所に流したいと思います。

(本店広報班)

本日のプレス対応状況についてご報告する。本日は午前中 10:30～12:10 まで対応している。公表案件としては、2F プラントデータ、1F・2F の対応状況、いわゆる時系列だった。主に、1u SFP 循環冷却の開始、1u カバーリング建方、公表した時系列・プラントデータについて、電力需給状況に関する質問があった。

夕方からは 18 時から開始している。公表案件としては、滞留水の処理に関する第 7 報、内部被ばく線量の評価、昨日の 2u 格納容器のサンプリング結果を実施している。

(安定化 C 小森所長)

それでは、本日からまた暑い状況にもなっています。また、雷雨、熱中症、ケガ等、作業安全には安定化センターの方も十分注意してまいりたい。それでは本日の全

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/11(木)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C所長)3月11日からちょうど5ヶ月になりました。いろいろこともありましたし早くも5ヶ月という感じもありますが、収束に向けてとにかく一歩ずつ前進していきたいと思います。本日は、トラブル関係の話が何点かあります。水処理関係でタンクの水位計の不調がありました。切り離して別の水位計にしていますが、停止時間は30分程度で流量を戻しています。4号機の使用済み燃料プール循環の配管で20秒に1滴くらい漏洩があったということで、取替の計画を作りますが、まずは監視をしていきます。1/2号仮設M/C、負荷としては注水等の重要な系統にいつているM/Cの制御用の制御電源、供給用のチャージャーが不調ということで、緊急に対応をしてもらっています。

(1F ユニット所長)本日も気温が非常に上がったが、残念なことに、今朝の未明に、1名、熱中症の方が出てしまいました。夜の作業ということで比較的気温は下がるだろうという本人の思いこみもあったのだと思いますが、クールベスを着用しなかったということだったようです。今日も、安全推進連絡会の方で企業さんを含めて熱中症対策を再度徹底させていただきました。プラントの方は、特記事項としましては、昨日より稼働しています1号機の使用済み燃料プールの冷却装置ですが、順調にプール水温度は下がりまして、現時点で41℃程度で安定してきています。ガラ撤去の関係で、これまで大物のガラ撤去をやってきましたが、細かい砂状のものも結構高い線量のものがありますので、2号機の方で掃除機型の新しい集塵機を使いまして、ガラ撤去、線量低減を始めています。センター長のお話しのあったトラブル等ありましたが、現時点では水処理の方は順調に動いています。

(1F 発電班)1号機は原子炉へ3.9m³/hで注水をしています。RPV底部ヘッドで94℃です。D/W圧力は0.029MPa程度で安定しています。使用済み燃料プールは、昨日のインサービスから、47℃から41℃まで低下しています。今後も下がり具合を見ていきます。2号機は原子炉へ3.8m³/hで注水をしています。RPV底部ヘッドで116℃です。D/W圧力は25.8kPa程度です。使用済み燃料プール温度は36℃です。3号機は原子炉へ9.0～9.1m³/hで注水をしています。RPV底部ヘッドで105℃です。D/W圧力は0.2kPa程度です。使用済み燃料プール温度は34℃で安定しています。昨日の夕方に若干注水量がハンチングということで、8.0～8.8m³/hで振れが大きいということでしたので、調整をしまして、現在は9.0～9.1m³/hで若干の振れはありますが、大きなハンチングは見られなく安定した状態です。4号機の使用済み燃料プール温度は若干上がって現在44℃です。5号機はRHRによる原子炉の冷却、FPCによるプール冷却を継続中です。6号機はRHRによる原子炉とプールの交互冷却を継続しておこなっています。本日は、今まで純水系については、仮設タンクから供給していましたが、本設でありますNo.

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

3の純水タンクの修理が終了しまして、リークチェック異常なく、現在2mまで水を張りました。今後、ポンプのサクシオンを本設タンクの方に切り替えていく予定です。

(1F1～4号復旧班) 水処理、水移送は現在継続しています。水位は、T/B側が下降、プロセスの方は若干上昇という状況です。16時現在で、2号機T/Bで7時より8mm下降してOP3615mmです。3号機はトレンチで7時より2mm下降してOP3629mm、T/Bの水位は4mm下降していて、またちょっと差が広がっています。4号機は2mm下降してOP3548mmです。プロセス主建屋は朝より4mm上昇してOP5288mmです。HTI建屋は12mm上昇してOP3543mmです。プロセス主建屋の上昇ですが、本日、水処理でベッセル3塔交換しておりますが、そのときの流量の減少が大きいということと、超音波タンクレベル計の不具合でシステムが30分程度停止している影響と思われます。その他の作業ですが、本日、1, 2号のS/Bの休憩所の電源切替、開閉所MCCの受電の切替ということでP/C 2Cから所内共通P/Cへの切替が行われています。また、キュリオンポンプモータの点検ということで、SMZのNo. 3、H3のNo. 1とNo. 2、H4のNo. 1といったポンプモータの点検が実施されています。仮設1/2号M/C Bの制御電源については、現在、5名のメンバーでバッテリーの搬入に向かっています。充電器そのものにつきましては、東芝さんの広野倉庫にありそうだということで確認中です。

(1F5～6号復旧班) 明日の作業ですが、6号機T/Bから仮設タンクへの移送を10時から16時まで行います。仮設タンクからメガフロートは、現在移送中ですが、明日の17時まで行います。

(1F 土木班) タンク設置につきましては、引き続きGエリア、Hエリアで継続実施中です。本日および明日ともに夜間作業はありません。ガラ撤去についてですが、無線機によるガラ撤去ですが、2号のR/B山側4エンバンのポンプ室廻りでガラ撤去を実施しまして、本日はコンテナ3個を回収しています。明日は4エンバンのポンプ室廻りで引き続き撤去を実施する予定です。掃除機型のガラ撤去の機械を、2号の大物搬入口の前で試験的に実施しました。効果等については今後測定の上で別途評価したいと考えています。海の工事の関係ですが、継続工事ということで、1～4号の透過防止口の設置工事という形で、杭の関係の工事、北側の防波堤のテトラポットの据付工事を実施しています。なお、シルトフェンスの開閉については、本日はありません。明日も予定はありません。

(1F 建築班) カバーリング関係ですが、1号機、本日、鉄骨の建方、柱脚部、南西コーナーの部材をRw/Bの屋上に建方を計画通り実施しました。明日、北西コーナーの建方を計画しています。資材の搬入ですが、明後日の13日に水切り予定があります。3号、4号につきましては、搬入翼を含めた周辺ヤードの整備を継続して実施しています。スラッジ関係は、継続で地盤改良を実施して、明日から、養生用の300tonクレーンの組み立てを開始します。飛散防止テント関係ですが、本

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

日、昼間の作業でテント内の間仕切り壁のコンクリート打設、夜間作業でテント屋根の組み立て、シャッターの取り付けを実施します。昨晚、熱中症が発生しまして、作業開始前にクールベストの着用ならびに1時間に1回の給水を再確認し、作業を実施したいと思います。

(安定化 C 水処理 PJ 部) (書画を使用) AREVA の凝集沈殿装置の処理水を受けて、サイトバンカー建屋で一旦集め、そこから SPT (B) タンクへ行く、その手前のタンクですが、こちらの水位を計る装置がありますが、そちらが不具合を起こしました。タンク水位計が2つありまして、超音波、波の反射で水位を測る超音波式の水位計と、同じタンクの中に泡式、バブラー式といって泡をだして泡の量で水位を測る式と2つ入っていますが、超音波式の水位計がダウンスケールし、12:25 に水位異常で全体の工程異常で処理水装置が停止しています。7月に、油分分離装置の処理水タンクにも同じ設備、全く同じ設計でありまして、超音波式の水位計、バブラー式の水位計が付いていましたが、超音波式の水位計がバブラー式の水位計と異なった数値を示すというトラブルを起こしまして、超音波式の方をカットして、バブラー式の方で水位を確認しています。今回はその下流側の除染装置の処理水タンクの方で完全にダウンスケールということでありまして、設備的には再現してしまったということで、16日以降に SARRY のインサービスがありまして、装置を停止しますので、ここでしっかりと調べたいと思います。上流側の油分分離装置の処理水のタンクについては、滞留水の原液が入っていて、非常に線量が高かったもので、当時、超音波式の不良の原因を細かく調べることはできませんでしたので、下流側につきましては、しっかり調べて、こういう設備に超音波式がふさわしいかどうか議論したいと思っています。

(安定化 C 冷却 PJ 部) (書画を使用) 4号機の使用済み燃料プール冷却につきましては、先月末に運用を開始しています。スキマー、R/B から一度 Rw/B にもってきて、ポンプでまた戻すシステムになっています。今回は、仮設のところですが、Rw/B の熱交換器の手前のところでありまして、ストレーナがついていて、その手前のところから20秒に1滴程度の漏洩を確認しています。漏れた水は、一次系ですけれども、線量で 0.2mSv といった測定結果です。現在、フレキシブル金属の配管、ここから20秒に1滴もれていますので、その下に受け皿をおいています。現在、配管を取り替える準備をしまして、8月17日頃に取り替えを予定しています。その間、ドレンを受けていて、1日に1回、現場を確認して、適宜排水をしたいと思っています。(安定化 C 所長) 作業の方はよく計画を練って、ホース内の水も抜かなければならないので、段取りを詰めてから、作業にあたってもらいたいと思います。その後、原因が分かるのであれば、ホースの漏洩箇所をちゃんと見てもらいたいと思います。

(安定化 C 施設基盤部) 現在、仮設 1/2 号 M/C B、これの制御電源が落ちています。制御電源が落ちているということは、しゃ断器自体は As-Is の状態で保たれ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ますので、電気は供給されますが、万が一、事故が発生した場合にしゃ断ができないということになります。仮設1/2号M/C Bは非常に重要な電源に供給しています。炉注入ポンプ、N2供給装置、SFP代替冷却装置、原子炉監視計器等、非常に重要な電源を供給しているものです。現在、制御電源が落ちているということで、チャージャーが壊れているということが分かっています。チャージャー、充電器につきましては、東芝さんの広野に予備があるということで、現在、持ってきていただく準備をいただいています。また、現在、バッテリーを充電していて、バッテリーの電圧はDC125Vで制御電源を構築していますが、そのバッテリーも65Vまでへたっていますので、バッテリーも早急に交換しようということで、5名の当社の社員がバッテリーの移送に向かっています。

(安定化C所長)緊急の作業をしますので、現場の管理をしっかりやることと、復旧したら各所にコールをして状況を伝えてください。福島第一の復旧班には必ず伝えてください。

(1Fユニット所長)サイトの方でも状況を随時確認して発話します。

(本店情報班)(配布資料を使用)今、統合会見を実施していますので、情報共有します。中身は1Fの事故の収束、安定化に向けた人材育成策と人材確保策を講じていますということです。②にあたる講習が実施中だということを捉えまして広報したものであります。①②両方とも放射線関係の育成ということで、非常にニーズが高いということで、進めているものです。①は東京電力がやっている講習ですが、5月から実施して、いままで計21回開催し約1900名が受講しています。主に一時立入の空間線量測定の要員として現場の方で従事しているという状況です。②は政府の事業による放射線測定要員および放射線管理要員の育成のための研修ということで、エネ庁が主体で実施しています。場所はJAEAの東海とJヴィレッジを使ってやっています。東京電力と同じように測定要員を育成することと、メーカー、ゼネコンで放射線管理の業務を担う方が不足しているということもあって、エネ庁が主体となって研修を実施しています。8月6日にJヴィレッジ、8月8日から明日まで東海村の方で研修を行っています。2.は専門技術者の人材育成ということで、これもエネ庁と相談しながら進めているものです。1Fの仕事で要員確保状況について、東京電力の方でいろいろ企業さんにお聞きして、不足している要員について、エネ庁が原産協会を通じて関係企業に募集をかけて、それについて応募がいまのところ1件成立しているという状況です。専門技術者の育成確保に向けて活用していきたいと思っています。

(本店広報班)本日のプレス対応状況について説明します。本日、午前中は11時から11時36分まで当社のプレスが行われています。発表案件としましては、福島第二2号機の耐震安全評価結果の中間報告の一部訂正について、いわゆるバックチェックの訂正についての発表をしています。この他、情報提供としまして、1F3のトレン

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

チの水位計の取り替えについて、熱中症の発生について、をお知らせしています。主なやりとりにつきましては、熱中症の発生に関連しまして、これまでの発生人数、これからの対策、今後の休憩所の増設の予定、クールベストの着用がどの程度徹底されているのか、といった質問がありました。夕方は16時30分から統合会見です。水位計等により水処理設備が自動停止、再起動したお話し、4号機の使用済み燃料プール循環系のホースの水漏れの説明、人材確保と人材育成についての説明を実施しています。

(本店本部) 先程の安定化 C の説明の中で、広野のからバッテリーを持ってきてということでしたが、復旧の時間的な見通しがあったら教えていただきたい。

(安定化 C 施設基盤部) 充電器は東芝さんの広野においてある。チャージャーが活きなくてもバッテリーだけでも活かすことができます。バッテリーについては、今、1Fの中にたくさんありますので、たくさんあるバッテリーを今、取りにいています。2～3時間程度で復旧できるものと考えています。

(安定化 C 所長) 非常に暑い状況になっていますので、熱中症については管理、あるいは自己管理も含めて、夜の作業もあると思いますので、よろしくお願いします。それでは本日の全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/12(金)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 所長) 朝方、午前3時過ぎに福島県沖で地震がありました。最近3時台に震度5ぐらいの地震があつて、発電所の方もパトロール等で大変ですけども、富岡で震度5弱の地震でした。いずれも、重要な設備の機能に影響を及ぼすものはなかったと聞いていますが、その関連で、4号機の使用済み燃料プールの冷却ホースよりにじみがあったことが朝方分かった。

(1F ユニット所長) 本日も非常に気温が高いところまであがりましたが、おかげさまで、熱中症、けが人の発生はありませんでした。残念なことに、夜中、通勤途上の方が一人、交通事故、自損ですけども、1件ありましたので、これについては、きちんと企業さんを含めて対応していきたいと思っています。今朝方の地震につきましては、特段、メインのプロセスに影響を及ぼすものではありませんでしたが、4号機の使用済み燃料プールにつきましては、地震というよりも、配管の敷設の関係だと思いましたが、少し水がにじんでいる箇所が現時点で4箇所ほどあることが確認されていますので、後で説明の方、よろしくお願いします。

(1F 発電班) 3:22の富岡、河内、震度5弱という地震がありまして、当所としましては、6号機の検出器で水平 52.1Gal、垂直 25.3Gal でありました。地震後に注水量を確認したところ、1号機で注水量が3.2m³/hまで低下しているということで、速やかに3:52に3.9m³/hに調整しています。その他、当直のパトロールとしましては1～4号機および共用プール共に特に異常はありませんでした。プラント関係ですが、1号機は原子炉へ3.8m³/hで注水しています。RPV底部ヘッドで94℃、D/W圧力は0.028MPaです。使用済み燃料プール温度は39.5℃でまだ若干低下傾向を示してくれています。2号機は原子炉へ3.5m³/hで注水しています。RPV底部ヘッドで117℃、D/W圧力は26.7kPaです。使用済み燃料プール温度は38℃です。注水量ですが、3.5m³/hまで低下していますので、様子を見て、これ以上低下するようであれば、上げ側で調整したいと思います。3号機は原子炉へ9.0m³/hで注水しています。RPV底部ヘッドで105℃、D/W圧力は0.2kPaです。使用済み燃料プール温度は34℃です。4号機は、使用済み燃料プール温度は45℃です。5号機は、RHRによる原子炉の冷却、FPCによるプール冷却を継続中です。6号機は、RHRによる原子炉とプールの交互冷却を継続中です。特に異常はありません。

(1F1～4号復旧班) 水処理、水移送は継続していますが、T/Bならびにプロセス主建屋の水位は思ったほど変化していないというのが今日は続いています。2号機は、T/Bの水位は今朝方より3mm下降してOP3602mmですが、トレンチの方は1mmの下降に留まっていてOP3586mmです。3号機は、トレンチの水位は今朝方より変化ありませんでしてOP3622mmという状況です。4号機は、今朝方より10m

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

m上昇しましてT/BはOP3549mmという状況です。1号機のR/Bは4mm下降してOP4615mmです。プロセス主建屋は今朝方より2mm下降してOP5283mm、HTI建屋は7mm上昇してOP3567mmという状況です。昨晚の全体会議前に発生しました1/2号仮設M/C Bの不具合ですが、充電器、バッテリーを交換しまして、本日朝方、8/12の1:22に復旧しています。地震後ですが、淡水化处理装置蒸発式のボイラーが振動大トリップをしたということで、リセットして復旧しています。1号のIAコンプレッサー2台運転のうち1台が停止しているのが保全のパトロールで発見されまして、当面、ディーゼル駆動のコンプレッサーを起動しました。本日、11:40に2号の仮設コンプレッサー、今、2号では使っていないので、こちらを移動しまして、11:40に取り付け完了し運転をしています。4号機のSFP循環冷却装置ですが、昨晚、1箇所のにじみが出ていましたが、地震後のパトロールでさらに1箇所、本日、新たに2箇所、計4箇所ににじみ程度のリークが確認されています。これにつきましては、チューブのレイアウト、内側におけるねじれ、曲率に注意が必要なものとして認識していきまして、センターと調整していきたいと思っています。4号のSFPにはヒドラジン2m3注入しています。1号のSFPには15m3の補給を行っています。明日、4号のSFPに15m3補給する予定です。

(1F5～6号復旧班)明日の作業ですが、T/Bから仮設タンクへの滞留水の移送はありません。仮設タンクからメガフロートへの滞留水の移送ですが、明日は水切りがある関係で、17時から実施しまして、次の日の10時まで実施する予定です。

(1F 土木班)本日、交通事項がありましたが、より一層安全運転に努めていただくよう、要請していききたいと思います。工事の方ですが、タンク設置工事ですが、本日、明日もGエリア、Hエリア、継続実施です。無人によるガラ撤去は、本日5コンテナ、明日からの作業はありません。海関係ですが、1～4号透過防止工の仮設杭の設置、北護岸のテトラポットの据付け、継続実施です。シルトフェンスの開閉はありません。

(1F 建築班)R/Bカバー関係、1号機におきましては、本日、北西、北東2本の柱の建方を完了しています。明日は柱の微調整を行った後、北側の梁、柱間を繋ぐ梁の建方を行う予定です。明日、鉄骨部材の海上輸送があります。3号機につきましては、鉄板敷き、路盤整備、本日より主排気ダクトの解体に着手しました。明日も継続作業になります。4号機ですが、鉄板敷き、路盤整備、明日は、8/13から15まで休工になります。スラッジ貯槽施設関係ですが、地盤改良と300tクローラークレーンの組み立て、明日も継続作業になります。

(1F ユニット所長)作業環境の関係ですが、構内の方でかなりスズメバチの方が始めている、作業される方の安全という観点がありましたが、スズメバチを駆除する専門の企業の方が構内に入れられないという事情があつて困っていましたが、関連会社の方で直接駆除の作業をしていただけるというお話しになりまして、近々作業のほうが進められるということになっています。このあたり一体にいろんな形で存在するた

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

め、発生したらやっつけるという形で対応せざるを得ないのですが、できるだけ作業の方に迷惑がかからないように、万全を期したいと思います。

(安定化 C 施設基盤部) (書画を使用) 仮設1/2M/C Bの制御電源トリップについてご説明します。昨日、当直員が定例パトロールで屋外にあります仮設分電盤、これのしゃ断器がトリップしているということを見つけていただきました。車の上にコンテナハウスがあり、そこに仮設1/2M/C Bがありますが、そこに充電器盤があり、この充電器盤のトリップを確認しています。また、横においてありますバッテリーですが、この電圧も96vから65vまで下がっていることを確認しています。仮設1/2M/C Bというのは、非常に重要な電源を背負っているM/Cで、制御電源がなくなるということで、しゃ断機がAs-Is状態になる、動かない状態になるということ、負荷電流がなくなるわけではないですが、異常状態であるということ、対応しています。コンテナハウスの上に仮設1/2M/C Bがありまして、その横に既設のチャージャー盤、蓄電池があったものをどけまして、新しい充電器、バッテリーを置くという作業をしています。時系列ですが、パトロールで14:50にトリップを発見しまして、その後、現場調査をおこなっています。16時頃、現場調査をおこなって、絶縁抵抗の値を見まして、問題ないということから、実際に1回ブレーカーを入れています。ところが、充電器は動作しなかった。その後、取替用の充電器、バッテリーが到着しています。どちらも従来使っていたものと型式が異なっていたということで、作業手順を確認すると共に、それらをつなげるケーブルを探しに行っています。その後、アイソレ等々をやって、最終的には1:22までかかってしまいました。昨日は2~3時間で終わるといいましたが、かなり時間がかかってしまいました。推定原因ですが、充電器盤の内部で地絡事象が発生してELB、ブレーカーがトリップしたと推定しています。蓄電池の方も、チャージャーがトリップしてから長時間経過したので、電圧が下がったと推定しています。応急対策としましては、充電器、バッテリーを新品と交換しています。また、本日、水平展開としまして、類似箇所の点検を行っています。外観点検、電圧値、抵抗等を確認し、全て異常のないことを確認しています。12個の充電器を確認しまして、全て良好でありました。(安定化 C 所長) 原因等を分析してもらうことが次にありますが、他の部分はチェックが終わったということです。

(安定化 C 冷却 PJ 部) (書画を使用) 4号機使用済み燃料プール代替冷却システムの一次系に漏洩があったことについて説明します。昨日、使用済み燃料プールの一次系のライン、Rw/Bの1階に敷設していますフレキシブルチューブから漏洩が確認されています。本日、朝方、別の箇所から漏洩があるという連絡がありまして、本日、再度確認をしましたところ、新たに3箇所の漏洩が確認されました。場所は同じくRw/Bの1階に敷設していますフレキシブルチューブで、昨日確認されたのはポンプの入口側のラインでしたが、本日確認されたのはポンプの出口側、熱交換器ユニットを出て直ぐのところのフレキシブルチューブの1スプールの中の2箇所で確

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

認しています。もう一つは、鋼管を一度噛ませまして、さらに下流側のフレキシブルチューブに1箇所漏洩が確認されて、計3箇所、昨日と合わせまして計4箇所漏洩が確認されました。本日確認された箇所の程度に関しましては、にじみ程度となっています。昨日確認されました漏洩の対策としましては、チューブの取り替えを8/17に予定をしていますが、今回見つかったチューブの方も合わせて8/17に取り替える方向で調整をしています。敷設状況につきましても、合わせて検討しまして、調整したいと思います。

(安定化 C 冷却 PJ 部) 2号機使用済み燃料プール代替冷却システムですが、冷却塔に補給するラインの採水口の元弁が閉まっていたという件です。ラインですが、ろ過水タンクから消火系のラインを経まして、1/2号の山側に採水口があります。こちらからホースを接続しまして、冷却塔の冷却フィンに散水する水を補給するラインを形成しています。今回閉まっていたのは、採水口にある元弁です。本日、開操作をして元に復旧をしています。こちらの事象は先月、7/17にも同じような事象が発生してしまっていて、その際の対策としまして、操作禁止の表示をしています。この状態で再発してしまいましたので、今度は、バルブの操作のところにカバー等を付けて、物理的に誤操作を防止する検討をしていきたいと思います。(安定化 C 所長) 注意喚起という話では済まないということで、しっかりやっていただきたいと思います。

(安定化 C 水処理 PJ 部) 本日は、ベッセル交換は行っていません。4系列中の1系列のポンプが止まっている関係もあり、流量は46t/hで流れています。AREVAの出口につきましては、50t/h以上流れるということは確認されていまして、継続しています。RO、淡水化装置につきましては、運転継続中になっています。明日はベッセル3塔交換を予定しています。

(本店広報班) 今日の広報状況をお伝えします。朝は11時からレクをしています。1/2号仮設M/Cのバッテリーの交換、今朝の地震の影響、発生事象について説明しています。マスコミからの質問は少なく、25分で終了しています。午後は18時から午後の会見が始まったところです。内容に関しましては、定例の分析結果、2Fの事故報告、線量越えに関しまして放射線管理体制、3人目から6人目、250mSv越えが発生していますが、そちらの原因究明と再発防止対策を説明しています。あわせて、水処理の各設備のサンプリングの結果を説明する予定です。

(安定化 C 所長) 明日、明後日とお盆にかかっていますが、安定化センターのカバーリングの工事を含めて作業は土日でもやる予定です。お盆の最中ですが、安全に気をつけて行きたいと思いますし、作業されている方には感謝申し上げますが、一歩ずつ前進していきたいと思います。それでは本日の全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/13(土)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 所長)本日も、作業はかなり少なめでした。作業に関する特記事項は特にありません。水処理関係につきましては、昨晚の全体会議の開催中に工程渋滞というインターロックが発生し、システムが停止しています。原因等については不明な部分がありまして、まだ説明が必要であります。ものが壊れていないということで復帰しています。蒸発濃縮装置の2Bで、薬液ホースが外れるということがありまして、ホースは復旧していますが、漏洩した薬液の処理をしているという状況です。本日は、細野大臣が福島県にお見えになり、午後 J ヴィレッジに立ち寄られました。福島第一のセンターテーブルにある千羽鶴がそうだと思いますが、アメリカNRCの職員、家族が折られた千羽鶴を細野大臣経由で福島第一の皆さんの激励ということで寄贈いただいております。J ヴィレッジの皆さんへということで、細野大臣から福島県産のりんごとジュースをいただいておりますので、皆さんにお配りしております。ありがとうございました。

(1F ユニット所長)本日も非常に気温が上がるという状況でありましたが、傷病者等の発生はありませんでした。熱中症の方も特にありませんでした。プラントのパラメータの方は特に問題なく安定しています。炉注の流量の方も調整をした後、安定をしているという状況です。水処理装置の方は昨晚の23:33に定格になった以降、運転を継続していきまして、2号機、3号機からプロセス主建屋への移送も継続しているという状況です。15:00に6号機のタンクからメガフロートに移送を開始しましたが、明日までの移送をもってメガフロートが満杯に近づくということで、移送の方は当面停止ということになります。

(1F 発電班)1号機は17時現在、原子炉への注水は3.6m³/h、若干下がっています。引き続き様子を見て、場合により調整します。RPV底部ヘッドで93℃、使用済み燃料プール温度は37℃、D/W圧力は0.028MPa程度です。2号機は原子炉へ3.8m³/hで注水中で、RPV底部ヘッドで115℃、使用済み燃料プール温度は38℃、D/W圧力は23.9kPa程度です。3号機は原子炉へ9.1m³/hで注水中で、RPV底部ヘッドで104℃、使用済み燃料プール温度は33℃、D/W圧力は0.2kPa程度で、いずれも安定しています。4号機は、使用済み燃料プールはポンプ入口温度で45℃で、これも安定しています。5号機、6号機は冷温停止中で、パラメータは特に変化ありません。

(1F1～4号復旧班)水処理、水移送は継続していきまして、T/B関係の水位も低下しています。2号機は、T/Bは今朝より7mm下降してOP3585mmです。3号機は、トレンチは2mm下降してOP3615mmです。4号機のT/B、1号機のR/Bも10mm以上の下降を示しています。一方、プロセス主建屋は移送と処理量がバランスしているせいか、あまり下がっていません。プロセス主建屋は16時現在で朝に比べて

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

1mm上昇してOP5337mmという状況です。HTI建屋は9mm上昇してOP3596mmになっています。本日、滞留水処理についてはベッセル3塔の交換を行っております。明日もベッセル3塔の交換があります。その他、水処理関係では、今朝7:11に蒸発式の方の濃縮装置の2Bを停止しています。原因は、薬注のラインのホースが外れたということで、現在も停止中です。明日には運転を再開すると聞いています。4号機と3号機に使用済み燃料プールに補給を実施しています。4号機の使用済み燃料プールの循環冷却装置のリークですが、1日1回リークの状態の確認をするということで、本日17時にリークの確認をしています。リークの拡大等なく、問題はありません。

(1F5～6号復旧班) 明日の作業ですが、滞留水について、仮設タンクからメガフロートへの移送、今日の17時から行ってまして明日の10時まで行います。

(1F 土木班) タンク設置工事ですが、Gエリア、Hエリア、本日、明日、継続実施です。無人によるガラ撤去は、本日、明日ともにありません。海工事関係ですが、1～4号の仮設杭の打設、本日実施しました。明日はありません。テトラポットの据付けですが、北護岸、テトラポット本日実施しました。明日は休工です。

(1F 建築班) 1号カバーにつきましては、R/B北側の鉄骨梁の建方を行っています。合わせまして、柱2本、梁2本の水切りを午前中に行っています。明日は、本日設置した梁の調整、西側壁面の鉄骨の撤去、および本日水切りした部材のメガフロートから物揚場への移送を行います。3号カバーにつきましては、西側通路の路盤整備、2号～3号間での主排気ダクトの解体、4号西側で600tクレーンの組み立て作業を行っており、明日も継続です。飛散防止テントにつきましては、日中および夜半作業で行っておりまして、テント屋根の組み立て、シート張りを継続で行っておりまして、明日はテント内の間仕切り壁の設置を行います。スラッジ貯槽施設については、地盤改良およびクローラクレーンの組み立てを継続して行っています。

(1F ■■■■■) これが先程、小森センター長からご紹介いただいた、細野大臣経由でアメリカのNRCの皆さんからいただいた千羽鶴です。正直申し上げて、アメリカ人は不器用かと思いましたが、非常に丁寧に折ってあります。アメリカ人は25が好きなのでしょうか、25の鶴を黒い糸で通して全部で40本、千羽いただきました。メッセージ、「ありがとう」とか「がんばれ」とか「お祈り致します」とか、あるいは自分のサインが入っている千羽鶴です。非常に貴重な物をいただきましたので、吉田所長がもどきましたら飾る場所を相談して決めたいと思います。(拍手)

(安定化 C 水処理 PJ 部) (書画を使用) 昨晚、装置が停止したということで概要を説明します。水処理装置としましては、プロセス主建屋から水を汲み上げて、セシウム吸着塔、それから凝集沈殿装置を経由してSPTタンクに水を流していくというようなことになっています。昨晚は工程異常ということで、一連の水の流れの中で異常が出た場合に工程異常というものが出て、どこか1箇所、凝集沈殿装置側が水の受け

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

入れができなくなると、工程異常と判断しまして、全体を止めるようなシステムになっています。昨晚止まった原因について警報等を確認しましたら、凝集沈殿装置の受け入れ可という信号が OFF になっていたことが確認されています。受け入れ可の信号は、凝集沈殿装置は入口タンクがあって、タンクに溜った水をポンプで汲み上げて、順次、下流側の凝集沈殿装置に流していったディスクフィルタ、それから処理した水を廃液処理水タンクに貯めて、また、ポンプで移送するといった流れになっていますが、この中で何らかの異常があった場合、例えば移送ポンプが停止した場合、下流のポンプもそうですが、故障した場合、薬液が注入できなくなってしまう場合、水処理ができないということで、凝集沈殿装置全体としては、水を受け入れることができないという信号を発することになっています。昨晚、この受け入れができないという信号が出まして工程異常が出たのですが、凝集沈殿装置側のポンプ、凝集沈殿装置側の薬液注入ポンプ側も確認しましたが、これらの装置の異常を示す信号が一切出ていないということで、なんらかの制御系の一過性の信号が出てしまったのではないかとということで、装置の方の警報のリセットをかけまして起動させたところ、問題なく起動できるということが確認されました。今現在、装置の方は順調に運転していきまして、セシウム吸着塔の入口で45t、凝集沈殿装置の出口側で51tほど水が流れているといった状況です。今後入ります SARRY の試運転時にあわせて制御系の再確認をしていきたいと考えています。本日発生した不具合ですが、SPTタンクに溜った処理水、塩分を含んでいますので、淡水化装置の方で塩分を取り除いた後、原子炉側の注水水に使っていますが、淡水化装置で出てくる廃液は更に濃くなった塩水が出てくるということで、淡水化装置で出てきた水、廃液を更に凝集してあげて、淡水と更に濃い廃液に分離する、蒸発濃縮装置という装置があります。蒸発濃縮装置につきましては、1, 2, 3と分けてありますが、1A, B, Cと書かれていますのが今、試運転中で、今日、薬液が漏れたのは、2A, Bと書いてあるうちのBの薬液タンクのホースが外れたものです。濃縮装置は、入ってきた廃液を暖めてあげて水と濃い廃液に分離させてあげる装置なのですが、中に伝熱管等が入っていますので、スケール付着防止のために、薬液を注入するようになっています。炭酸ソーダという薬液をポンプで昇圧してあげて、濃縮装置に入れてあげるということですが、フランジと塩ビのホースがあるのですが、ホースの接続部分が外れていたことが確認されています。漏れた廃液につきましては、堰のなかで留まっていた外部には漏洩していません。ホースの接続部分につきましては、ホース口のところに通常ニップル、「たけのこ」といっています、金属のギザギザのところにホースをはめ込みバンドで締付けるという構造になっています。今回はこの部分が外れたということです。本日、ホース、ホースバンドの点検を実施しました。当該部につきましては、ホースは変形、傷、亀裂等はありませんでした。ホースバンドにつきましても、異常はなかったのですが抜けていましたので、確認が一部不十分であったのではというのがあり

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ました。ホース口につきましても、特に異常はなかったということで、点検結果につきましては、ホースが抜けていたということもありまして、バンドの締付け具合について十分確認が出なかったのですが、類似箇所について点検したところ、ホースバンドの一部にゆるみが確認されています。この設備は屋外のテントの中に設置されていますので、室温の温度上昇によりましては、ホースが軟化して緩むという可能性がありますので、そのような原因で緩んでしまったのではないかと考えています。対策としては、今回、ホースバンドの増し締めを行うとともに、万が一ホースが軟化して抜けてしまった場合を想定しまして、一部、ホースバンドのところにウケドメをつけて対応していきたいと考えています。今現在、廃液の処理の準備をしまして、廃液の処理が終わりましたら、再度薬液をタンクに入れまして、蒸発装置の運転に入りたいと思います。復旧は明日を予定しています。

(本店広報班)本日の中央プレスへの説明状況についてご説明します。本日は当社単独会見ということで、午前中は11時から、午後は6時からということになっています。午前中につきましては、水処理装置の不具合の件につきまして2件説明して20分程度で終わっています。6時からの会見であります。定例の案件の他は大きなものではなく、説明するのは蒸発濃縮装置の続報になっています。

(安定化C所長)。お盆の最中でもありますし、また、暑いので、作業されている方には大変ご苦労だとは思いますが、安全を確保しつつ、しっかりと仕事を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。それでは本日の全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/14(日)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 所長) 日曜日のお仕事ご苦労様でございます。本日は作業的には量が少なく、作業員の方も少ない状況であります。カバーリング、タンク設置等については継続している。特段大きな特記事項はございません。それでは、1F さんから発電所のプラントの状況と作業状況についての報告をまずお願いしたいと思います。

(1Fユニット所長) 先程ありましたように、お盆の期間中ということもあり、APD の貸し出しの数でいっても、通常の半分以下という数になっている。今日 30℃を超えるような気温だったが、ケガ人、熱中症等の発生はなかった。プラントパラメータは安定して推移している。水処理設備もベッセル 3 塔の交換を行い、運転を継続している。

(1F 発電班) 1u は原子炉へ 3.9m³/h で注水している。昨日の夜に注水量の調整をした以降、安定している。RPV 底部ヘッド温度は 93℃、使用済燃料プール水温度が 35℃、D/W 圧力は 0.028MPa gage。2u については、3.7m³/h で注水を継続しており、RPV 底部ヘッドが 115℃、使用済燃料プール水が 37℃、D/W 圧力は 20.6kPa gage。3u も 9.1m³/h で注水を継続しており、RPV 底部ヘッドで 104℃、使用済燃料プールで 34℃、D/W 圧力が 0.2kPa gage で安定している。4u のプール水温度は 44℃。5u・6u については冷温停止中で、パラメータの変化はない。

2 点ございまして、1 点は共用プール建屋の地下階に、昨日、水溜まりを確認している。本日調査しているが、建屋のすぐ脇のトレンチからファンネルを通じて流れてきていることを確認している。なお、水の方は放射能が殆どなく、セシウムでマイナス 1 乗オーダー、塩素濃度も 550ppm で、地下水であろうと思っているので、今後止水を検討する。あともう 1 点、明日 8/15 から、1u～4u で PTW の運用開始をする。関係者に先にご連絡しているが、ご協力をお願いする。

(1F1～4 号復旧班) 炉注関係は引き続き注視する。SFP 関係では、本日 4u スキマーに補給を実施しており、16:14～16:41 まで、約 13.5t 注水している。明日の予定だったが、明日の早朝にかけての作業になりそうだったため、本日実施している。水移送関係は、2u・3u の移送は継続だが、3u の移送に関しては明日サリー装置のインサービスに伴う水位調整の観点から、移送を停止する予定でいる。水位関係だが、2u の T/B 及びトレンチで、それぞれ 7mm の下降。3u で T/B とトレンチで 3mm と 1mm の下降。4u の T/B で 5mm の下降となっている。受け入れの集中ラドだが、プロセス建屋 4mm 上昇で OP+5351mm、HTI で 12mm 上昇して OP+3622mm、引き続き注視していく。水処理装置関係だが、定常流量で運転を継続。H ベッセル 3 塔の交換を実施しており、明日は交換の予定はない。蒸発濃縮装置 2B だが、現在止まっている。薬注ラインのホース外れで止まっていたが、最終確認を実施して、明日の午前中に運転を再開する予定。4u の SFP ポンプ周りの金属ホースの点検については問

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

題のないことを確認している。

(1F5～6 号復旧班)6u の仮設タンクからメガフロートへの移送だが、昨日 17 時から本日 10 時まで移送を行った。明日だが、メガフロートへの移送は、いっぱいになったので一旦中断する。6u T/B 地下から仮設タンクへの移送だが、本日はなかったが、明日 11:00 から 16 日の 16:00 まで移送を行う。

(1F 土木班)タンク設置工事は本日・明日ともに G エリア・H エリア継続実施。明日は 1-4u 透過防止工設置工事、北護岸テトラポッド据付を実施する。

(1F 建築班)R/B カバーリング工事については、1u は本日は 1 回目に行った北側の梁の調整作業を終了した。明日は西側に出ている鉄骨の干渉部分を撤去する予定。3u については、引き続き路盤の周辺整備及び主排気ダクトの解体等を実施する。また、スラッジ貯蔵施設に関しては継続して地盤改良等を実施する。また、飛散防止用のテントについては、本日も夜間作業としてテントの屋根の組み立て及びシート張りを実施する。

(安定化 C 所長)ありがとうございました。水処理関係については、16 日、17 日にかけてサリーの試運転をするということで、その他のキュリオン・アレバ等についても停止して、その間の作業段取りについては明日まとめてお話ししたいと思うが、本日のところで補足することがあれば、水処理チーム、お願いします。

(水処理 Pg 部)本日、水処理は継続して実施しているが、朝方、若干流量が低かったが、流量調整を行い、現在は 50t/h で流量が流れている。従って、プロセス建屋の水位も昼以降は横ばいとなっている。それから、明後日 16 日から、サリーの工事を実施するというので、実施は 16 日の昼くらいから実施したいと思っている。1F さんから話のあった通り、そのための準備で 3u の移送を明日の夕方停止したいと考えている。

(本店広報班)今日午前中 11 時から 11時半で、日曜のため、■■■■さんではなく、事務方でプラント状況をご説明している。昨日起きた蒸発濃縮装置のホース外れに関する質問が出ている。これに加え、一部のフリーランスからは、被ばく管理について質問されている。夕方は 18 時から ■■■■部長が、通常のプラントデータの説明を中心に行っている。

(安定化 C 所長)今日は作業も少なく、安定化センターもこれまでで一番ここに出てきている人が少ない日になっている。なければ会議を終わりにしたいと思います。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/15(月)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 所長)

本日もお盆でもあり、作業は比較的少なめであり、休みを取られている方も多い状況でした。定例的な工事を中心ですが、明日、サリーの試運転を予定している。水処理のバランスもある程度目途が立ってきたという事で実施する方向で段取りをしています。後程ご説明致します。又、注水系について、以前、3u にて炉注水量を絞ろうとした際に振動が出て調整できなかった件の改善として、弁の取替を考えている。後程安定化センターから説明致します。

(1F所長)

天候は晴れでした。作業の中で、ケミカルアンカー打設の際に手のひらを怪我した方が一名いました。これも注意すべきポイントは十分分かっているとは思いますが、若干到らなかった処がありました。幸い、縫合等は不要という事でした。明日から又作業が増えていくので気をつけていきたい。

(1F 発電班)

1号機は原子炉へ 3.9m³/hで注水継続しています。RPV底部ヘッドで 93℃、使用済み燃料プール温度は 35℃、D/W圧力は 22kPagageです。2号機は原子炉へ 3.6m³/hで注水しています。RPV底部ヘッドで 115℃、使用済み燃料プール温度は 37℃、D/W圧力は 20kPagageです。3号機は原子炉へ 9.1m³/hで注水しています。RPV底部ヘッドで 104℃、使用済み燃料プール温度は 34℃、D/W圧力は 0.2kPagageです。4号機は、使用済み燃料プール温度は 43℃です。4プラント共パラメータは安定しています。56号機は冷温停止中でプラントパラメータに大きな変動はありません。

(1F1～4 号復旧班)

炉注関係は調整等はありません。引き続き注視していきます。SFP関係の作業はありません。水移送関係は、本日17時少し前に 3u からプロセス建屋への移送を停止しています。サリー関係によるものです。2u 移送は明日12時に停止予定です。

水位については、2u T/B・トレンチでそれぞれ 8mm、7mm 下降です。3u は 3mm、4mm 下降です。4u T/Bで 3mm 下降です。集中 Rw では、プロセス建屋で 4mm 下降して OP+5337mm、HTI建屋は 16mm 上昇して OP+3653mm です。センターと調整していきたいと思います。

水処理関係では、本日、蒸発濃縮装置2Bを運転再開しており、現時点で問題はありせん。水処理全体は定常流量で運転を継続しています。サリー装置は、明日か

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ら試運転に入ります。明日12時に水処理装置全体を停止する予定です。又、3u 炉注水関係の作業で、明日午前中にDG側に切替えて作業にかかっています。4u SFP 冷却設備のフレキパトロールは、本日も実施し問題ないことを確認しています。

(1F5～6 号復旧班)

仮設タンクからメガフロートへの移送は、本日行っていない。6u T/B 地下から仮設タンクへの移送は、当初、15日11時から明日16日予定でしたが、タンク水位を確認し、明日9時にポンプを停止する計画に変更致します。

(1F 土木班)

滞留水タンク設置工事は本日も実施しており、G エリア・H エリア共に本日・明日継続実施。夜間作業はありません。ガラ撤去は本日休工です。海関連について、1-4u 透過防止工設置工事は導杭打設を本日並びに明日実施する予定です。北護岸テトラポッド据付は本日並びに明日実施する予定です。シルトフェンス開閉については、本日はなく、明日も予定はありません。所長から冒頭に話がありましたが、セシウム吸着塔仮保管庫の門型クレーンを設置する際のケミカルアンカー設置作業中に、ガラスが割れ手のひらへの負傷が発生しました。作業手順を含めて再発防止に努めていきたい。

(1F 建築班)

R/B カバーリング工事については、1u は、本日、建屋周辺整備、建方準備を進めています。建方に向けて、西側にN2配管の防護構台を設けていましたが、落下物の心配が無くなったため明日撤去を行います。3u は、西側道路の路盤整備、2-3u 間主排気ダクトの解体、600tクレーン組み立てです。明日は継続になります。4u は、本日作業はありませんでした。明日は、ガラ撤去・運搬、クレーンヤード整備になります。滞留水関係はスラッジ貯蔵施設の地盤改良と300tクローラークレーン組み立てを行いました。明日も継続です。

(安定化 C 所長)

明日から行うサリー試運転関係のスケジュール感と、その間にキュリオン・アレバを停止しますが、各不具合の究明について併せて行うため、その作業内容について説明をお願いします

(水処理 PJT () (書画使用)

明日のサリー試運転の状況について概略系統図を用い説明します。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

サリーは、基本的には吸着装置であり、キュリオンのベッセルと同じ構造になっています。入口にポンプがあり、油分を除去するフィルター、本丸部分のセシウム吸着塔、最終段にはメディアフィルターが付いています。

これまで行ってきたポンプ・配管等の設備工事、単体試運転を経て、明日正午から系統試験、除染能力の確認を行います。確認につきまして、アクティビティーの無いろ過水及び 10^{-3} と若干アクティビティーのあるSPTタンク水を使用し、ろ過水→サリー→SPT、SPT→サリー→SPT で循環運転を行います。SPT 運転の段階で、線量的には低いですが、除去能力(DF)の一部が確認できます。その後、各モード運転(サリー単独、キュリオン→サリー、サリー→アレバ、キュリオン→サリー→アレバ)に入っていきます。予定は、明後日夜9時頃まで試運転(連動試験)を継続し、滞留水処理は9時以降に開始する予定です。最終的には、キュリオン→サリー→アレバ通水試運転を行って、そのまま滞留水処理に入っていきます。その後、RO側淡水処理装置の手前側の配管(カナフレックス)で若干流量が低下している状況のため、そちらのふきかえ作業を19日に予定しており、当該箇所の流量を回復させた後に、サリーの運転モードについて議論して決めていきたい。簡単ではありますがサリー試運転についてはこのような予定です。

又、試運転期間(16~18日)にて、至近(6/25以降)で発生した水処理装置に関する幾つかのトラブルについて対応していく。

①油分分離装置・アレバ除染処理水タンクの超音波水位計の不調が原因で、6,8月に装置が停止しており、その調査を行います。油分分離装置は場所が上流側になり高線量のため調査を主体に、アレバ出口タンクの水位計は取替を予定しています。又、一部タンク内の水の流路について、静定した水面が形成されるか調査します。

②セシウム吸着塔について、ポンプ自動停止が7/25を皮切りに継続しています。結果として、H-3のポンプ両方、SMZ-3、H-4の No1 ポンプが使用不能となっています。対策として、接地の見直し、電動機を制御するインバーター設定値の変更(過電流の設定、トリップ時間の見直し等)を行います。インバーター自身の健全性確認のため、健全な予備モーターを現場に持ち込み、インバーターとつないだ際に回るか、直接的な試験を行います。対象はSMZ-3、H-3、4と4つのインバーターになります。

③アレバ除染装置の攪拌機故障が 7/21 に発生しているため、当該装置の電動機について抵抗測定を行っていきます。これは二つ故障しており、現在は予備機Bポンプが両方共起動しているため設備の故障には至っておりません。201ポンプAは抵抗が無く、絶縁が破壊されているため取替を予定しています。203ポンプは抵抗

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

を測定し健全性を確認していきます。

又、アレバ除染装置 薬液注入ポンプの自動停止が 8/4,7 に立て続けに起きており、自動停止・予備機自動起動失敗の対応として、電動機のインバーター設定値の変更(最低周波数を上げる)し、電動機のドライブを強くしていきます。又、薬液ポンプ故障時の受入可信号消失時間(5s)を少し長めに取り、自動起動若しくは調整する時間を稼ぎたいと考えており、その調整を行います。

④8/5,12 に発生した工程異常について、除染装置の運転停止をした際に手で TK310 ポンプが起動していた結果から原因分析を行い、除染装置の運転停止時(アレバ除染装置は間欠運転をしておりその停止時)に、何らかの形でポンプが起動すると、受入可信号が消えるプログラムがされているため、受入可信号が消えない様、インターロックの変更を行います。

明日、明後日に行うメニューについての説明は以上になります。

(1F所長)

2点ほど質問致します。この短時間に原因究明・対策がとれるのか、フラッシングしてもそれなりの線量があるため線量管理ができるのか、原因究明を行っているとき水処理が滞ってしまう等、このバランスをどう取っていくのか誰がいつ判断していくのが重要となっていくと思うので事前に協議しておきたい。

キュリオンとサリーとアレバを直列運転する理由について分からないため、良く検討したい。

(水処理PJT)

線量が高い所(油分分離装置)は線量管理をして、他はフラッシングができるので現場の雰囲気は比較的低くなる事が分かっています。但し、アレバ装置関連(③関連)は現場の環境を良く見ながら線量・時間管理を行っていきたい。

(1F所長)

与えられている短い時間(48 時間)の中で、予定より時間がかかってしまった時に優先順位の判断をどうするのか等、事前に決めておく必要があると言っている。

(水処理PJT)

優先順位や調査が長くなったので全体工程が遅れる等ないように事前に確認致します。又、直列の話は、各運転モードがあるため、必ずしもサリーがキュリオンとアレバに挟まれる必要はございませんので、サリー単独で一つの系統・キュリオン・アレ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

バでもう一つの系統とパララン運転も今後検討していきたい。但し、パラランを行う際には、後段のRO側流量の確保や、100%+100%なのか 100%+50%なのかバランスを見極めながら決めていきたいと思っています。

(安定化センター所長)

1Fの方と良く情報共有しながら実施していくという事と、予定通りいかなかった時に判断は誰がするのかという事だと思いますので、48時間工程の間はキーマンを決めて1Fと連絡を取り合って進めていきたいと考えています。モード運転については、3つを並べて運転してインターロックを確認しますが、できれば1系統休ませる事が水質的にできれば、廃棄物関係も含めて良くなると思われる。ここは様子を見ながら最終的な判断をしていくと思われる。

もう一つ安定化センターから、3u 炉注バルブ取替について説明願います。

(循環注水冷却Gr)

明日から実施致します 3u 炉注流量調整弁の追設及び現在のバルブ交換について説明致します。現状、バッファタンクから2u 用ポンプを使用し 1u~3u を流しています。今回は、3u 用の流量調整をしているバルブから振動が出ており、7 月末に流量を下げようと調整しようとしたが断念しているため、流量調整弁を追設し、併せて現状振動が出ているバルブも取替を行います。作業にあたり、炉注は停止せずに実施します。非常用の高台炉注ポンプを起動し作業を行います。

工程は、明日午前中から作業にかかり、明後日の午後15時頃に試運転を行う予定です。追設が終わり、3u で9.0m³/hで炉注をした後、順次、8→7→6 m³/hと原子炉底部温度等を1,2 日程度監視しながら進んでいきます。これを来週末にかけて行っています。

又、流量調整弁の追設については、現在、12u 用も調達をかけており、こちらも準備が整い次第作業を行う予定です。説明は準備が整い次第行います。

(センター所長)

先ずは作業をしっかりやって頂くという事と、3u の流量を下げる件については時間や確認事項を1Fと良く調整をし、次のステップでまた紹介して頂きたい。

(保安環境部)

現在、作業を終えてAPDを返却する際、口頭で作業員に被ばくの線量実績を伝えていますが、明日0時からAPDを返却する際に被ばくの線量実績のレシートを渡す運用を開始します。対象の場所は、1F重要免震棟とJVで貸し出すAPDについて実施致します。本件は 7/22 に厚生労働省から被ばく管理の強化等についてとして、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

日々の被ばく線量について文書により労働者本人に通知する事という指示を頂き、それを受けての対応として本運用を実施していきたい。

(安定化センター所長)

関係者はご承知置き下さい。

(本店広報班)

本日のプレスレクについて説明致します。午前中は11時、午後は6時から当社単独の会見として説明しています。午前中は、11時から約20分程度。内容は共用プール建屋における水たまりの確認について、ご質問に出た1Fライブカメラが 8/14 昼 0:54 から3時間程度停止した件について回答しています。6時からの会見は、サリーの試運転とそれに伴うアレバ、キュリオンの調査内容について、炉注水ラインの流調バルブの取り付けについて説明する事にしています。内容は以上ですが、午前中に説明した共用プール建屋にて水たまりを発見した件について、本日午前中にはプレスに説明しているが、発見は13日午前6時ということで記者からは連絡の遅さを指摘されています。全体会議でなくても、適時発話をして頂いたり、広報班を通じて情報を頂きたいと考えております。繰り返しのお願いになりますが宜しくお願い致します。

(センター所長)

全体会議以外でも適時情報共有に努めたい。他に無ければ、本日の全体会議を終了致します。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/16(火)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C)

本日も暑い所、現場作業にあたられた皆様、各所で業務にあたられた皆様、お疲れ様でした。全体会議を始めたいと思います。お盆が開けまして、ほぼ定常通りの作業に戻ってきています。その中で、皆様ご承知の通り、水処理装置の3番目のシステムであるサリー試運転を本日からスタートしており、本日12時から水処理を停止し試運転を行っています。その進捗状況については後程報告致します。

又、3u 原子炉注水ポンプの流量制御弁が不調であったため、もう少し制御性の良い調整弁の取付作業にかかっています。少しトラブルがありましたが、その進捗についても報告致します。詳細については現場から報告頂きたいと思います。

(1F)

本日の天候は晴れでやはり気温もかなり上昇しています。それにより、2名の方が熱中症の症状に近くなり、又、気分が悪くなり OS1 を補給し回復した方が出てきています。本日はお盆明けですが、まだ定常の人数まで戻っておらず、明日から人が入ってくるため、本日の気温からすると、また明日も熱中症の危険性が高まる見込みから改めて注意喚起をしていきたいと思っています。初めての仕事(サリー等)や休み明けにミスがないよう注意していきたい。

(1F 発電班)

1号機は原子炉へ 3.9m³/h で注水しています。RPV底部ヘッドで 93℃、使用済み燃料プール温度で 34℃、D/W圧力は 31kPagageです。2号機は原子炉へ 3.8 m³/h で注水しています。昨日夜に流量調整を行った後安定しています。

RPV底部ヘッドで 114℃、使用済み燃料プール温度 37℃、D/W圧力は 20kPagageです。3号機は原子炉へ 9.1m³/h で注水しています。RPV底部ヘッドで 104℃、使用済み燃料プール温度は 34℃、D/W圧力は 0.2kPagageです。4号機は、使用済み燃料プール温度は 42℃で、いずれもパラメータは安定しています。56号機は冷温停止継続中でパラメータに異常はありません。

(1F1～4 号復旧班)

原子炉注水関係は引き続き注視していきたいと思っています。SFP注水関係は、4u スキマーサージタンクへの補給を 25t 実施しています。水移送関係は、本日、2u 縦坑から集中Rwへの移送を停止しています。3u は停止継続です。

水位については、2u T/B・トレンチでそれぞれ 6mm、5mm 上昇です。3u は 10mm、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

7mm 上昇です。4u T/Bで 4mm 上昇です。集中 Rw では、プロセス建屋で 27mm 下降して OP+5220mm、HTI建屋は 8mm 上昇して OP+3680mm です。HTI は若干管理値上限へ近づいているため、明日9時からプロセス建屋へ移送する予定です。滞留水処理装置関係は、本日12時から水処理装置を停止し、サリー試運転作業に入っています。ベッセルは3塔交換しています。

3u 炉注水関係ですが、本日午前中にDG駆動ポンプに切替え、作業にかかろうとしたが、DG駆動前のDGライン流量低警報がでるか確認した際、予定通り警報が出なかったため調査したところ、警報を出力する回路の一部ケーブルがなかったため、急遽ケーブルの敷設・接続作業を実施し、現在、警報回路の最終確認を実施しています。本日は暗くなってきたため、作業は一旦終了します。詳細はセンターから説明があると思います。

(1F5～6 号復旧班)

本日、仮設タンクからメガフロートへの移送はありませんでした。6u T/B 地下から仮設タンクへの移送は、昨日11時から本日 9 時まで行いました。明日は全て予定していません。

(1F 土木班)

いずれも継続作業ですが、タンク設置工事はGエリア・Hエリア共に継続で実施しています。本日・明日共に夜間作業はありません。ガラ撤去は明日まで休工です。海関連について、1-4u 透過防止工設置工事は本日までにガイドとなる導杭打設を完了しており、明日から本設の鋼管矢板打設を予定しています。

(1F 建築班)

カバーリング工事関連については、1u は明日の鉄骨建方に向けた構台撤去と鉄骨の移動を行っていました。明日は北西柱 HPS の鉄骨建方を行います。又、物揚場で鉄骨水切りを行います。3u は西側道路の路盤整備、2-3u 間主排気ダクト架台の撤去・集積、600t クローラークレーン組立になり、明日も継続になります。4u は建屋周辺でのガラ撤去・運搬、明日も継続で行います。滞留水関係はスラッジ貯蔵施設の地盤改良と 300t クローラークレーン組立を行いました。明日、地盤改良は継続、建物基礎の均しコンクリートの段取りを行います。

(安定化 C)

ありがとうございました。それでは、サリー試運転の状況について報告致します。

(水処理 PJT ()) (書画使用)

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

サリー試運転の状況ですが、本日 12:04 に停止操作に入り、そこから試運転に入っています。只今、ろ過水から通水しSPT(B)に通す運転、又、SPTからSPTに回す運転をほぼ終了しています。今晚から、キュリオンのセシウム吸着装置からサリーに回すライン、サリー単独運転モードに入っていきます。ほぼオンスケジュールで進んでいます。又、サリー試運転の裏で実施している、昨晚紹介した水処理装置トラブルへの対応状況について報告します。

先ず、キュリオン ポンプ自動停止について、予備モーターを現場に持ち込みインバーターと繋ぎ、モーターが回るか健全性確認をしています。結果は、4つのポンプ全てモーターが回った事を確認しています。これにより、インバーター自体は健全であるという事、又、先に調べていたモーター自体のメガー・抵抗測定結果は、H3 No1 ポンプのみ抵抗値が無く、絶縁がブレイクしている状態だった。それ以外の対象は、モーター巻線抵抗がとれていました。今後、H-4 No1,H-3 No2,SMZ-3 ポンプについては、何某かの回転に対する抵抗があると考えられるため、エキスパートと議論をしながら、明日の対策を検討したい。尚、接地とインバーター設定値については現在変更中です。

もう一点、アレバ攪拌機の故障と薬液注入装置のポンプ停止について、201Aポンプの抵抗測定は実施済みであり、抵抗はゼロであることが分かっています。又 203A ポンプは抵抗測定して問題なく、その後動作試験を行い問題なく稼働したことを確認しています。この 203A について、当時ポンプが停止した時のシーケンスをもう一度確認していきたいと思います。問題なければそのまま203Aをラインナップしていきます。薬液注入装置は、インバーター設定値の変更を実施しています。インターロック関係は纏めて明日行います。

超音波水位計については、明日、SPT水でフラッシングをした後、油分分離装置周りの点検及び除染装置周り超音波水位計の交換を実施します。

RO後段にある蒸発による淡水化装置試運転については、一つのブロック(1C)でガスケット交換等に手間取っているため、17 日からインサービスを予定していましたが、もう暫くスケジュールを延ばし、明日から19日に行う蒸発濃縮試験を経て、20 日からの運用開始として、都合3日遅れで進めています。状況報告は以上です。

(安定化C)

続いてサリー試運転期間中における建屋水位の見通しについて報告をお願いします。

(滞留水移送Gr.■)

サリー試運転に伴い、本日 12 時に水処理装置を停止しています。それにより、3u 移送を昨日夕方、2u 移送を本日 11:43 に停止しています。今後の予定は、サリー試運

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

転終了を8/17 21時に予定しているため、2u 移送はサリー試運転が安定してからという事で、8/18 10時、3u 移送は8/19 10時に運転再開を予定しています。

因みに、2u は 8/18 10 時時点で約 OP+3630mm。3u は 8/19 10 時時点で OP+3610mm と、管理値 OP+3700mm からそれぞれ-70mm,-90mm という水位を予定しています。もし、プロセス水位並びに水処理運転状況が順調にいけば、3u の運転再開を早めることも検討していきたいと思います。

(安定化C)

ありがとうございました。現在の水位予想は OP+3700mm に到達しないという事です。続いて、3u 炉注ポンプ ニードル弁追加作業の進捗状況について報告願います。

(循環注水冷却Gr [REDACTED])

本日から3u 炉注流量調整弁の追設工事を開始しており、午前中に非常用高台ポンプ切替前の確認(警報確認)を行っていた際、警報が出ないため確認したところ、一部の信号ケーブルが接続されていなかったため、ケーブル接続作業を行っていました。接続後、通信エラーが発生して Web カメラが見えなくなる事象があり、通信にそちらの対応をして頂いています。現在、Web カメラの映像は復帰した様ですが、こちらの対応と信号関係の確認作業を進めるため、明日終了予定でしたが、1日程度遅れる可能性があります。現状は、切替前の状況でストップしています。

(安定化C)

最初のケーブル接続漏れはなぜ検知できなかったか原因追及して頂きたい。

([REDACTED])

明日の作業ですが、先週、4u SFP 循環冷却のフレキ4箇所から微少なリークが発生した件について、そのフレキ交換を明日計画しています。取り替えたものは原因調査を行います。10時間程度の停止予定で約10℃上昇の見込みです。

(本店官庁連絡班)

8/13 に発生した共用プールの水漏れの件に関して、8/13 朝に発見されてから、本店と保安院との情報共有がされたのが 8/14 夕刻という事で丸2日空いており、本件に関して指導を受けています。何かありましたら速やかな情報提供をお願いしたいと思います。

(安定化C)

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

了解しました。徹底して参りたいと思います。

(本店広報班)

本日のプレス対応状況について説明致します。午前中は 11:00 から 11:30 まで対応しています。午前中の会見では、4uSFP における塩分除去装置設置について、資料に基づき説明をしており、質疑応答もその件について色々質問を頂いています。本日の朝日新聞夕刊に塩分除去装置について2面に掲載されています。又、サリ一試運転についても説明しており、2,3点質問を受けています。

先程、官庁連絡班から報告がありました、8/13 共用プールの水漏れについて質問を受けています。午前中の会見でも情報共有・提供の在り方等の質問を頂いています。夕方の会見は18時から行っており、本日は当社単独の会見になります。通常のサンプリング結果の報告、熱中症の発生、水処理設備停止に伴う計画点検について説明を予定しています。

(安定化C)

他に情報共有事項について無ければ、本日の全体会議を終了致します。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/17(水)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00

(安定化 C ■■■■) 本日は、大変厳しい暑さの中、現場の作業にあたられた皆様、あるいは各部署で作業にあたられた方、お疲れ様でした。8/17統合本部の全体会議を開催したいと思います。昨日、現場の作業がほぼ定常に戻りつつあると申しましたが、まだ少々というふうに訂正がありました。本日、トピックとしての作業としましては、昨日に引き続きまして第3の水処理装置であります、SARRY の試運転が行われています。また、SARRY の試運転に伴いまして、AREVA、KURION が停止しているこの期間を利用して、先日来から発生していますトラブルのトラブルシューティングを行っています。後ほどご報告させていただきます。また、4号機のプール冷却で、配管から若干の小さなリークが観察されていましたが、本日、その修理を行いまして、再びインサースしています。後ほどご説明します。その他、現場では、建築、土木、機械、電気の様々な作業が展開されています。1Fから詳細をご報告いただきたいと思います。

(1F所長)

天候は晴れで最高温度は34℃、かなり厳しい状態でしたが、熱中症ならびにケガはなく、企業さんはじめ皆さん、がんばっていただきました。この調子でいきたいと思っています。いろいろな作業が再開されています。現場も人が増えてきました。作業内容がかなりありました。その中でも特段トラブルもなく進んでおり、結構なことでした。

(1F 発電班)

1号機は、原子炉注入を3.8m³/hで継続しています。RPV底部ヘッド温度は93℃、使用済み燃料プール温度は34℃、D/W圧力は28kPagageで安定しています。2号機は、本日15:46に原子炉注入流量が低下傾向であるということで、3.5m³/hから3.8m³/hに流量を調整しています。RPV底部ヘッド温度は114℃、使用済み燃料プール温度は37℃、D/W圧力は20kPagageと安定しています。3号機は、原子炉注入を9.1m³/hで継続しています。RPV底部ヘッド温度は104℃、使用済み燃料プール温度は34℃、D/W圧力は0.2kPagageで安定しています。4号機は、プール冷却系のフレキチューブ交換のために約8時間程、プール冷却系を停止しています。プール温度ですが、停止時42℃だったのが最高48℃まで上がって、18時現在では46℃で冷却が進んでいます。5、6号機ですが、6号機につきましては、明日、海水ポンプAのテストランがありますので、その事前準備としまして、本日、FPC系のAポンプ、Bポンプの確認運転を実施して問題ないことを確認しています。

(1F1～4号復旧班)

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

炉注入関係ですが、2号機で3.8m³/hに調整しています。SFP関係ですが、本日4号機で約10t、スキマーサージタンクに補給をしています。水移送関係ですが、現在、2号機は立坑から集中ラド、3号機はT/Bから集中ラドへの移送は停止しています。明日、2号機で10時に移送再開する予定です。3号機は明後日になります。水位関係ですが、2号機でT/Bとトレンチで15mm、16mmの上昇です。3号機で9mmと8mmの上昇です。4号機はT/Bで2mmの上昇になっています。受け入れ側の集中ラドですが、プロセス主建屋で79mmの上昇でOP5302となっています、HTI建屋は130mmの下降でOP3580となっています。HTI建屋からプロセス主建屋への移送は、本日8:50から移送を開始しまして、17:25に停止をしております、HTIのレベルは下がっています。水処理関係ですが、SARRY 装置は本日21時までの予定ですが、詳細は安定化Cからあると思います。3号機の炉注水ラインの流調弁の追加ですが、本日、警報回路の確認とD/Gの起動、試運転を確認して、問題ないことを確認しています。明日からD/Gの起動と切り替え、弁の取り付け作業に入ります。7時からに変更になっています。4号機のSFP循環冷却装置廻りのホースリークの件につきましては、本日、ホースを交換しましてリーク確認を実施して問題ないことを確認しています。

(1F5～6号復旧班)

移送関係ですが、メガフロート、およびタービン地下から仮設タンクへの移送、本日ありませんでした。明日ですが、タービン地下から仮設タンクへの移送ですが、10時から8/19の9時まで行う予定です。明日、同じく6号機オグジャリーウォーターのAポンプがテストランになります。これで6号機の燃料プール系の冷却強化が図れることになります。

(1F 土木班)

タンクの建設関係ですが、継続で実施してまして、Gエリア、Hエリア継続でタンクの設置を行っています。夜間工事については、本日ならびに明日はありません。ガラ撤去につきましては、本日まで休工で、明日から4m盤のポンプ室廻りで無人重機による撤去を予定しています。海の工事ですが、1～4号機の透過防止工の設置ですが、本日より鋼管矢板の打設を開始しました。明日も鋼管矢板の打設を予定しています。なお、シルトフェンス開閉作業は本日はなく、明日も予定はありません。明日以降、お盆の関係で休んでいたガラ撤去工事、道路工事等、再開されますので、十分な安全管理に努めていきたいと考えています。

(1F 建築班)

カバーリングですが、1号が本日は北側の柱張りの立て入れ調整、これは明日も引き続き行います。また、本日、水切りですが、7:40に入港、9:44に出港で

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

予定通り完了しています。3号関係ですが、全体的に継続作業ですが、搬入路の整備、2～3号間で廃棄物処理建屋北側で崩落部材の撤去、4号西側で600tクレーンの組み立てを行っています。4号関係につきましては、ガレキの撤去、路盤整備を引き続き継続して行っています。スラッジ貯槽設置、こちらも継続で地盤改良を行っています。飛散防止テントにつきましては、本日昼間は、19日の運用開始の最終段階でカメラ無線ケーブルの調整ということで、システムの調整を行っています。また、着工以来、昼夜問わず夜間作業を行っていましたが、本日の夜間作業、全体の確認と片づけをもちまして夜間作業を終了します。

(安定化C ■■■■)

安定化Cからご報告します。SARRYの進展、進捗状況をお願いします。

(安定化C水処理PJ部)(書画使用)

試運転計画がありまして、17日を跨いでSARRYの試運転を実施しています。ろ過水、SPTを利用した運転について無事終了しています。各モードの運転、SARRY単独、KURIONからSARRYへ、SARRYからAREVAの凝集沈殿装置、最後は3つ連続して、というモードを残していますが、今、2つ程度終了してまして、夜にかけましてAREVAとの連動の試験に入っています。試験に関するトピックスですが、概ね順調ですが、ポストのフィルターがありまして、フィルターの差圧が上がるという事象がありまして、昨晚、取替作業に入っています。もともとろ過水を通して差圧を確認していましたが、SPTの水、若干、アクティビティ、線量がありますが、その水を通水したところ、差圧が上がってきました。フィルターの交換をしています。本日、21時頃の予定で進めていますが、概ね日付が変わるくらいまでには全ての試運転が終了しまして、滞留水の処理に入りたいと思っています。進捗につきましては以上となります。滞留水の処理の全体のシステムで至近でトラブルがありましたので、処理にあたっていました、その状況についてご説明します。昨日ご説明しましたが、概ね油のタンクの超音波水位計の不具合、KURIONのポンプの停止のチェック、確認です。それから、攪拌機、AREBAの装置の攪拌機、全体の工程異常でシステムのシーケンスの問題ですが、そちらの結果がでましたので、ご説明します。油処理タンクの水位計につきましては、線量が高かった油分離装置のタンクにつきまして、フラッシングを実施し、電送装置を確認して特に異常はありませんでした。KURIONの装置の処理水タンクの電送装置も念のため確認して、これも異常ありませんでした。こちらは、もともと不具合は出ていませんでした。KURION側はでいていません。AREVAの除染装置の出口のタンク、こちらは不具合をおこしたのですが、取替を実施しまして、一部タンク内の受け入れ口のところが邪魔板が入っている構造で、その流路が水はね等していないか確認したところ、特に異常

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

はありませんでした。水はねが直接、超音波水位計に影響を与えるような構造になっていませんでした。従って、なぜ、超音波水位計がズレを生じたのか、バブリングを行って水位を計る装置と超音波水位計の両方を確認しましたが、超音波の方は根本原因が未だ少し分からないところがありますので、取替をしましたが、監視計器の参考として位置付けたいと思っています。KURION のポンプの自動停止につきまして、昨日まで設置していたインバーターの設定値の変更を行っていましたが、本日完了。各電動機の抵抗測定をしまして、制御装置の確認をするために、新しいポンプを外側に持ってきてまして制御装置につなげたところ全部動きました。制御装置は問題ない。各電動機の逆転動作、何かしらの機械的な噛み込みがあって、モーターが廻らないのではないかということので実施したところ、残念ながら4つのモーター全てについて起動しませんでした。従って、制御装置は正常であって、かつ、モーターの絶縁は正常、正確に言う、No. 1のポンプは絶縁が切れていたのものでモーター補修、それ以外の3つにつきましては、逆転もしない、モーター以外のポンプ側に何か引っかかりがあるという問題が浮かび上がってきています。明日、メーカーのテクニカルエンジニアと議論して今後の対応を決めていきたいと思っています。処理としましては「△」としています。ロジック、ソフトウェアの改造ですが、薬液注入装置、AREVA のポンプが自動停止したら全体が止まったということにつきまして、このロジックを15分くらい時間をおいて受け入れ可の信号が消えないように改造しています。同じような話で、除染装置の運転停止時に受け入れの操作をしまつと受け入れ可の信号が消えてしまったということで、こちらも全体がトリップしてしまったという事象がありましたが、受け入れ可の信号が消えないように改造しています。

(安定化C [REDACTED])

SARRY の運転方法につきまして、ご説明いただきます。

(安定化C水処理 PJ 部)

今後の SARRY の運用方法について説明します。今晚、水処理システム全体の方ですが、KURION を通して SARRY を通して最後は AREVA を通して SPT に戻す、この3連の運転モードで運転を行います。データとして、SARRY のDF、除染性能を見るということと、KURION-SARRY で運転した場合の SARRY の吸着塔の寿命を確認しまして、ベッセルの交換頻度を確認して、今後の運転データに資するということで、現場の方、確認します。明日、データの分析を行いまして、どれくらいの交換頻度になるか、性能について確認をしまして、そのデータ分析が、データ採取が終わり次第、SARRY の単独運転の性能の確認をとっていききたいと思います。SARRY の単独運転モードと言っているのは、今回の試運転に合わせて、今まで KURION、AREVA で運転していたものを、SARRY

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

という装置が新たに入りますが、SARRY の装置の出入口に高温焼却炉建屋から仮設のホースを引っ張って、SARRY で水処理をして、SPT に処理した水を入れてあげる、仮設のラインを付けています。緊急時に水処理を行えるように使えるのと、建屋水位を下げたいときに、このラインを使えるようにホースを今回設置しています。SARRY の交換頻度等、所定の性能の確認が終わり次第、仮設のラインを使いまして、高温焼却炉建屋からの水をとってあげて、吸着塔、SARRY の吸着装置そのものの除染性能、それから、今回、SARRY フィルター詰まりがありましたので、フィルターの目詰まりの状況等を確認して、装置の単独運転の可能性について、早ければ明日、明後日に単独運転での性能評価をしていきたいと思えます。SARRY を単独運転することによりまして、建屋の水位を早急に下げられることとなりますが、明日、KURION、SARRY、AREVA の連動モードで運転状況の評価をもちまして、方向性をつけていきたいと考えています。また、SARRY を単独で運転した場合、最終的に SPT タンクに水がどんどん行ってしまいますので、RO 設備側に水を移送しなければなりません、こちら側の配管のホースにつきましても、設計上は 50t/h 流れるようになっているのですが、実際は 70t/h くらいまで流せられるのですが、今回、SARRY の試運転前に確認したところ、50t/h 以上流せないというところありまして、ホースの引き替えを実施しています。内面の付着物の影響であると考えていまして、19 日にホースの引き替えが終わりますので、このタイミングと合わせまして、最終的に SARRY の単独で運転した場合の機能につきまして、確認していきたいと考えています。今後の SARRY の運用についての話となります。

(安定化 C XXXXXXXXXX)

6 月に KURION を入れたときも、ベッセルの線量が上がったりしましたので、性能評価も安定した値がでるまで時間がかかったこともありますので、そういう経験も踏まえまして、慎重に、決して先を急がず、一步一步進めていただきたいと思います。

(安定化 C 水処理 PJ 部)

今日、水処理装置の週報が公表されていますので、概要を説明します。各建屋の貯蔵量ですが、1～4 号機の合計で約 94920、前回報告比で、全ての号機でマイナスとなっています。送り先のプロセス、高温焼却建屋それぞれの合計が 23800m³ という状況になっています。水処理装置の性能ですが、水処理をした結果で、ヨウ素 131 で 4.6×10^{-2} 、セシウム 134 で 1×10^{-6} 、セシウム 137 で 1.9×10^{-6} ということで、所定の性能がでていていると考えています。淡水化装置ですが、入口の塩分濃度が 6000ppm に対して出口が 20ppm ということで、こちらも所定の性能がでていていると考えています。淡水化装置を出た後の廃液につきましても、蒸発濃縮装置を使いまして処理を開始していまして、今

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

現在、蒸発濃縮によりましてでてくる廃液の貯蔵量としましては780t、貯蔵容量は5000tありますが、780t廃液がでています。淡水装置と蒸発濃縮装置でてきた淡水については、原子炉への注水量としては、これらの水を使った量としましては2789m3ありまして、これまでの累積では16877m3程、原子炉側へ戻して使っています。以上が今週の週報の状況です。もう一点だけ、今日、蒸発濃縮装置の廃液、濃縮水の移送ポンプのメカリークがあったということで報告させていただきましたが、高レベルの水を処理してSPTタンクで一回受けて、その後、淡水化装置で淡水に戻します。塩分の濃くなったものにつきましては、蒸発濃縮装置で更に濃縮してきれいな水と濃い塩水に分けて上げる装置がありまして、そのような流れになっていまして、今回メカリークがあったのは、蒸発濃縮装置でてきた廃液を貯めて、それを貯槽に移送するポンプのメカから水が少し漏れていたのが確認されています。原因は確認中ですが、メカの下に受けパンがありまして、こちらに少量漏れていたということで、放射能分析をした結果、淡水装置と大体同等レベルということで、セシウム134で $3.9 \times 10 + 0$ 、セシウム137で $3.0 \times 10 + 0$ 、ヨウ素131で $1.8 \times 10 + 1$ といったオーダーでありまして、淡水化装置の水処理の出口の水程度となっています。今現在、蒸発濃縮装置の1A, B, Cが試運転をしていまして、ここで出てくる水はかなり薄いレベルになっていまして、レベルはまだそんなに高くなっていないと考えています。

(安定化C冷却PJ部)

本日実施した4号機のプールの漏洩箇所の交換作業について説明します。漏洩があった箇所ですが、プールから一次系の熱交換器ユニットに行く吸込みラインの手前のフレキシブルチューブで1箇所、熱交換器を出て一次系のポンプの出口にあるフレキシブルチューブ2本、合計3箇所に漏洩がありまして、この部分を本日交換しました。交換の実績ですが、7:58にポンプを停止して、15:00に起動ということで、7時間ほど冷却を止めました。温度は、42℃が最高48℃に、18時に46℃ということで、再度冷却が開始されています。今後の予定ですが、こちらは要因分析表のドラフトですが、要因分析表をしっかり作って、一つ一つ要因をつぶしていこうと思っています。いくつか要因が考えられますが、特に気にしているのはフレキの溶接不良、海水による腐食による穴が空いた、ということが気になりますので、取り替えたフレキシブルチューブを切断して金属組成のマクロ撮影を、2Fのホットラボに持ち込んで早急に分析したいと考えています。このあたりの原因と対策が決まりましたら、この場でご報告したいと思います。

(安定化C滞留水移送G)

現在、2号機、3号機のT/Bの水位につきましては、移送を停止しているという

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ことで、水位が上昇しています。2号機は明日10時、3号機は明後日10時に移送を開始する予定です。そのときの水位ですが、現在我々が設定しています目安の管理値OP3700に対して、2号機は明日の10時で3700に対して-80mmの約3620、3号機は-90mmの3610となる予定です。3700以下で管理できるものと考えている。

(本店広報班)

本日の広報対応について説明します。午前中は11:00から11:46、46分間の会見でした。内容は、SARRY 試運転の状況を中心に、4号機のフレキシブルホース交換等々を説明しています。マスコミの皆さんの関心は、SARRY の試運転ならびに本格運転への時間とか、今後の状況、また、直列で動かすのか、とかに集中しています。その他の話題としましては、これまでに何度も聞かれています。原子炉建屋からの放出量、何時公表していただけるのか、とか、水処理関係ですと、年末までの目標としての20tが達成できるのですか、ということを含めて繰り返し聞かれています。目標につきましては、今行われています道筋の中でふれられています。午後は16:30から統合会見が行われています。細野大臣のスケジュールの関係で、冒頭、細野大臣への道筋の質問というところから始まりまして、その後、園田政務官のご説明、相澤副社長のご説明というふうに流れています。相澤副社長のご説明の後、ビデオの紹介ということで、福島第一原子力発電所 現場からの報告と題しまして、6分弱の映像が流されています。この中では所長以下、産業医の先生、各企業、メーカーの方々、保安院さん等、現場の様子を交え報告いただいています。この会見の中で、本日、保安院さんにご報告しました水処理の週報、第8報、ならびにメカシールのリーク、こちらについてもご説明しています。また、SARRY の本格運転への移行ですが、この後、夜遅くなるといった可能性もありますので、遅くなった場合は、いつもの通りマスコミの皆様への一斉メールを予定していますので、情報共有したいと思います。

(1F所長) AREVA と SARRY の組合せとか、いつやるかとか、あくまで試運転なので、あんまり本格、本格と言わないほうがいいんじゃないの。あまりにもそういう言い方をすると、現場をあれしているという感じになりますよ。現場の動きが主体であって、それを報道するのが広報班であって、それを間違えないでくださいね。

(本店広報班) かしこまりました。あくまでもマスコミの皆さんは、今後、何をもって本格とするということで、本格とするときは、SARRY だけなのか、繋がっているのですか、という状況をお知りになりたいということかと思っていまして、その辺のところはですね...

(1F所長) 違うよ。ニュースを見ていると、今日中に本格運転とか言っているじ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

やないですか。誤解を生むんですよ。全て試運転で、例えば異常があったら、それは改善していく話であって、遅れたら本格運転が遅れたとか書くに決まっている。その辺のリードの仕方をよく考えなければダメですよ。

(本店広報班)この後の会見がまだ繋がっていますので、今後の予定をご説明する部分がありますので、今後丁寧に、しっかりと調整をしながら進めるということで、時間に関しては言及せずに、終わった段階でお知らせするという対応をさせていただければと思います。よろしくお願いします。

(福島地域支援室(小森安定化 C 所長))

福島県庁での本日のロードマップの会見は、16:30から大体1時間程度でありました。ビデオにつきましては、メディア媒体でお渡しはしていますが、放映はしていないので、反響については分かりません。質問等につきましては、ステップ2の収束の見通しの話、滞留水の見通し、保安要員の育成等については、どういう内容のものを、何名くらいという話がありましたけれども、コメント、質問は非常に少なめでありました。国、政府の方に関しては保安院のキノさんの方からお話をされていますが、あまり質問はありませんでした。東京の方ではまだ終わっていないと思いますが、福島側の方につきましては今のような状況で比較的短めに終了しています。

(安定化C [REDACTED])

8/17の統合本部全体会議をこれで終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/18(木)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00

(安定化 C 所長)一昨日、昨日と SARRY の水処理側の試運転をずっと続けていて、時間はかかっていますが、本日、3つの水処理装置をラインで運転している状況に至っています。3号機の原子炉注水側のバルブの取り替え、流量を絞るための安定した流量調整のためのバルブの作業を終了しています。かなり、今日は一時的に集中豪雨が降ったと聞いていますが、今のところそれに伴う作業上の大きなインパクトはないと聞いています。

(1F所長)今日は朝から曇りでしたが、気温は非常に高く、熱中症が発生しました。たちが悪くて、熱中症自体は軽度の熱中症で終わっていますが、クールベストの未着用、WGBPをちゃんと守っていないとか、そういうところが見られますので、要注意ということで、各社さんに再度徹底をお願いしています。一時的に午後の2:30くらいからにわか雨が降りました。水位の影響があるのか分かりませんが、今後確認していく必要があります。

(1F 発電班)1号機は、現在、3.8m³/hで原子炉へ注水しています。RPV底部ヘッド温度は93℃、D/W圧力は29kPagage、使用済み燃料プール温度は34℃で安定しています。2号機は、原子炉へ3.7m³/hで注水を行っています。RPV底部ヘッド温度は114℃、D/W圧力は19kPagage、使用済み燃料プール温度は37℃と、こちらも安定しています。3号機は、日中、3号機の注水ラインの流量調整弁の追設が終わりました。12:27から原子炉への注入を9.0m³/hから8.0m³/hに調整して様子を見ています。追設したバルブについては振動等の発生なく良好な状態です。RPV底部ヘッド温度は12時に104.0℃、17時に104.3℃、近傍のRPV底部ヘッド上部温度は、12時で101.0℃、夕方で101.1℃で、コンマ数度の上昇となっています。その他の温度も大きな変化は出ていませんので、このまま48時間保持して温度の傾向を見ていきたいと考えています。使用済み燃料プール温度は34℃、D/W圧力は0.2kPagageで変化はありません。4号機は、使用済み燃料プール、作業停止で48℃まで上がりましたが、今朝47℃くらいでしたが、夕方は45℃で低下傾向が続いていますので、このまま監視します。5、6号機は、6号機につきましては、本日、補機冷却海水ポンプ、ASWポンプAのテストランを行いました。ポンプ本体のテストランは良好でしたが、運転中に海水系配管の吐出ラインのフランジから海水のリークがあるということで、ポンプを止めています。今後、復旧班の方でフランジの手直しをすることになっています。

(1F1～4 号復旧班)水処理ですが、14:43に KURION、SARRY、AREVA の3連で運転が開始されまして、15:50に流量が安定したということと、2号機からプロセス建屋への水移送が16:19に再開されたということで、16時現在の建屋

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

関係の水位は、やはり朝に比べて上昇傾向、ただし、プロセス主建屋は下降という状態になっています。16時現在、2号機のT/BはOP3620、朝7時から14mm上昇です。3号機の立坑は8mm上昇の3665、4号機のT/Bは9mm上昇のOP3562です。1号機R/Bは朝に比べて5mm上がって、4522となっています。これは雨の影響があるかもしれませんが、引き続き監視したいと思います。プロセス主建屋は6mm下がって5326、HTI建屋は15mm上昇して3591です。水処理の方は、明日、SARRYの方が並列運転になると伺っています。3号機からRw/Bへの移送ですが、9:00の再開予定です。使用済み燃料プール関係、2号機、4号機が補給、3号機がヒドrajinの注入という状況でした。

(1F5~6号復旧班)

本日、6号機のASWポンプのAのテストランを行いまして、異常なく終わりました。ただし、ポンプ吐出スレーナ出口側のSW配管のフランジ部から海水の漏洩がありました。今後、ガスケット交換を実施する予定です。明日、6号機のT/Bから仮設タンクへの滞留水の移送を、10:00から16:00で予定しています。

(1F 土木班)タンク関係ですが、Gエリアで高濃度の汚染水のタンク、HエリアでROの濃縮水の貯蔵タンク、継続して建設しています。夜間作業は当分の間ありません。ガラ撤去ですが、本日よりガラ撤去を再開しまして、4m盤のポンプ室廻りでコンテナ3つを回収しています。海の工事ですが、1~4号機の透過防止工の工事ですが、鋼管矢板の打設、昨日着手しまして、本日、3本、鋼管矢板を打設しています。明日も引き続き鋼管矢板の打設を行います。シルトフェンスの開閉については、本日はありません。明日も予定はありません。

(1F 建築班)カバーリングですが、1号機関係、北側柱の位置調整を昨日から実施していましたが、本日、完了しまして、明日、梁材の設置、南側の鉄骨の建方に移行していく予定です。昨日、メガフロート上に水切りしました鉄骨材について、本日、物場場へ移動を完了しています。3号機関係、継続で搬入路の整備、2~3号間でRw/B北側崩落部材の撤去、600tクレーンの組み立てを4号機西側で実施しています。4号機関係、ガレキの撤去、路盤整備を継続で実施しました。スラッジ貯槽については、地盤改良を継続していますが、一部、地盤改良が完了したところから建物基礎のレベルを決める流し込み、コンクリートの打設を本日行いました。飛散防止テント設置ですが、本日、竣工検査、動作確認を完了しまして、明日から一部カメラ等の手直しはありますが、ガラの搬入を開始します。

(1F 保安班)海水サンプリングでデータの変動がありましたので紹介します。4号機のバースクリーン全面、シルトフェンス外側、これが、 $2.8 \times 10 + 2$ から $1.2 \times 10 + 3$ 、3~4倍上昇、それから、1F取水口南側についても、 $2.4 \times 10 +$

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

2から8.7×10+2に3倍上昇しています。これは、鋼管矢板の打設による影響と思われます。その他については変動がありませんので、この作業の影響と思われます。今日行われていますので、明日のサンプリング以降についても、データの変動があるものと思われます。

(安定化 C 所長) 水処理関係について、今の状況、明日以降の見通しを簡単に説明してください。

(安定化C水処理PJ部) (書画使用) 今現在、水処理装置は KURION を先頭に SARRY、AREVA の順番、3連の状態でプロセス主建屋の水を処理しています。水処理の流量は約45t/hで水処理を継続している状況です。今後の話ですが、この状態でしばらく運転をしまして、SARRY のベッセルの差圧やDF、線量の状況、線量の上昇傾向等を確認しまして、今後の SARRY の運用方法を定めていきたいと考えています。データの的には、今晚から明日にかけてデータを取りまして、データが十分とれば、SARRY の単独運転での性能確認に入りたいと考えています。明日、KURION についてはベッセル3塔の交換を予定しています。

(安定化C所長) 本日の3号機の炉注の取り替えの状況について、簡単をお願いします。

(安定化C冷却PJ部) 本日、3号機の流量調整用の弁の取り替え工事を行いました。午前中、朝7:00から常用ラインからD/G駆動のポンプに切り替えて、11:30頃までに弁の取り替え作業を終えています。その後、弁の取り替えたラインに関して、弁を通水して、流量調整を従来の9m³/hから8m³/hに絞っています。9m³/h、それから絞った後の8m³/hで弁の流量の調整状況は特に問題なく、振動も発生していない状況でした。調整後の各ポンプの流量ですが、1号機、2号機が3.8m³/h、3号機が9.0m³/hで調整ができています。今後、流量調整を、RPVの温度監視をしながら絞っていくということになりますが、その振動状況についても確認していきたいと考えています。今後の流量の調整の予定ですが、現在、8m³/hで流していますが、この状態で約2日間、8/20の12:30頃までRPVの温度監視をしながらこの状況でホールドし、問題がなければ7m³/hに絞る予定になっています。

(安定化C所長) 2号機の使用済み燃料プールで、空気で冷却していますが、そのサプライする水のところで閉まっていたという件がありましたが、ハード的な対策をしたということで簡単に状況説明をお願いします。

(安定化C冷却PJ部) (書画) 2号機の冷却ですが、二次系の冷却は散水ポンプ、ここに溜っている水を散水ポンプで汲み上げて、かけながらファンを回して冷却するシステムになっています。この冷却塔のところに、このラインが水を供給していますが、大元が消火栓の採水口を使用していますが、そこのバルブが

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

閉まっていたというものです。本日、これが閉止カバー取り付け前の状況ですが、消防ホースの方が2号への冷却のラインです。一方、水処理ラインが取り付けられている状況です。本日、消防ホースの方を取り替えていまして、カナフレックスの方に寸法を合わせまして、採水口の入替をしまして、水処理のラインの方を左側からとるようにしまして、2号機の冷却塔の採水口は右側からとるようにしています。これがバルブで、この中をジグで廻すとバルブが開閉する仕組みになっています。本日、ホースを取り替えた後に、当該のバルブを開けまして、カバーを取り付けています。合わせて、チェーンロックして施錠管理をしています。また、開運用の札は、以前付けていたものですが、こちらも付けています。チェーンロックを付けて鍵管理をしています。合わせてジグも取り付けています。カバーをはめ込みまして、チェーンを張った状態であれば抜けない構造になっていますので、今後、誤操作等はないものと思っています。鍵に関しましては、1, 2号当直の方で管理をお願いしています。

(安定化C冷却PJ部) 明日、ベッセル3塔を交換とお話ししましたが、今日、インサービスのタイミングが遅くなりましたので、明日、ベッセル交換は行わずに KURION を運転します。訂正します。

(本店広報班) 本日のプレスの説明状況について説明します。本日、11:00と午後は6時から東電の単独会見です。何と言っても、今日の話題は SARRY の試運転ということで、午前中もいつなんだという話、そして、インサービスしましたので、午後についてはその後の状況を説明しています。午前中につきましては、その他に、福島第一、第二の原子力発電所における今回の地震観測記録を用いた地震の応答解析結果に関する報告ということで、地震の影響があったのか、安全上重要な機器に影響があったのか、建屋に影響があったのか、タービン建屋に影響があったのか、等でしたが、結論としましては、大きな影響はなかったということで説明しています。反響の方はそれ程大きくはなかったという状況でした。本日のプレスへの説明状況は以上ですが、昨日、道筋の会見にあたりまして、発電所、現場からの報告ということで、ビデオを紹介しました。それについての反響につきましては、今日の朝刊各紙、NHKのニュース等で取り上げられています。意地悪なような、練ったような解説なし、淡々と東電の現場を公開しましたということで、興味をもったことですが、一番にはとりあげられていなかったということです。撮影にあたりましては、1Fの皆様を始めとしまして、協力企業の皆様とかメーカーの皆様、保安院、J ヴィレッジ等々、多大なご協力をいただきました。また、1Fの広報班もいろいろな調整をしていただきまして非常に感謝しております。この場も持ちましてお礼を申し上げます。このようなニーズが今後も引き続き出てくると思いますので、またご協力の程よろしく願います。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(1F所長)ビデオレターは意地悪ではなかったのですが、SARRYは意地悪に、また17時間遅れだとか相変わらず言っていて、昨日の夜、危惧したとおりで。試運転を含めていろいろなことがあってやっていますので、担当が一生懸命やっている中で、こういう記事が出るということは、極めて遺憾なところがありますので、時間等々についても、リリースの仕方をよく考えていただきたいとあらためてお願いします。

(安定化C所長)今の話は今後どういうふうに、事実としてはスケジュールの計画と実績というのがあるのでしょうかけれども、我々の説明の仕方、あるいは発表の仕方というところで、それなりに工夫できるのであれば、安定化Cの方からもお願いしたい。安定化Cとしても、事実はそのまましっかりと皆さんにお伝えしたいと思います。3連の運転そのものも試運転という状況でありますし、単独運転そのものも試運転。実際上の高汚染水の処理はしていますが、これからも緊張感をもって水処理のメンバーはやっているという状況です。

(1F保安班)(書画使用)現場の方で、被ばく低減の取り組みをしていますが、γカメラについてある程度実績とかがまとまりましたので、説明します。γカメラと放射線測定ロボットのタロンの活用状況の紹介をします。まず、γカメラの方ですが、初め、運搬タイプのγカメラを導入しましたが、非常に人員がかかってしまって現場では線量がかなりくってしまうということで、γカメラを車載タイプにしまして、トラックの後ろに乗せて活用しました。車載カメラにしましたが、トラブルが最初頻発しまして、トラックの振動が問題になっていまして、振動で断線とかが発生して、非常にトラブルが頻発しましたので、最近になってようやく安定してきまして、4体交換して安定してきまして、当初出てきた線量値も20%以内の設計値におさまってきたということでもあります。ガレキプロジェクトとコラボしていまして、高線量ガレキの撤去前と撤去後と比較することで、ガレキがとれているか見える化して、効率的なガレキ撤去に資するということをしております。その中で、10Svが見つかりまして、中央排気筒、これのガレキ撤去後に線量を確認したところ、こういった形で線量が確認されて、非常に高線量のところが見つかったということです。その他、タロンで高線量のところを、右上にでているのがタロンというロボットですが、この先に線量計が付いていまして、自走させて線量の高いところの線量測定をしているというものです。サーベイの線量を非常に低く抑えられて、線量低減に寄与したというところがあります。今後は、今までの活動を引き続きやるということと、別角度からしたいことがありまして、サーベイマップを見ますと、高線量エリアが結構ありまして、その原因を特定する目的で使っていきたいということです。これがサーベイマップですが、ホットスポットの探索ということで、結構ガレキは撤去されましたが、比較的雰囲気線量が高いところがありまして、3号山側、海側、1、2号の山側、こういったところは結構多く

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

の作業員が通行するのですが、線量が高いと、なぜ高いんだ、というところで、その原因を追及する目的でγカメラを活用していきたいと、それで、通行するエリアの線量低減を図っていきたいという目的で試しに使ってみようということで、この使い方をしました。3号機の山側で試しにγカメラを実際撮影したところ、1枚のホットスポットらしいところが現れましたが、線量が537ということで非常に短い時間での撮影でしたので、あまりこの線量は信用できなくて、この後、タロンを使って測定しています。遠くから撮影しまして、255というのが見つかったということです。この2つは、γカメラで0.4mSv、タロンで0.2mSvということで、それ程線量をくうことなく高線量のガレキを見つけることができたということで、これについては撤去依頼をしています。γカメラとタロンを組み合わせ、γカメラではホットスポットを特定し、タロンで作業員の線量を大きく低減することで、その原因を取り除くということができれば、作業員の線量低減に寄与できると考えています。今後、γカメラの活用で原因を特定して、今後どのように軽減していくか、方針、戦略を立てることができると思っています。

(1F所長) 基本的には有効に使えるようになったということですよね。これを活用していきたいということですよね。最初、事故当初からアメリカから借りた重たい物をなんとかしようと思っていましたが、なかなかうまくいかなかった。それで、JAEAさんのものも改良々々して、やはりちゃんと使えるようになったのは5ヶ月くらいかかりました。やっと使えるようになったので、これをうまく活用したいということで、あとは、台数を増やすだとか、それをどう使っていくかと、いろいろな知恵を出し合って活用したいと、こういうことです。よろしくお願いします。

(安定化C所長) 非常に有効な手段のような感じがしますので、いろいろ知恵を出しながら、被ばく低減を安定化Cとしてもいろいろと教えてもらいながら、あるいは協力しながらやっていきたいと思います。本日の全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/19(金)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00

(安定化 C ■■■■)本日、雨が降り続いていましたが、雨の中、現場の作業、お疲れ様でした。また、各部署で業務にあたられた方、ご苦労様でした。8/19統合本部全体会議を始めたいと思います。水処理ですが、昨日から SARRY、3つめのシステムを投入しまして、KURION、AREVA 合わせて3連で試運転をしてきました。その結果、初期の性能が出たようです。この点、後ほどご報告します。また、本日、朝、4号機のプール冷却装置の二次系で圧力低という警報が発生して、このTV会議を通じて連絡しましたが、その原因追及につきまして後ほどご報告します。その他、雨の中、様々な作業が展開されています。

(1F所長)今日は朝4時くらいからずっと雨でしたが、今は止んでいるという状況です。発電所の中での人身災害等はありませんでしたが、本日、J ヴイレッジからこちらに移動中に気分が悪くなったということで、病院の方に行かれています。持病があったということです。この人は家に帰っていますが、ポイントとして、持病をどれくらい事前に各元請さんが把握するかは結構大きな問題で、かなり危険な現場ですので、それなりに持病等持ってもらっしゃる方を事前にチェックすることが重要かと思います。この辺、また徹底していきたいと思います。本日、朝からいろいろとありまして、4号機のSFPの二次系のポンプの吸込圧低とか、地震もありました、水処理系の切り替えだとか、いろいろありました。全てそれなりに対応しているという状況です。SFPに関してはB系を起動しようとしたが、明日ということで、現状は、朝と同じで、A系でANNを出したまま運転をしているという状況です。

(1F 発電班)本日14:36に大きな地震がありました。楢葉で震度5弱、サイトの加速度ですが、6号機で水平47.2、垂直33.1Galでした。当直関係のパトロールは既に終わってしまっていて、共用プールも含めて異常はありませんでした。1号機は、現在、3.7m³/hで注水しています。RPV底部ヘッド温度は91℃、使用済み燃料プール温度は34℃、D/W圧力は30kPagageで安定しています。2号機は、原子炉へ現在、3.9m³/hで注水を行っています。RPV底部ヘッド温度は114℃、使用済み燃料プール温度は37℃、D/W圧力は18kPagageで安定しています。昨日から注水量について若干低下傾向がありまして、本日、15:30に炉の注水量を3.4m³/hから3.8m³/hに上げる調整を実施しました。3号機は、昨日の注水ラインの流量調整弁の追設ということで、昨日12:27に注水量を9.0m³/hから8.0m³/hに調整しました。現在、RPV底部ヘッド温度は17時で104.0℃、RPV底部ヘッド上部温度で101.3℃ということで、流量を変更する前とほぼ変わっていないという状況です。他の温度関係も大きな変化はでていませんで、このままの流量で明日の午後まで様子

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

を見て、8.0m³/hから7.0m³/hに絞り操作をしていきたいと思います。使用済み燃料プール温度は現在、34℃、D/W圧力は0.2kPa程度です。4号機は、使用済み燃料プール温度は現在43℃で、まだ若干の低下傾向があります。今回の作業停止の関係で、もとは42℃でしたので、42℃まで下がるのではと思います。今朝方ありました、二次系の循環ポンプAのサクション圧力低ということで、実際にはセット値が0.05MPaでありますが、そのとき確認した時点で0.047MPaということでやはり低いという状態です。今は異常なく振動、温度、異音等もなく継続しておりまして、所長から話のあった対応を明日以降実施する予定です。5、6号機は、特段トピックスありません。

(1F1～4号復旧班)

水移送ですが、2号機は継続で実施していきまして、3号機からプロセス主建屋へは本日8:51に水移送を再開しています。水処理の関係は、昨晚から3連で14時まで実施していきまして、その後、切り離しをやって、今はKURION、AREVAの直列が15:44に再起動しまして、15:55から約45m³/hで安定運転をしています。SARRYについては、この会議終了くらいのところに、運転を再開するという情報が入っています。その結果、タービン関係の水位ですが、基本的には下降傾向を示しています。2号機はT/Bは今朝より6mm下降しましてOP3600です。3号機はT/Bは3mm下降していますが、トレンチは3mm上昇していきまして、高いトレンチの方はOP3682です。4号機の10mm上昇のOP3589です。プロセス主建屋は4mm上昇のOP5318、HTI建屋は18mm上昇のOP3625です。ちなみに、ROは今朝の8:55からホース引き替えのため停止していきまして、明日の昼まで停止という状況です。その関係で、14:26からバフアータンクへろ過水の補給を行っています。今も継続中で、190ton程、水を補給する予定になっています。地震後の保全のパトロールですが、1から4号、5～6号すべて完了していきまして、問題等は特に発見されていません。1～3号の使用済み燃料プール水のサンプリングを本日実施していきまして、明日は4号のサンプリングを実施します。残りは継続です。

(1F5～6号復旧班)

本日の滞留水ですが、6号機のT/Bから仮設タンクへの移送を、10:00から13:00まで実施しました。明日は、仮設タンクへの移送、メガフロートへの移送、両方ともありません。

(1F土木班)

タンク設置工事ですが、Gエリア、Hエリアで継続的にタンクの設置工事を実施しています。夜間作業の予定はありません。無線重機によるガラ撤去ですが、4m盤のポンプ室廻りで実施していきまして、本日、コンテナ4個を撤去しています。明日も同じ場所で継続して実施します。海の工事ですが、1～4号機の透過防

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

止工の設置工事は、鋼管矢板の打設を実施しています。本日は矢板2本設置しています。明日は、今日に引き続き打設予定です。今朝の雨と午後の地震を踏まえまして、土木の巡視を行っています。送電鉄塔周辺の斜面、海側のスクリーンエリア、設置したタンク等について点検しまして、特に異常はありませんでした。

(1F 建築班)

カバーリングの工事ですが、1号機で、北側梁の鉄骨建方を本日行っておりまして、明日は柱4本の建方、吊りジグの海上輸送を予定しています。3号カバーについては、3号西側通路の路盤整備、600tクレーンの組み立てを継続して行っておりまして、明日も継続です。4号R/Bについては、敷き鉄板の敷設を本日、明日と継続して行っています。ガラ運搬については、飛散防止テントの方に本日から4号ガラの搬入を開始しました。スラッジ貯槽については、地盤改良と流し込んだコンクリートの打設を本日行いました。明日も継続です。

(1F 保安班)

サンプリング関係の情報です。海水サンプリング関係ですが、1～4放水口付近、4月2日以来、検出されていませんでしたが、本日セシウムが 6.7×10^{-1} 程度で、7月2日と同じオーダーですが検出されています。これは、1～4号の鋼管の打設の影響かと思われます。サブドレン関係のサンプリングですが、サブドレンのNo. 3のプロセス主建屋のところですが、サンプリングする場所に工事用の配管の鉛がかなり置かれていてサンプリングできなかったということがありました。今日、サンプリングしていません。依頼元の安定化C建物改良Gの方に情報展開しまして、明日までサンプリングできるようお願いしています。

(安定化C [REDACTED])

SARRY の試運転、昨日からの3連運転の結果について、ご報告をお願いします。

(安定化C水処理PJ部) (書画使用)

昨日から3連運転、プロセス主建屋から水を汲み出しまして、KURION のセシウム吸着塔、AREVA の凝集沈殿装置を通して、KURION を通して SARRY を通した後、AREVA の凝集沈殿装置を通してSPTに水を戻す運転を行ってきました。今日、サンプリング結果がでてきていまして、表の左の欄が、プロセス主建屋の地下に溜っている滞留水のCs-134, 137のベクレル数、真ん中の欄がKURION の出口、右の欄がSARRY の出口の分析結果です。SARRY についてはA系、B系2つありますので、それぞれのラインでサンプリングをとって評価を実施していますが、A系の例で言いますと、滞留水そのもの、元の方はCs-134で $1.1 \times 10+6$ であったものが、KURION の出口で $3.2 \times 10+3$ 、SARRY の出口でNDです。Cs-137ですと、滞留水の方で $1.3 \times 10+6$ のも

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

のが、KURIONの出口で 3.7×10^{-3} 、SARRYの出口でNDということで、およそ全体でのDFで言うと、 10^{-6} 乗のDFがでていうということで、SARRY 自信もおよそ 3 乗のDFをだしているということで性能的には問題ないと考えています。今日の14:00に一旦、システムを止めまして、SARRY の切り離しの作業を行っています。今現在、切り離しの作業をした後に SARRY 単独で動かせるような準備をしまして、水処理としましては、従前のセシウム吸着塔を通して AREVA の凝集沈殿装置を通して、プロセス主建屋の水の処理を継続していますが、今現在、SARRY の方につきましては、高温焼却建屋から水を吸い上げて、SARRY の方で水処理して、SPTに水を流せるようにする準備をしまして、準備が整い次第、SARRY に実際通水しまして、また、性能を見ていくということで、運転確認を行っていきます。SARRY の性能については、明日、結果が出次第、報告したいと思います。以上が SARRY の試運転状況です。

(安定化C■■■■)

ヨウ素のところは SARRY の入口でND、出口で値がでていうところの解説をお願いします。

(安定化C冷却PJ部)

I-131は、A系でいきますと、SARRY のところだけ数値がでていますが、前段の方、セシウム吸着塔、KURION の方で水としてはかなり綺麗な状態にされていて、SARRY で更に綺麗な状態になっていますので、全体的に放射能レベルが下がっているという状況なので、I-131に関しては、SARRY のところで 2.2×10^{-4} というのが図れるようになったという状況です。その意味では、逆に、KURION の出口のところではCs-134、137がある程度、水の中に存在していますので、この影響でI-131が検知できないような、ノイズがのっている状態が、SARRY の出口ではノイズがかなり落とされているということで、I-131についてもきちんと確認できるレベルまでになっているということです。

もう一点、蒸発濃縮装置の試運転を継続していますが、まだ、少々調整に時間がかかっていますので、その状況について説明します。蒸発濃縮装置のうち、2A、Bは先般運用に入っていて、試運転をしているのは1A、B、C3つの装置について試運転をおこなっています。昨日から試運転調整をやっている中で、1Bのブロアの吐出温度が高いという警報がでて、調整をしている状況です。昨日、今日と継続してやっていますのは、ろ過水を実際に入れて、蒸発管を通して、ブロア経由で熱交換器を通して水に戻して運転をするやり方をしていますが、ブロアの出口の温度が高いという警報が出ています。スプレイ弁で温度を下げあげるようにしていますが、スプレイ弁の動きがよくないということで、ブロアの出口温度が高いという警報がでてしまっているということで、弁の方の ON-OFF の調整をしなければいけないということで、少々、試運転の期間

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

が延びます。試運転の工程ですが、下の段が変更前の工程となっていて、ろ過水の試験を8/17、8/18とやって、8/19、今日ですが、実際に実液の試験をやると考えていましたが、1Bのスプレイ弁の動きがよくないということで、工程を変えさせていただきまして、8/22まで1Bの調整と合わせて、1Bの不具合1A、1Cに反映しまして、単体の調整を行いまして、8/23、8/24でろ過水を使った3台の調整運転をして、8/25以降に実運用に入っていきたいということで、試運転期間を延ばさせていただきたいと考えています。

(安定化C [REDACTED])

蒸発装置はしっかり水平展開をして、先を急がず慎重に試運転をお願いします。これから高濃度の汚染水を通水するテストにはいってきますので、6月のKURIONの経験も踏まえて、慎重に進めていただきたい。4号のプール冷却装置の二次系の温度について説明をお願いします。

(安定化C 冷却PJ部)

4号機の二次系のポンプの入口圧力低の件ですが、本日、現場の方、確認してまして、インサースビス当初、0.09MPaであったものが、0.047MPaに落ちています。要因の一つとしましては、温度がインサースビス時に高かったので、今の温度に比較すると、体積が減っているということがありますが、評価上はここまで下がらないということもありますので、低下する要因について検討しています。明日、元の圧力まで一度水を張って圧力を上げて、0.09MPaあたりまで圧力を上げて、その後、様子を見たいと思っています。11時くらいにデータを確認していますが、朝のデータから低下していませんので、ゆっくり下がっているものと思っています。とりあえず、明日一回圧力をあげてからデータを採取したいと思います。

(1F所長)

吸込圧力低は、ポンプ保護で付いているでしょ。連続運転してもポンプは問題ないのね。

(安定化C 冷却PJ部)

ポンプトリップは0.02MPaであり、問題ありません。

(安定化C [REDACTED])

昨日から3号機の炉注量を8m³/hに変えていまして、1日経って温度の評価を報告してください。

(安定化CD技術支援部)(書画使用)

昨日、流量を絞ってから、1日程経っていますが、胴フランジ、下部ヘッド、底部ヘッド上部、CRDハウジング、支持スカート上部等を、今回、流量を変更させることで何らかのインパクトがあると想定して、選択しています。一番大きく動いているのが、D/WのHVHで2℃ほど昨日から上昇していますが、夕方の地

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

震のせい、そのタイミングで2℃くらい下がっています。それ以外は少し上昇傾向を示していますが、どれも1℃未満ということで安定したまま推移しているものと評価しています。このまま明日までこの傾向が続くようであれば、明日で48時間になりますので、48時間の時点で、もう1.0m³/h下げて7.0m³/hにすることを考えています。

(本店広報班)

本日のプレスへの説明状況について説明します。本日は、11:00と午後は6時から、それぞれ対応しています。午前中については、SARRY についての中心が中心でした。6時から、おそらく水処理関係の質問が予想されます。

(安定化C所長)

8/19の本日の統合本部全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/20(土)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00

(安定化 C) 本日の水処理関係は順調であった。

海水淡水化装置の流量拡大のため、ホースの引換を実施している。

4号機 SFP の塩分除去装置について、インサービスをした。

環境関係のダスト測定は後ほど本店から説明をする。

(1F 吉田) 本日の天候は曇りで、人身災害はなかった。

一昨日の雨の影響で1号機 R/B の水位が上がり傾向である。しかし、水処理が順調に動いていてありがたい。明日の未明から雨が降るとのことで状況をよく見る。

(1F 発電班)

1号機は、現在、 $3.6\text{m}^3/\text{h}$ で注水している。RPV底部ヘッド温度は 91°C 、使用済み燃料プール温度は 31°C 、D/W圧力は 29kPagage で安定している。

2号機は、原子炉へ現在、 $3.6\text{m}^3/\text{h}$ で注水を行っている。RPV底部ヘッド温度は 113°C 、使用済み燃料プール温度は 36°C 、D/W圧力は 16kPagage で安定している。

3号機は、原子炉へ現在、 $7\text{m}^3/\text{h}$ で注水を行っている。本日、13時に流量を $8\text{m}^3/\text{h}$ から $7\text{m}^3/\text{h}$ にした。現在、RPV底部ヘッド温度は17時で 104.1°C 、RPV底部ヘッド上部温度は 101.6°C で変更前と比べ 0.2°C 上昇しているが、安定している。今後48時間様子を見る。使用済み燃料プール温度は 33°C 、D/W圧力は 0.2KPagage である。

4号機は、使用済み燃料プール温度は現在 41°C まで下がってきている。警報発生後、系統に水張を行い圧力 0.098MPa 迄上昇させて警報クリアした。その後もポンプ状態に異常はなく、運転を継続している。

5、6号機は、特段トピックスはない。

(1F1～4号復旧) 水移送は2、3号ともに集中 R/W へ移送している。

キュリオン、アレバのコンビがプロセス建屋から水処理を行っている、サリーは HTI から処理を行っている状況である。この関係で2、3号機若干ながら水位が下がってきている。プロセス建屋については水位が若干上がり傾向である。HTI 建屋については大幅に水位が低下している傾向である。

2号機 T/B 今朝よりも 5mm 下がって $OP3588\text{mm}$ である。トレンチは 8mm 下がっている。

3号機トレンチ水位は 2mm 下降で $OP3678\text{mm}$ である。T/B は 6mm 下がっている。

4号機 T/B は 2mm 下降で $OP3582\text{mm}$ である。

1号機 R/B の水位が上がり傾向で 7mm 上昇しており $OP4612\text{mm}$ である。

集中 R/W プロセス建屋の水位は 7mm 上昇しており $OP5236\text{mm}$ である。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

HTI は224mmと大幅に下降しており、OP3116mmである。

明日、3号機の水についてプロセス建屋からHTI 建屋へ行き先を切替る予定になっている。

2号機、3号機についての2台化は実施する予定であるが、明日かどうかは不明である。

4号機 SFP の塩分除去装置をインサービスした。合わせて4号機 SFP の水の採取を11:40に実施している。

13 時に RO 装置の運転を再開し、15時にバッファータンクへの移送を実施した。

(1F5～6 号復旧) 明日も仮設タンク、メガフロートへの移送予定はない。

(1F 土木) 汚染処理用のタンク設置について GH エリアで継続している。予定作業はすべて終了しており、明日も継続して実施する。

ガラ撤去ヨエンバンのポンプ室周りを実施した。

海関係だが、テトラポットの据付を継続実施している。

1～4号機透過防止の設置工事として、本日2本打設を実施した。

シフトフェンスの開閉作業はなし。

明日の海関係の工事は日曜日のため休工とする。

(1F 建築) 1号機 R/B カバー設置については、R/B 西面に対して鉄骨立て方として柱2本、鍍1本を施工した。明日はメガフロートから物揚場へ移送を行う。

3号機 R/B カバー設置については、西側通路の路盤整備、600tクレーンの組立が完了した。明日、クレーン移動を4号機西側から2、3号機間へ実施する。

4号機 R/B カバー設置については、鉄板敷設を実施した。

ガラ運搬については、4号機飛散防止テントへ移送した。明日はマジキリをする。

(1F 保安班) 海水サンプリングについて昨日午前中に1～4号機放水口で実施しセシウムを検出した。しかし、昨日午後及び本日午前、午後では検出されていない。

(1F 吉田) 補足だが、5号機建屋内について、地震の影響の状況確認を先週から実施している。

(安定化センター水処理チーム) (書画で説明) SPTタンクからRO 装置までのホース引換作業を実施し流量を確認した。結論から言うと、中間に設置されているタンクまでは70t以上の水が流せるが、タンクから RO 装置までは50tしか流せないことが分かった。つまり、本淡水化装置は2番であるが、50tしか流せないということになる。明日、淡水化装置1AB を平行して運転して流量を確認する。また、設置しまだ使用していない淡水化装置3番についても、流量の確認をする。

キュリオン、アレバで45tの流量で送っており、サリーで25tの流量で送っている。つまり、都合70tの水が RO 装置へ入っているが、本日の確認結果より、手前で50tになっているので、流量の増加を検討していく。なお、サリーの除染性能はデ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ータから所定の性能を発揮していると思われる。

(安定化センター)4号機 SFP 塩分除去装置について、11:34インサービスした。SFP 代替冷却システムから水を採取し、セシウムを除去し、RO を通して浄化する装置である。流量は $3\text{m}^3/\text{h}$ 程度であり、2ヶ月ほどかけて浄化する。完了後、2、3号機へ移動させる。

(本店環境影響評価チーム)(書画で説明)R/B 上部については、シマウマ及びTホークでダスト濃度を測定してデータを蓄積している。大型クレーンが1、3号機に設置されたのでより近い点でのサンプリングを明日以降行う。T/B 等のダスト濃度、海上のダスト濃度も順次実施していく。

(本店広報班)本日は11時、18時からプレス説明を行っている。主に水処理関係について対応している。1、3号機ダストサンプリングについても説明を実施する。

(保安院)サンプリングについては安全性に対する影響として非常に重要なプロジェクトである。努力を期待する。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/21(日)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00

(安定化C)

お疲れ様です、本日の全体会議を開催致します。本日は雨模様でした。作業自体は継続のものが多い中、海周りは中止としています。作業については後程詳細を説明致しますが、安定化Cから3点ほど説明致します。

1つは3u炉注入を現在7.0m³/hで絞っているが、これからもう少し下げられるか評価した結果を説明します。それから水処理関係については、淡水化装置を2系統で運転している状況について明日の作業も含め紹介します。環境関係の測定について、残念ながら本日は雨模様のため、1uR/B 上部ダスト測定は延期しています。又、明日予定している3uも天気状況を見て判断致します。

2u ブローアウトパネルのダスト測定については、現在足場を組んで作業準備をしており、その状況について紹介致します。

(1F)

本日は一日雨でした。現在も降っており、明日まで続く予定です。その影響でT/B 水位が移送しているが下がらない状況になっています。熱中症・人身災害は気温が下がっている影響がありませんでした。

(1F 発電班)

1号機は、3.6m³/hで注水しています。RPV底部ヘッド温度は89℃、使用済み燃料プール温度は30℃、D/W圧力は25kPagageです。2号機は、3.6m³/hで注水を行っています。RPV底部ヘッド温度は114℃、使用済み燃料プール温度は35℃、D/W圧力は15kPagageです。3号機は、原子炉へ7.0m³/hで注水しています。注水量については、昨日13時に8m³/hから7m³/hに低減しています。30時間程経過していますが、RPV底部ヘッド温度105.4℃、流量を低減してから約1.5℃程度緩やか上昇した状態です。使用済み燃料プール温度は32℃、D/W圧力は0.2kPagageで安定しています。4号機は、使用済み燃料プール温度は40℃、5、6号機については冷温停止継続で、いずれもパラメータは安定しています。それから一点、お手元にお配りしている1～4u 作業予定ですが、1,3u スキーマサージタンクレベルについて圧力計からの換算値を記載しています。概ね2mを目安に補給をするという事になります。

(1F1～4号復旧班)

水移送ですが、2u からプロセス建屋への移送は継続です。3u について、9:39にHTIに移送先を切り替えています。また、本日10:20から14:31にかけてサイ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

トバンカからプロセスへ水移送が行われています。水処理については、キュリオン・アレバとサリーだけ別運転は継続で、ROについては今まで運転していた第2トレインに加え第1トレイン(通称水処理エース君)の運転が始まり、トータル80m³/hで処理をしています。ただ、水位は雨の影響もあり少々複雑な動きを見せています。2号機はT/Bは今朝より1mm下降してOP+3577mmです。トレンチは変化なしです。3号機はトレンチ水位で2mm上昇してOP+3677mmです。T/Bは4mm上昇しています。4号機は2mm下降のOP+3578mmです。1uR/Bはやはり上昇傾向を示しており、78mm上昇し、OP+4707mmです。プロセス主建屋は、今朝から13mm上昇してOP+5269です。これは先程申しましたサイトバンカからの移送が大きく影響しており、サイトバンカからの移送が終了した時点での水位はOP+5279mmで、完了してからは10mm程下がっています。HTI建屋は、今朝から56mm下降しOP+2707mmです。本日滞留水処理については、本日Hベッセル3塔交換しております。明日はSMZ3塔、サリー1塔を予定しています。

(1F5～6号復旧班)

仮設タンクへの移送、メガフロートへの滞留水移送は明日もありません。

(1F土木班)

タンク設置工事ですが、Gエリア、Hエリアで本日、明日継続実施です。無線重機によるガラ撤去ですが、2～4uポンプ室廻りで本日コンテナ6個を撤去しています。明日も継続です。海関係は、本日工事はありません。明日は1～4号機の透過防止工の設置工事にて、鋼矢板・テトラポット設置を実施します。

(1F建築班)

1u R/B カバーリング工事について、本日はメガフロートからの柱梁材の荷揚げを終了しています。明日、作業は休みになります。3uは、引き続き周辺の路盤を実施します。4uは、明日、周辺の路盤整備及びガラ運搬になります。スラッジ貯蔵建屋は、引き続きPC盤の搬入、据付を実施します。

(1F保安班)

本日、サンプリング関係は特段問題ありません。

(安定化C)

今日は、深野新保安委員長がJV経由で2F、1Fの視察をされています。1F、2F共に激励・感謝の言葉と収束・復旧に向けた言葉を頂いています。1F、2F、J

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

Vにて対応させた方、お疲れ様でした。

(原子炉安全評価 ■■■)(書画使用)

只今、書画で示しているのは 3u 温度トレンドになります。こちらが 9m3/h から 8m3/h に変更したポイント。こちらが昨日 8m3/h から 7m3/h に変更したポイントになります。注目しているのが RPV 下部ヘッドと底部ヘッド上部になります。9m3/h から 8m3/h に絞った時点から現在まで、それぞれ 1.5℃、1.4℃の上昇になります。8m3/h から 7m3/h に絞った時点から見ても、それぞれ 1.5℃、1.0℃の上昇となり、緩やかな上昇傾向を示しているものの安定していると思われます。その他一番上昇している胴フランジで 1.2℃の変化であり、急激な温度上昇ではなく、ほぼほぼ上がり傾向であるものの、その上がり傾向も飽和していると考えられます。この状況を持ちまして、明日12時を一つの目安に、その前の段階でもう一度データを確認し判断したい。この状況が継続しているならば、明日12時若しくは13時に、7m3/h から 6m3/h に絞りたいと考えています。

(安定化C)

上昇傾向ではあるものの、大きな変化ではないという事、ですね。引き続き注視願います。

(1F)

もう少しトレンドを見た方が良いのではないですか。全体傾向が上昇傾向にあるため、焦って下げるより一度温度が上昇傾向になると水量を逆に増やす必要が出てくるため、慎重にやりましょう。

(原子炉安全評価 ■■■)

サイトとも相談させて頂きたいと思います。

(安定化C)

慎重に進めるという事と、CS 側(上側)から注水するという計画もあるため、総合的に見て、温度が余り上がっていない方が上側から注水する際のリスク低減になると考えられます。明日12時を決め打ちという事ではなく、もう一考して頂くという事で進めていきたいと思います。明日にでも纏めて、次の判断を進めるということにしたい。又、大きく変わる様であれば、一旦立ち止まる姿勢で対応をお願いします。

(安定化C水処理 PJT)(書画使用)

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

本日、RO側の流量を増やす作業にトライしています。昨日の段階で、SPT受入タンクからRO供給タンク間で70t以上流れる事を確認していますが、ここから淡水化装置間で50tぐらいしか流れないという事より、本日、淡水化装置1A/B(水処理エース君)と2を両方通水しており、80tぐらい流れる事を確認しています。従いまして、今の状況で、キュリオン・アレバとサリーそれぞれから水移送してもRO側で80t近くまで水処理ができるという事で、SPTタンク側にキュリオン・アレバとサリーから水が送れる状況になっています。又、本日、H スキッド3塔交換しており、現在の全体流量はキュリオン・アレバで約 41tぐらい、サリーで25tにて水処理していますが、昨日も触れましたキュリオン先頭のSMZベッセルのベッセル差圧が上昇傾向のため、こちらが詰まると全体流量が出なくなることから、明日3塔交換致します。併せてサリー1塔のベッセルを交換致します。今回、サリーのベッセル交換作業は初めてのため、交換作業の習熟度を上げるという観点から、明日サリー側を一旦7時で停止し、約7時間、交換作業の時間をとってベッセル交換を行います。また、上記交換作業を予定している事から、T/B からプロセス建屋・HTIへの移送については、容量を増やす事は見送り、明後日以降に運転の仕方を考えていきたい。

(安定化C)

システムが複雑になってきているため、図表等を分かり易くする等心がけていきたい。続いて、R/Bからの放出量評価の一環でサンプリングを予定しており、天候の影響で不調ですが、2u サンプリング状況について説明致します。

(放出抑制)

2u R/B ブローアウトパネル開口部からの放射性物質サンプリングを行うにあたり、支柱設置の計画が纏まり、明日作業を行う段取りとなりましたので説明致します。明日、午前9時から14時まで予定しており、作業体制は鹿島建設で行います。述べ作業員28名、元請3名という形です。現状、計画線量 3mSv で計画していますが、厳密に言うと最大約 1.5mSv になります。作業班は3班体制、支柱材の搬入、組立、最終的な建起しという形で計画しています。支柱については、JVでモックアップをしており、12m ぐらいのものを 4 ブロックで搬入する形を計画しています。支柱は丸パイプで径は45弱になり、そちらを組み立てた形で 3mものを4ブロックで搬入する予定です。書画にて平面図と断面図を示します。作業のアクセスは、大物搬入口側山側から作業通路があり(既設の R/B 屋上までの階段)があり、こちらを歩いて搬入する予定です。断面図にて、どういう形で支柱が立つのか分かるかと思いますが、斜めに立てかけてブローアウトパネル開口に掛ける形になります。支柱はかなり細いものですがデフォルメして説

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

明すると、できあがりの姿は正面から見ると開口部から約3mの高さにかける形を計画しています。尚、実際にこの支柱を使用し、サンプリングのため昇降する事は難しいと判断しており、予め頂部に滑車を付けて、そこにサンプリング用機器を引き上げられる様なロープを仕込み、斜めに立てかけて最終的に固定する形で明日作業にかかりたいと思います。

(安定化C)

明日の天候、風の状況等を良く見て慎重にやって頂ければと思います。これができれば確実な形でサンプリングができるため、そこまで慎重な作業を宜しくお願いします。

(1F)

作業実施の可否はどの断面で決定しますか。明日は9時からの予定のためその前になりますか？

(安定化C放出抑制)

土砂降りや風が強い場合等は、事前に免震棟に8時30分に集合するので、そこで作業可否を判断したいと考えています。

(1F)

先程、安定化C所長からもありましたが、安全の方を十分確認してお願いしたいと思います。

(本店広報班)

本日のプレス対応状況について説明します。本日は日曜日のため、午前中はプラント状況に対するレクということで[]さんの会見はありません。時間も15分で終了しています。質問については、4u SFP 塩分除去装置の性能等、基本的な質問になります。18 時からは[]本部長代理からの記者会見になり、現在行われています。特出しのプレス案件はなく、通常通りのサンプリング結果の報告になります。

(安定化C)

他になれば、本日の全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/22(月)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00

(安定化 C ■■■■)

週が明けまして、広い範囲で作業が再開されておりますが、本日は、トラブルが2件ぐらい発生しております。

一つは、試運転をずっと続けておりましたSARRYですが、今日初めてのベッセル交換をやるということと一旦止めたわけですが、ベッセル交換をしようとしたところ、周辺の配管の一部に、放射線量の高い、いわゆるホットスポットというのがあることがわかりました。現在、そのフラッシングをしているところでありまして、結果として、本日はベッセル交換ができなかったということであります。

もう一点は、今日朝方、TV会議システムでアナウンスをしておりますが、一昨日から運転しております塩分除去装置がトリップいたしました。これは、塩分除去装置から出てくる濃い塩水、これを貯めるタンクの制御のロジックに若干問題があったためであります。塩分除去装置そのものには異常がございません。

この二件につきましては、後ほど、ご報告したいと思います。

それでは、本日の作業の進捗、並びにプラントの状況につきまして、福島第一さんからご報告いただきたいと思います。

(1F本部)

プラントのほう、1号から3号につきましては、炉注は安定しております、パラメータのほうも安定しておりますが、3号機のほうにつきましては、昨夜から連絡をさせて頂いているとおり、いま、7 m³/hに絞った運転をしておりますけれども、パラメータはまだ若干動いているということもありまして、今日のお昼の時点で、再度もう一日ぐらい様子を見るというふうに判断をして、いまパラメータの推移を見ているところであります。また、明日、しかるべきタイミングで、どのような状況になるかを見て、判断をしていきたいと思っております。

それから今、■■■■さんのほうからお話がありました、SARRYの件、それから4号機の使用済燃料プールの脱塩の件につきましては、あとからご説明をいただけるということで、割愛させていただきます。

水の移送の件ですけれども、3号、2号ともに今継続しておりますが、明日、3号機のほうの水移送を少し増やすということを検討している状況でございます。

それでは、プラントのほうの状況を発電班からお願いします。

(1F発電班)

1号機でございますけれども、3.7 m³/hで注水しております。RPVの底部の温度は88℃、使用済燃料プールの温度が29℃、ドライウェルの圧力が24kPagageです。

2号機につきましても、3.7 m³/hで注水しております、RPVの底部ヘッド温度が114℃、使用済燃料プールが34℃、ドライウェル圧力が14kPagageになります。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

3号機のほうは、ただいまありましており、7m³/hで注水しておりまして、RPVの底部の温度は106.2℃でございます。流量低減してから、約2℃、2.3、2.4℃緩やかに上昇した状態でございます。この状態で、継続監視をしております。使用済燃料プールの温度が31℃、ドライウエルの圧力が0.2kPagage、こちらのほうも安定しております。

4号機の使用済燃料プールの温度は39℃でございます。

5、6号機につきましては、冷温停止で冷却の継続中、パラメータの大きな変動はございません。

(1F1～4復旧班)

炉注水関係は、引き続き注視していきます。

SFP関係ですけれども、明日、2号機のSFPにヒドラジンを注入する予定です。あと、先ほどありました、4号機のSFPの塩分除去装置につきましては、本日、タンクローリーに移送中に、システムが停止するという不具合がございました。詳細は、センターさんからお話があるかと思えます。

水移送関係ですけれども、現在、2号機と3号機それぞれ、2号機はプロセス建屋、3号機はHTI建屋に移送を継続しております。

水位関係ですが、2号機のほうで、タービン建屋とトレンチで、4mmと2mmの下降です。3号機のほうで、タービン建屋とトレンチで、4mmと2mmの同じく下降です。4号機のタービン建屋のほうは、変化がございません。

受入側、集中RWのほうですが、プロセス建屋で33mm下降して、OP5184mmです。HTI建屋のほうは、SARRY装置が停止しているということで、220mmの上昇で、OP2911mmになっております。明日、3号機の移送関係ですけれども、タービン建屋からプロセス建屋へ2台目の運転を計画しておりますが、SARRY装置の状況を見て判断することになると思えます。

水処理関係ですが、本日、KURIONのSMZベッセル3塔を予定通り交換終了しております。SARRY装置につきましては、先ほどお話がありましており、現在、若干手間取っておりますが、停止中でございます。

(1F5・6復旧班)

メガフロートへの移送、本日はありませんでした。また、タービンの地下から仮設タンクへの移送もございません。

明日ですが、メガフロートへの移送ありません。タービンの地下から仮設タンクへの移送ですが、明日の10時から8月24日の16時まで行う予定です。

(1F土木)

タンク設置工事ですが、Gエリア、Hエリア、本日、明日継続工事です。

無人によるガラ撤去ですが、2～4号のポンプ室廻り4m盤のガラ撤去を継続実施です。本日の実績は、4コンテナになります。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

海工事関係ですが、1～4号の透過防止堤の鋼矢板設置ならびに北護岸のテトラポット据付を実施しております。明日も実施です。

(1F建築)

カバーリング工事ですが、1号機関係は、本日から24日まで、夏休みということで休工になっております。

3号関係ですが、周辺の路盤整備と、建屋周辺の不要物の解体撤去です。明日も継続で行います。

4号機関係は、こちらも路盤整備とガレキの搬出になります。こちらも、明日継続になります。

滞留水関係で、スラッジ貯蔵施設建築工事ですが、こちらは、本日、基礎のPC型枠の搬入据付、明日も継続で行います。

(1F保安班)

本日、MP8ですが、昨夜から83～84 μ Svで推移しておりましたが、11時40分ぐらいから若干低下傾向になりまして、11時40分から12時20分の間で、83から80 μ Svまで下がっております。その後、80 μ Svで現時点まで一定で落ち着いているという状況から、現場の状況確認を実施しております。現場のほうにつきましては、電離箱の測定を行いまして、こちらはMP値と同等ということで、検出器に問題ないことを確認してございます。作業の関係ですけれども、防護管理関係のカメラの移設という事で、本日、土木さんのほうで、MP8のフェンス西側のあたりのこの伐採を行っておりまして、多分のその辺の影響じゃないかと推定されます。この辺につきましては、今後、もう少し土木さんのほうと確認しながら影響について調査してまいりたいと思います。

(1F本部)

了解。朝から、雨が降ってございましたけれども、午後はほとんど雨が上がっているという状況もあるので、天候の関係も含めて、作業との調整、それからモニタリングポストの数値の変動、少し分析を進めていただきたいと思います。

(安定化C)

それでは、SARRYのベッセル交換に関連しましての状況報告を差し上げたいと思います。

(安定化C滞留水処理) ※書画にて説明

本日、SARRYのほうはA系、B系の全部で2系列ございまして、B系のこちらの青い部分のセシウム吸着塔と言っています、こちらの1塔目を交換しようということで、作業を予定してございました。こちらのベッセル、吸着塔のほうでございまして、交換する前に、一回フラッシング、きれいな水で洗ってあげて、その後に交換するというので、作業を予定してございました。

今回、朝止めまして、その後、フラッシングに入りましたところで、フラッシングで水を流すラインの一部分、非常に線量の高いところで約3Svぐらいの局所的に高い

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

部分が確認されたということで、いま、そちらのほうの洗浄作業をやっております。まだ、こちらのほうの洗浄が終わっていない、ホットスポットが消えていないということで、そちらのほうの対応の作業をやっている状況でございます。

今時点で、ベッセルの交換作業に移れていないということで、今晚は、こちらのホットスポットのほうのブローを行いまして、そちらのほうが終わる次第ですね、再度、インサービスをしてあげて、明日、ベッセルの交換の方に入りたいと考えております。

まだ、当該のこの先頭のベッセルにつきましては、線量から、まだ吸着は可能なレベルになってございますので、ホットスポットの洗浄作業が終わる次第、運転のほうに投入して、滞留水の処理のほうを行っていきたいと考えております。

今日、KURIONのほう、SMZ3塔交換いたしまして、今現在の流量は、48トン/hで水処理のほうは継続している状況となっております。

(安定化C [REDACTED])

ホットスポットですので、慎重にフラッシングを進めていただきたいと思います。

続いて、水処理の今後のオペレーションについて、ご報告いただきたいと思います。

(安定化C滞留水移送G) ※書画にて説明

今後の滞留水の移送について、ご連絡させていただきたいと思います。

明日、8月23日なのですが、3号機、現在1台でタービン建屋からHTI建屋に移送しておりますけれど、ポンプを2台化で運転を開始したいと考えておりまして、そのことについて、ご説明させていただきたいと思います。

現状は、8月18日にSARRYの試運転が終わりまして、その後、2号をプロセス建屋、3号をプロセス建屋に起動させまして、建屋の水をラド設備に送っております。その後、8月19日にSARRYの単独試運転と言うことで、HTIから水を取りまして、SARRYの運転を開始したということで、一番下がHTI建屋の水位なのですが、急激に水位が下がっております。

HTIのほうが、基準値OP3700mmにたいして、余裕ができた状態になっております。その後、余裕ができた状態で、3号機の移送の変更を行いまして、3号機、8月21日までプロセス建屋に移送していたのを、HTI建屋に変えております。その関係で、2号単独で移送した関係で、プロセス建屋の水位も、現在下がっております。

こういう状況になりましたので、明日、3号を2台化して、タービンの滞留水を移送したいと考えております。具体的には、こちらの系統図をご覧頂きたいのですが、現在は、2号からプロセス建屋、3号から高温焼却建屋にこの青のラインで送っております。それぞれ、プロセス建屋についてはセシウム吸着塔、凝集沈殿装置、KURION、AREVAを通してSPTに送っている状況、HTIにつきましては、第二セシウム吸着装置SARRYを通してSPTに送っている状況になっております。各々、H

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

TI建屋はSARRY、プロセス建屋はKURION、AREVAという状況になっております。

明日の追加としましては、3号のポンプ、こちらの赤いラインになりますけれど、赤いラインを追加することによって、3号からポンプ2台で、高温焼却建屋、プロセス建屋の2箇所を送るということを計画しております。

先ほど、SARRYのベッセル交換のお話をさせていただきましたけれども、明日の2台運転につきましては、ベッセルの交換の状況、並びにHTIの水位の状況を見て、2台化の時間を決めたいと思います。

(安定化C■■■■)

もう一点、朝ほど発生しました、塩分除去装置のトリップの原因について、簡単に報告をお願いします。

(安定化C) ※書画にて説明

4号機のSFPの塩分除去装置のトリップした件についてご報告いたします。

まず、概要でございますが、いま、塩分除去装置と申しているものは、複数のトレーラーの集合体でございます。このうちの、塩を抜いて淡水を作るわけですが、その抜いた後の、濃くなった塩水、これが濃縮廃液タンクというところにたまっていまして、これをいま、一日に一回、タンクローリー充填ポンプというものを手動で起動しまして、タンクローリーに移送する作業をやっているところでございます。本日午前中に、このタンクローリー充填ポンプを起動して、タンクローリーに送っていたところ、10時34分に、この濃縮廃液タンクの水位が低という警報が出て、装置全体が停止したものでございます。

隔離弁は全閉しておりまして、確認の結果、塩分除去装置に異常はありません。また、外部への水の漏えいなどもございません。

原因でございますが、まずこれは、通常の運転のやり方になりますが、操作盤の中のタンクローリー充填ポンプの切替のスイッチがありまして、「遠方」というところにして、タンクローリー充填ポンプを起動するというのが通常のやり方でございます。このときに、タンクローリー充填ポンプの起動停止条件はですね、タンクの水量が10 m³で起動可能、ある程度貯まった回りますよという条件、タンクの水の量が2.5 m³以下で、タンクローリー充填ポンプ自動停止と、水が減ったら止まりますというシステムになっていました。

今回の場合は、ポンプが自動的に止まりますというところが、いかなかったために、その次の装置全体の保護のために止めるというところまでいったものでございます。

本日の操作でございますが、この切替のスイッチがですね「運転」という方向にして、ポンプを起動したために起きたということでございまして、スイッチをこっちにすると何が起きるかという、タンクの水、今日あまり入っていなかったものですから、そのかわり水が少なくてもポンプが起動できるという条件になります。ただし、その

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ときに、ポンプの自動停止、これが除外されるという作りになっていました。その流れでございますが、本日は、水の移送開始時に、タンクの水量が10m³以下であったために、止むを得ず、強制運転で起動しようということで、この切替スイッチを運転側にしてありました。そのために、ポンプが自動で止まらずに、タンクの水位低というところまでいきまして、装置全体が保護のためにトリップしたということでございます。

この、ポンプの起動条件でございますが、当初の設計で、水がある程度貯まったら、お知らせして、水を捨てましょうというためにあった条件なのですが、現状ですと一日に一回、タンクローリーを持ってきて水を捨てるという運用なので、全く今は使われていない条件でした。従いまして、この条件を除外するということで、なんら手順の変更もなく、予定通りの作業ができて、ポンプの停止とか装置の停止とかと、そういったインターロックも全部有効になるということで、このポンプの起動条件を除外いたします。装置全体の異常がないことを確認できているものですがから、この対策を実施して、準備が整い次第、塩分除去装置をインサービスしていくということで考えておりまして、現在、この除外まで終わっておりますので、このあとインサービスするところにきております。準備が整い次第、インサービスしていきたいと思っております。

(安定化C [REDACTED])

仮設で、ちょっと不必要なロジックが入っていたということからも知れませんが、ロジックを変更するときには、十分運転操作に当たられる方に、周知をして、理解していただいた上で、運転に入られますようお願いいたします。

それから、もう一点。昨日、ご報告いたしましたが、2号機のブローアウトパネルから出てきていると思われる、空気を直接サンプリングしようという計画がありますが、それが非常に高いところにありますので、そこを測定するための機械を据え付ける櫓を、昨日作っておりますというお話をいたしました。その据付が本日、成功いたしましたので、ご報告いたします。

(安定化C放出抑制) ※書画にて説明

昨日の全体会議で、作業の計画についてが説明申し上げましたが、本日、ちょっと雨模様ではありましたが、現場の降雨量が思ったより少なく、風も無いというかたちで、若干開始時刻は遅れましたけれども、こちらに記載のとおりで、午前の9時40分から12時20分、約3時間弱かけまして、設置のほうが終わっております。なお、計画線量3mSvで計画させていただきましたけれども、結果としましては、3班目の、支柱の立て起こし固定で若干高めの数字にはなったものの、最高で1.74mSvという結果でございまして、一応、計画どおり終わったかなというふうに思っております。

こちらにお示しいたしますのが、左側の上下が、実際に立て起こしをやっている最中でございまして、右側が設置が終わった写真でございます。ちょっと、私どもの

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

計画の甘さもあったのですが、ブローアウトパネルの開口の高さが、もっと高いのかなというのがあったのですが、若干実態は低めでございまして、結果オーライなのですけれども、開口の頂部に近いところまで、支柱がかけられましたので、今後サンプリングしていただくに当たりまして、貴重なデータが得られるのではないかと考えております。簡単ですが、報告は以上でございます。

(1F復旧班)先ほどの塩分除去装置の件ですが、現場でインサービスの準備ができたということなので、これから開始したいと思います。(18:24)

(安定化C)

この原子炉建屋のサンプリングにつきまして、今後のスケジュールをご報告いただけますでしょうか。

(安定化C)

2号のブローアウトパネルからのサンプリングでございますが、当初は明日予定してございましたけれども、資材の手配の関係におきまして、25日に2号機のほうを実施するということで、予定を変更させていただいております。1号、2号、3号はそれぞれ、24日に3号機、25日に2号機、26日に1号機で、それぞれ原子炉建屋のダストサンプリングを今のところ予定してございます。

(本店広報)

本日の広報対応をご説明いたします。今日午前中は、11時から19分ほどで、午前中のレクは終了しております。ご説明している内容ですけれども、8月18日現在、こちらの1Fのサーベイマップを配付しております。また、今ご説明がありました、2号機のブローアウトパネルのサンプリングの櫓の設置、こちらについても、ご説明をしております。こちらは、説明のみでございます。

あと、明日から、柏崎の7号機ですが、定期点検に入るということで、定期点検入のプレスを本日行っております。

マスコミから、午前中寄せられた問ですけれども、主に3号機の炉注水の変更に対する評価関係に質問が寄せられております。あとは、3号機の炉注水ラインの変更、炉心スプレイ系への変更についての内容とかですね、質問が寄せられている状況にあります。

柏崎7号機の点検に関しては、特に点検の項目の中にですね、津波対策という項目がありますので、こちらの内容を詳しく教えてくださいという質問が寄せられました。

午後ですけれども、午後は16時半から統合会見が行われておりまして、継続中ということでございます。こちらでは、マスコミからは、これまでですけれども、高線量地域ですね、政府の対応ということで、細野大臣に質問が多く寄せられていたという状況でございます。東電からの説明関係は、いまの塩分除去装置のトリップについてご説明する予定と、あとは、九州電力で発生しました、耐震安全性評価のデータの入力誤り、こちらを踏まえた対応ということで、本日17時に保安院に報告

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

書を出しておりますので、当社の再評価内容をご報告したという内容を、今後説明する予定でございます。報告の内容は、再点検の結果、チェック体制には問題が無いものと考えておりますと、また今後とも品質保証活動の更なる向上を図りますというような内容でご報告をしたということでございます。

(本店本部)

今日は藤崎大使におこし頂いておりますので、ご挨拶を頂戴したいと思います。

(藤崎大使)

駐米大使の藤崎でございます。7月に、大統領補佐官のホルドレン氏と第一原発、第二原発と視察させていただきました。その後、アメリカから大変よく説明いただいたと感謝の念の表明がございました。またこれから、伺いますと、大変な状況が続くのだと思いますが、これまで、ここまで、もってきて頂いた事に、あらためて感謝を申し上げますとともに、これからのご健闘を祈念したいと思います。どうもありがとうございました。

(本店本部)

どうも、お言葉ありがとうございました。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/23(火)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C ■■■■)本日、現場もしくはそれぞれの部署で作業にあたられた方、お疲れ様でした。8/23の統合本部全体会議を始めたいと思います。本日も広範囲な作業が展開されていますが、水処理関係に関しては、昨日 SARRY を初めてベッセル交換しようとしたところ、フラッシングの過程でホットスポットが生じるというトラブルがありましたが、昨晚、ホットスポットはフラッシングで解消することができまして、本日、再度、ほぼ順調にベッセル交換を実施しています。水処理に関連しまして、T/Bからラド側への移送ですが、本日の4時、ポンプを2台使いましての移送が始まっています。この点、後ほど詳細にご報告します。また、本日、4号機のプール冷却がありますが、メタルホースから若干のリークが生じていることが発見されています。この点、後ほど詳細にご報告します。その他、様々な作業が進められていますが、詳細は福島第一さんからご報告いただきたいと思います。

(1Fユニット所長)今日は熱中症、けが人等の発生はありませんでした。プラントの状況ですが、各プラントのパラメータは概ね安定して推移をしています。8/20に炉注の流量を7m³/hに絞り込んだ3号については、RPV下部ヘッドの温度が若干上昇傾向にあるということですが、パラメータの推移自体は安定している状況です。滞留水の関係ですが、今日、3号機の滞留水の移送用のポンプ2台目を起動しています。16時過ぎです。水処理設備は、KURION、AREVA、SARRYそれぞれ計画通りベッセルを交換しまして、運転を継続している状況です。それでは、発電班から順次報告をお願いします。

(1F発電班)1号機ですが、原子炉へ3.8m³/hで注水しています。RPV底部ヘッドの温度は88℃、使用済燃料プールの温度は29℃、ドライウエルの圧力は26kPagageです。2号機につきましても、3.8m³/hで注水してまして、RPV底部ヘッドの温度は114℃、使用済燃料プールの温度は34℃、ドライウエルの圧力は14kPagageです。3号機につきましては、7m³/hで注水を継続しています。RPV底部ヘッドの温度は107.6℃です。注水を絞ってから、3℃少々上がっています。これにつきましては、温度が安定したところで流量を更に絞る予定でありましたが、炉底部の温度が緩やかですが上昇が継続していること、冷却効率を更に向上させるために、8/26を目途にCS系から注水を予定してまして、その際の効果を十分に確認できるようにということから、そこまで7m³/hを維持するということで、継続して監視を続けたいと思います。使用済燃料プールの温度は31℃、ドライウエルの圧力は0.2kPagageです。17:32に3号機の使用済み燃料プールの異常を示す警報が発生しています。ポンプは定格流量で運転しており、温度も変化はありませんでした。現場で確認したところ、吸込圧力低の警報が出ていまして、現場でリセットできています。吸込圧力が一時的に下がったものと思われますので、上流

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

側にありますスキマーサージタンクに水を張りまして、圧力を上昇させる作業をこれから行います。4号機の使用済燃料プールの温度は39℃で安定した状態です。5、6号機につきましては、冷温停止で、パラメータは変動ありません。一点、共用プールの冷却系ですが、補機冷却系、二次系の純水ですが、サージタンクのレベルの若干の低下を確認しています。この系統は、共用プールの冷却に使っていないB系の系統であり、レベルの低下は1m³/h以下の容量に相当します。外気温の低下の影響もあると思われますので、継続して監視します。

(1F1～4復旧班)炉注水関係は、引き続き注視していきます。SFP関係ですけども、本日、2号機でヒドラジンを注入する予定でしたが明日に延期しています。4号機のSFPの一次系で金属フレキホースから30秒に1滴のリークを確認しました。部位はR/BからRw/Bに入ったところのフランジから約3～4cmのところでした。詳細は安定化Cより報告があると思います。リークしている所の下部に受け皿を用意して様子を見ているところです。水移送関係ですが、2号機はプロセス主建屋へ移送を継続しています。3号機はHTIに移送していましたが、本日16:15に2台目を起動しまして、HTI建屋とプロセス主建屋へ移送しています。水位関係ですが、2号機で、タービン建屋とトレンチで4mmと5mmの下降です。3号機で、タービン建屋とトレンチで4mmと3mmの下降です。4号機のタービン建屋では6mmの下降となっています。受入側の集中RWですが、プロセス主建屋は53mm下降して、OP5041mmです。HTI建屋は216mm上昇して、OP3197mmです。SARRY を起動しましたので若干良くなる方向に行くと思います。水処理装置ですが、本日、SARRY 装置のベッセル1塔交換しまして、15:30に定格流量に到達しています。KURION のベッセル3塔、現在ベッセルの交換を実施しています。そろそろ終わる頃だと思いますので確認します。水処理の淡水化装置ですが、ROの1Bが16時頃に停止しまして、現在確認中です。RO装置につきましては、1Aと2が運転していますので、システム全体の問題は特にありません。

(1F5・6復旧班)メガフロートへの移送、本日もありませんでした。明日も予定はされていません。6号機のT/Bの地下から仮設タンクへの移送ですが、本日10:00から明日の16:00まで行う予定です。

(1F土木)汚染水と処理水のタンクの建設工事ですが、Gエリア、Hエリアにおきまして、継続して実施しています。夜間作業はありません。無人重機によるガラ撤去ですが、OP4m盤において撤去を実施しまして、本日は、コンテナ2個の撤去を行っています。海の工事ですが、1～4号の透過防止工の設置工事で、鋼管杭の打設を実施しています。明日も実施する予定です。明日におきましては、杭を積み込んでいます材船を港の外に出すということで、シルトフェンスの開閉を一回明日行う予定にしています。

(1F建築)1号機カバー工事におきましては、本日休工、明日まで休工の予定です。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

す。3号R/B上部瓦礫撤去ですが、本日は周辺の障害物の撤去と路盤整備、明日も継続作業となります。4号機R/B上部ガレキ撤去ですが、本日、周辺路盤整備とガレキの搬出作業を行っています。明日は搬出作業の他、高所作業用の重機、Mステージの組み立て、組み立て完了後、オペフロ上部の瓦礫の片づけを開始する予定です。スラッジ貯蔵施設ですが、本日、基礎PC型枠の搬入据付、明日も継続作業になります。

(安定化C[REDACTED])まず、SARRYのベッセル交換に伴う昨日の事例を報告します。

(安定化C水処理PJ部) (書画にて説明) SARRY につきましては、A系、B系、2系統もってまして、昨日、B系の先頭のベッセルを交換しようということで、フラッシングをした際、フラッシングをした後に、この系統にはベントラインとドレンラインが繋がっていますが、下流の部分で3Sv という非常に高線量のホットスポットが確認されました。フラッシングのやり方としては、通常ですと、入口側のラインから使って、交換ベッセルに水を通して、下流側で洗浄水をだしてあげる、というフラッシングの仕方をするのですが、その際にホットスポットが見つかったということです。ホットスポットが発生した理由ですが、ベントラインのところにオートベント弁が付いています。こちらが通常運転の状況、こちらが洗浄時の状況になりますが、通常運転中ですと、オートベント弁の中にありますフロートが上に浮き上がってベントラインのところを止めてあげるという状況になっています。何のために付いているかというと、例えば、ベッセルを交換した際に空のベッセルの中に入っているエアー等をこちら側からだしてあげるために付いているバルブになります。水が満水になってきますと、エアーの吐き出しが終わってフロートが浮いて水が外に出ないような構造になっています。今回、装置のフラッシングをかけた際、入口の圧力の変動によりまして、おそらく変動があつて、フロートの部分が上下をした状態で、中の水がドレンライン側に抜けていってしまったのだらうと。ベッセルの中には、細かな、微細な汚染物質がこの中に含まれていますので、こちらのものが、オートベント弁を介してドレン側の方に流れていって、ドレンラインに水が流れた際に高線量の局所的な物体が配管に付着してしまったのではないかと考えています。対応は、洗浄水ラインを使って、下流側から洗浄水を流してあげて高線量の部分を水で洗い流してあげて線量を下げることを行っています。本日、ベッセル交換を行っています。昨日、3Svありましたが、線量としてはバックグラウンドと同じくらいの線量になっていまして、ホットスポットは発生していないという状況です。ちなみに、ベッセル自身は、表面線量0.5mSvぐらいということで、大体それと同じくらいのバックグラウンドの線量になっているということです。対策は、洗浄時にフロートが上下してしまったのが原因だらうということで、洗浄の際はオートベント弁の入口のところにありますバルブを閉にしまして、浮き上がり防止、それから、中から微細な汚染物質がドレン配管

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

に流れていかないようにということで、対策としてバルブの開運用をして、本日は洗浄を実施しています。以上が、昨日の SARRY のホットスポットが発生してしまった状況です。

(安定化C [REDACTED]) 今日のベッセル交換では、対策を実施したので、ホットスポットは生じなかったということですね。

(安定化C水処理PJ部) バックグラウンドと同じくらいということで、0.5mSvぐらいしか線量としてはなかったということです。もう一点、先程、水処理装置、淡水化装置で1台トリップしている件ですが、淡水化装置は1A、B、2、3ということで、昨日の案内では水処理エースという名前がでてきていますが、1Bの入口と出口の流量の偏差が大きいということで止まっています。原因は調査中ですが、入口側の流量と出口側の流量と、こちらの方に濃い塩水をだしていきますので、この偏差が大きくなってくると、設定値を持っていますので、止まるようになっていきます。止まった原因は確認中です。水処理関係では、明日 KURION についてはベッセルの交換の予定はありません。本日、先程案内がありましたように、水移送ですが、現状は、3号機の建屋から高温焼却炉建屋、青のラインで水を送っていて、2号機は立坑から青のラインを使ってプロセス主建屋に送っていましたが、本日、3号機側のポンプをもう1台起動しまして、赤の線でプロセス主建屋側に移送を開始しています。ポンプを2台使って移送を開始している状況です。高温焼却炉建屋とプロセス主建屋の水位上昇の傾向を確認していますが、プロセス主建屋は今の変化率ですと、1時間あたり6mmの減少傾向にあるということで、プロセス主建屋側は KURION、AREVA で今、水処理をしている状況です。高温焼却炉建屋は、SARRY、第二セシウム吸着装置で水処理を行っていますが、建屋の水位の上昇率でいくと、1時間あたり22mmの上昇をしているということで、バルブユニットを介して、ポンプ2台で汲み上げてバルブユニット経由でそれぞれ振り分けていますが、高温焼却炉建屋側の方に流量が多く流れてしまっている可能性があるということで、建屋の水位を注意深く見ながら、移送量の調整をさせていただきたいと考えています。

(安定化C [REDACTED]) 4号のプール冷却の配管からのリークについて、説明をお願いします。

(安定化C冷却PJ部) (書画を使用) 4号機の使用済み燃料プールの循環冷却の一次系のフレキシブルチューブから30秒に1滴のリークがあったということです。発電所にてパンで受けて、冷却には特に支障はない状況になっています。当該箇所と同じフレキシブルチューブを手配して取り替える予定をしています。先週にも同様なフレキでリークがあったということで、共通要因が考えられるということで、現在、調査の計画をしまして、当該部を切り出して2Fのラボで成分観察を含めて実施するというので、ちょっと時間がかかっていますが、いろいろ手続きの関

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

係で26日にラボでの観察をして原因究明をするということで、必要に応じて対策をとるという計画にしています。

(安定化C [REDACTED]) 海上におけるダスト採取の計画があがっています。報告をお願いします。

(安定化C) 地表面からの放射線物質の巻き上げのない状態で空気中の放射性物質を計りたいということで、海上での測定を計画しています。明日、24日から南防波堤の上とメガフロートの上で1ヶ月程度、週2回の頻度で測定を計画しています。また、沖合の2～3kmの海上で船をだして計るということで、26日から2週間の間に週3回程度船をだして測定したいと計画しています。もう一点、原子炉建屋の上でダスト濃度を測るということで、雨で延期していましたが、明日24日に3号機で、26日に1号機で測定をする予定です。昨日、設置していただきましたサンプリングのための装置を使いまして、25日に2号機のブローアウトパネルの部分でダストの採取をする予定です。

(本店広報) 本日の公表内容についてご報告します。本日の会見は、11時と18時から、いずれも当社の単独会見ということで行っています。午前中の会見は約1時間で終了しています。お知らせした内容は、SARRYの高線量箇所との発生関係、3号機炉心スプレイ系のライン追加の関係、それから定例の報告になります。マスコミの関心事項は、SARRYの高線量箇所に集中してしまっていて、事実関係、発生箇所とか原因とかについて質問がありました。いずれもご協力いただいていますQAで対応しています。午後の会見は18時から進めていますが、定例のサンプリングの他に、SARRYのベッセル交換についてお知らせしています。SARRYのベッセル交換が初めてということで、かなり関心が高いということで、教えて欲しいということがマスコミからありましたが、停止、起動等、時系列について、15:30に運転状態に問題ないということも合わせてお知らせすることとしています。また、4号機の使用済み燃料プールの水漏れの関係です。極微量の漏洩を確認したということで、代替冷却自体は継続しているということも合わせてお知らせすることとしています。

(安定化C [REDACTED]) それでは8/23の統合本部全体会議を終了したいと思います。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/24(水)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C所長) 24日夜の全体会議を開催したいと思います。本日は、雨模様というか、少し曇りのような状況でございますが、作業としては、継続している作業が大半ですけれども、ダストサンプリングというのを3号機については本日実施することができております。また、測定結果が出た段階で報告ということになろうかと思えます。明日は、2号機のブローアウトパネルのところについての、支柱をつけましたので、採取ということで、サンプリングのほうにつきましては、若干天候の影響で遅れましたけれども、進めている状況であります。その他継続でございますので、発電所のほうからまた説明をいただきますが、のちどほ、水処理関係につきましては、本日は週報でありますので、状況について、安定化センターから補足させていただきます。それでは、福島第一さんのほうか、プラントの状況と作業状況の報告をよろしくお願いします。

(1Fユニット所長) 今日是一日曇り空でございました。昨日に続きまして、ケガ人、あるいは、熱中症の発生は今日もございませんでした。昨日の実績ですけれども、だいたい発電所に入城された作業員の方、およそ三千人強というふうなことでございますので、今日もほぼ同じような数の作業員の方が作業されているものだというふうに考えております。プラントのほうですけれども、プラントのパラメータは安定して推移しております。炉注の流量を絞った3号機ですが、安定はしておりますけれども、相変わらず、RPVの下部ヘッドの温度について若干の上昇傾向が継続しているということでございます。あと、滞留水の関係ですけれども、水処理設備は今日順調に運転を継続しております。あと、昨日、3号のタービン建屋からの滞留水移送用ポンプの2台目を起動しましたけれども、想定よりも、HTI建屋の水位の上昇が早いということで、今日の午前中、3号のタービンビルからの移送先をプロセス建屋のみに切替の操作をやっております。

(1F発電) 1号機でございますけれども、3.8m³/hで注水しております。RPVの底部ヘッドが87℃、使用済燃料プールが29℃、ドライウエルの圧力は24kPaゲージです。2号機につきましても、3.8m³/hで注水しておりまして、RPV底部ヘッドが114℃、使用済燃料プールが34℃、ドライウエルの圧力は15kPaゲージです。3号機については、7m³/hで注水しております。RPV底部ヘッドの温度が108.4℃、先ほどございましたように、緩やかな上昇が継続しております。原子炉の底部の温度のうち、底部ヘッドの上部温度のほうは、昨日の22時ごろから2℃程度ステップ状に上がりました。その後は落ち着いており、継続して監視しております。3号機の使用済燃料プールの温度は32℃、ドライウエルの圧力は0.2kPaゲージ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

です。4号機の使用済燃料プールの温度が40℃。いずれのパラメータも安定しております。5・6号機につきましても、冷温停止中で30℃から40℃で、パラメータは安定した状態で、冷却を継続しております。

(1F1～4復旧)SFP注水関係ですが、本日、2号機におきましてヒドラジンを注入しております。約2トンです。4号機のSFPにつきましては、SFPからスキマサージタンクへの補強を実施しております。約20㎡です。水移送関係ですが、現在、2号機のほうは、立坑からプロセス建屋へ移送しておりますが、全体の水バランスを考慮しまして、明日HTIに切り替える予定です。3号機につきましては、現在、タービン建屋からプロセス建屋へ2台運転で移送を継続しております。水位関係ですが、2号機のほうでタービン建屋とトレンチでそれぞれ4mm下降です。3号機で、20mmと10mmの下降です。4号機のタービン建屋で13mmの下降になっております。受け入れの集中ラドですけれども、プロセス建屋につきましては、3号からの移送分で22mm上昇しております。OP4983mmでございます。逆にHTIにつきましては、129mm下降しまして、OP3303mmとなります。水処理関係ですが、現在、順調に稼動しております。本日、ベッセルの交換はありませんでした。明日3塔予定です。

(1F5・6復旧)本日、メガフロートへの移送はありませんでした。タービンから仮設タンクへの移送ですが、昨日の午前10時から本日の16時まで移送しております。明日ですが、メガフロートへの移送はありません。仮設タンクへの移送ですが、10時から16時を予定しております。

(1F土木)タンクの設置工事につきましては、高濃度の汚染水の貯留タンク、ROの濃縮水の貯蔵タンクの設置を継続して実施しております。なお、夜間作業については、来週の月曜日まではございません。無人重機によるガラ撤去ですが、OP4mの盤でガラの撤去を行っておりまして、本日はコンテナ8個撤去しております。港湾の復旧工事でございますが、5・6号機の前面でテトラポットの設置、1号機から4号機の透過防止工の設置工事ということで、鋼管矢板の打設を継続して実施しております。なお、本日ですが、鋼管矢板を積み込んでいました輸送船、台船を出すために、シルトフェンスの開閉を本日実施しております。明日は、シルトフェンスの開閉はございません。

(1F建築)カバーリング関係ですが、1号機関係本日まで休工になっておりまして、明日から、建て方関係の作業を再開いたします。3号ガレキ撤去関係ですが、建屋周囲の鉄板敷き、碎石敷きの路盤整備、損壊した構築物の解体を南側ヤード、大物搬入口の解体を本日実施しております。明日から、本日までやっております4号機側の乗り込み工台の組立部材を、北側に設置する準備を始めます。4号機関係については、これも継続作業で、Mステージの組立、オペフロのガレキの撤去を実施しております。滞留水関係につきましては、スラッジ貯槽の設置工事

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ですが、スラッジ棟のほうで、継続作業で基礎部分に使用するPC盤の搬入据付、設備棟のほうで地盤改良のほうを、明日も継続して実施します。

(安定化C水処理) ※書面にて説明

水処理の状況、先週からの進展でございます。まず、各号機の滞留水の状況でございますが、1から4号機合計で約96000m³でございます。前回から、各号機ともプラスに転じてございますが、こちら先週の後半にSARRYのほうの試運転を行うということで、水処理のほう、建屋からの移送を止めているという関係で、プラスに転じている状況となっております。送り先になります、集中ラド施設関係の各建屋の状況でございますが、今現在、22380m³ございまして、先週からですと590、それから840m³ほど、各建屋ともマイナスとなっております。こちら、SARRYの試運転で、それ以降、SARRYが運用されているということもありまして、保有水量は減っているという形となっております。性能のほうでございますが、セシウム134、137、こちら記載のとおりでございますが、KURION、REVAでとっているものが10の6乗オーダー、SARRYの単体のほうが括弧書きになっておりますが、約5×10の4乗の除去効率となっております。淡水化装置のほうでございますが、こちらにつきましては、処理前が6000ppmに対して20ppm、それから濃縮装置につきましては12000と、処理後は1ppmという状況になってございます。処理されました水の使用状況でございますが、処理水につきましては、前回から今回までの間に約2217m³使用しているということで、累積のほうにつきましては、19094m³ほど使っているというような形となります。前回から比べますと、処理水の使っている量が少なくなっていますが、これは、先ほど言いました、SARRY試運転に伴いまして、止まっている期間がありましたので、マイナスとなっているというような状況となっております。水処置装置の運転状況は以上となります。水処理関係でございますが、蒸発濃縮装置の試運転の状況でございますが、1A、B、Cという装置のほうでございますが、本日、実液の試運転のほうをやっております。今現在、継続して実施中となっております。結果のほうは明日報告させていただければと思います。水処置装置全体の今の運転状況でございますが、KURIONで、入口で約46トン/hほどの水を採水して処理をしているような状況、SARRYにつきましては約24トン/hで水処理を継続しているような状況になってございます。

(安定化C所長) 今、3号の炉注が7m³/hということで、少し温度が上がり気味ということですが、コアスプレイのほうからのラインの敷設の工事をしてもらっておりますが、4号機の使用済燃料プールのほうから、いま少し漏れているという話があつて、ステンレス製のフレキシブルのところなのですが、同じような構造の物を使うということで、明日の接続工事も含めて、4号側の方の原因究明との関係でですね、少し慎重な工事の進捗をしたほうが、工事の施工をしたほうがいいんじゃないかというふうに、いま考えていますので、ちょっと3号の注水ラインの工事については、も

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

う一旦、立ち止まって考えるというようなことで進めたいと思います。状況については、また明日、お話できればと思います。

(本店広報) 本日のプレスへの説明状況について、ご説明いたします。本日は、11 時と午後は 6 時から、当社単独会見ということでございます。午前中につきましては 30 分程度で終わっております。主な質疑につきましては、小森所長からございました、4 号機のフレキシブルホースの水の滲みですとか、ダストサンプリング地点の追加、あるいは、雑固体廃棄物減容処理建屋からプロセス建屋への水の移送の変更、あとは、3 号機の建屋開口部のダストサンプリングの実施についてご説明していますけれども、今朝の読売新聞に載っていた記事について、記者の関心が集まっております。内容につきましては、2008 年夏に東京電力が津波についての分析をして、調査をしていて、10m 以上の津波の来る可能性があったとの調査結果を出しているということで、これが国の事故調に説明されたということが内容となっておりますが、午前中の記者会見でも、それについて記者からの質問がございました。当社のスタンスとしては、いま国が事故調査委員会で調査を進めているところでありまして、当社として積極的にこれについて事実関係を含めて、ご説明することは控えさせていただきたいということがスタンスでございますけれども、一方で、今日、保安院の会見も 16 時からやっております、やはりこの件について、国へも質問が来てございます。保安院さんのほうは、一歩踏み込んだような回答をしております、明日は統合会見ということもございまして、その辺の対応がまた大きな焦点となってくると思っております。

(安定化 C 所長) 24 日の全体会議については終了したいと思います。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/25(木)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00

(安定化C)

お疲れ様です。本日、天候はいまひとつであり雨も一部降っています。先ずは 3u 瓦礫撤去で構台をかける等準備をしており、来週から本格的に 34u の準備をしていこうという矢先でしたが、3u 主変圧器周辺での瓦礫撤去中にラジエーター下部分を撤去して主変圧器内の油を流出してしまいました。大変申し訳ありませんでした。これをとにかく復旧させる事を先ず考えなければならない状況になっています。従いまして、3u 側の作業については後程状況説明と当面の措置について報告させていただきます。その他、3u R/B 上部でのサンプリング結果、各号機SFPでのサンプリング結果等はデータを後程説明致します。その他作業関係はほぼ継続作業が多く、水処理関係は順調に運転している状況です。

(1F)

天候は午前中雨、現在は曇りの状況です。人身事故・熱中症は本日ありませんでした。今ありました様に、3u 変圧器油漏れがありました。事前の検討や工事を実施する際の慎重さが非常に足りないという点は猛省すべきであり、これから先も作業はあるため、作業に入る前の十分な検討が大事だと思われます。昨今、気になっているのが、全般的に建築系で装備不良、事前の体調管理、既往歴の確認等甘い気がします。今後重点的に確認していきたいと思っています。以上を念頭に置いて対策を検討していきます。

(1F発電班)

1号機ですが、3.8 m³/hで注水を継続しております。RPV底部ヘッドで 88℃、使用済燃料プールが 30℃、ドライウエルの圧力が 23kPa gage です。

2号機につきましても、3.7 m³/hで注水しておりまして、RPV底部ヘッドが 115℃、使用済燃料プールが 34℃、ドライウエルの圧力が 15kPa gage です。

3号機については、7.1 m³/hで注水を継続しております。RPV 底部ヘッドが 108.7℃、昨日 17 時以降、108.4℃一定でしたが昼過ぎから微少ですが上昇しています。使用済燃料プールの温度は 33℃、ドライウエルの圧力は 0.2kPa gage です。4号機は使用済燃料プールが 40℃。5・6号機についても、冷温停止の継続で、パラメータの変動はありません。後程、本店にて 4uSGTS 周辺の線量調査をしており簡単に説明したいと思います。

(1F1～4復旧)

炉注水関係は特にありません。引き続き注視していきます。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

SFP関係は、本日補給はありません。4u 金属フレキホースから 30 秒に1滴のリークについては本日も進展が無い事を確認しています。

水移送関係ですが、2号機は、本日立坑からの移送先をプロセス建屋からHTIへ変更しています。3号機につきましては、現在、タービン建屋からプロセス建屋へ2台運転で移送を継続しております。

水位関係ですが、2号機でタービン建屋とトレンチでそれぞれ 3、2mm 下降です。3号機で、19mmと 11mmの下降です。4号機のタービン建屋で 9mmの下降です。受入集中 R/W は、プロセス建屋で12mm上昇して OP+5065mmです。HTIは、98mm下降して、OP+2845mmで順次減っております。

水処理設備関係は、本日は順調に稼動しております。キュリオンベッセルを3塔交換しました。明日はキュリオン3塔、サリー1塔交換を予定しています。

(1F5・6復旧)

本日、メガフロートへの移送はありませんでした。明日も計画しておりません。タービンから仮設タンクへの移送は、本日 10 時から 16 時に実施しました。明日も 10 時から 16 時を予定しております。明日、6u 仮設RHRS ホースについて、ワイヤーからホースを保護するための養生板(ゴムマット)が大分痛んでおり交換しようと思えます。現在、仮設 RHRS ポンプは 2 台あり、1台ずつ停止して行います。従って RHRS は全停にはなりません。明日9時から2時間程度の間で行う予定です。

(1F土木)

いずれも継続作業ですが、タンク設置工事は G・H エリアで工事を実施しており、夜間工事はありません。ガラ撤去は OP4m ポンプ室周りで実施しており、本日はコンテナ 6 個撤去しています。明日も継続です。56u 前面でテトラポット積込、14u 側で透過防止工の交換矢板の設置を実施しています。尚、本日はシルトフェンスの開閉はありませんでしたが、明日は交換矢板を積んだ台船を構内に入れる作業を予定しておりシルトフェンスの開閉を1回実施する予定です。

(1F建築)

先ず、3u R/B 上部瓦礫撤去に伴う準備工事において主変圧器油漏れを起こし、大変申し訳ありませんでした。その関係で工事について今後の対策を検討している段階です。それ以外の工事は、1u カバーで鉄骨建方を行っており、明日も継続です。併せて、明日は水切りも予定しています。4u R/B 上部瓦礫撤去は、人力によるオペフロ瓦礫の片付け、砕石路盤整備を行っています。スラッジ貯蔵施設については、本日、PC盤の搬入・据付と地盤改良を行っており、明日は均しコン打設と地盤改良を予定しています。最後に 14u サブドレン復旧工事については、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

本日ケーブル接続を行っており、明日は試運転の予定です。

(1F発電班)(書画資料)

本日午後、本店にて 4u SGTS トレイン周りの調査を行っています。R/B 各建屋から A 系、B 系を通して排気筒に気体を逃す SGTS 系には中央部に2系統フィルターが付いており、それぞれ高性能フィルター、活性炭フィルターが内蔵された構造になっています。その上流側、真中、下流側の線量を測定しており、A系で上流側 0.1mSv/h、真中 0.5mSv/h、下流側 6.7mSv/h。B系で上流側 0.1mSv/h、真中 0.5mSv/h、下流側 5.5mSv/h。いずれも上流に比べて下流で高い結果が出ています。これは 4u 排気筒側から 3u のダークな気体が入ってきた影響が示唆されているかと思しますので本店にてデータを詳しく調査する事になると聞いています。

(安定化C放出抑制PJT部)(書画使用)

本日はこのような事故を起こしてしまい申し訳ありません。概要について報告致します。場所は 3u R/B と 4u R/B 間の赤い印が付いたエリアに主変圧器があり、こちらで油漏れを起こしています。こちらが主変圧器の作業前の状況になります。朝からブッシング基礎や周辺の瓦礫撤去を始めまして、その後、誤ってラジエーターを撤去してしまいました。こちらがラジエーター撤去後の写真になります。底面にラジエーターに接続されている配管があり、こちらが縦の配管になります。ラジエーター撤去に併せてこの配管を取り、その結果引っ張られ、横配管との接続部にて破断を起こし、ここから油漏れを生じています。こちらは周辺の拡大図になります。このオレンジで囲っているエリアは防油堤で囲まれており、その防油堤の下から漏れ出た油等を集めるための防災用地下タンクがこちらに設置されています。防油堤に漏れた油が防災地下タンクに流れる構造になっているため、現在、主変圧器から漏れ出した油は防油堤の範囲内で収まっているため、外部に対する漏洩は無いものと想定しています。現場の詳しい状況ですが、主変圧器基礎の下に瓦礫等が散乱しており、この外周広くを防油堤が覆っている構造になっています。又、防災地下タンク上部は周辺から撤去している比較的高線量の瓦礫が置かれている状況であり、今後は周辺の撤去等を速やかに行うと共に、汚染拡大しない様に対応をとっていく予定です。明日は、基本的に 3u R/B 上部瓦礫撤去工事はストップしますが、油漏れ対策・復旧作業並びに瓦礫撤去の中で一部構台を作りかけている所があり、安全確保の観点からその補強工事を予定しています。

(安定化C)

油の状況を早く究明しなくてはならないという事と、本日現場に行った人の状況報

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

告でもう少し補足して貰った方が良いと思われます。線量があり、近辺は水・油で非常に泥濘んだ状況では無かったという事です。少し掘るなり、防油タンク上部の瓦礫撤去を早く行い入口から中の状況を確認する等を早く行う必要があります。

(1F)

線量を下げるために瓦礫を撤去するという目的は良いが、作業をする際に周辺対象物の専門家によるチェックが不十分だったと思われます。特に高線量エリアにおける作業では絶対に手戻りしない様、事前検討が基本になるため、他の作業を含めてもう一度徹底したいと思います。このような教訓を次の仕事に生かしていくという事も重要だと思うので宜しくお願い致します。

(安定化C)

建築の方は主変圧器内に油が100t以上入っていることを知っていたのかどうか、その辺りは東電側からの注意事項も含めてまだまだ足りなかったと思われます。又、設備を維持・管理している箇所以外の方が作業を行う際のリスクがあったと思われます。先ず、作業管理上どういった状況だったのか、企業・東電で良く反省するなり、課題を見つける等を進めて頂きたい。

(安定化C水処理PJT)

キュリオンは入口流量47t/h で継続運転中です。サリーも25t/h で運転中です。先程紹介がありました通り、明日、7:00 から14:00 予定でベッセル交換を行います。又、現在、試運転中の蒸発濃縮装置1A,B,C は実液機能試験を行っている最中であり、調整に手間取っており、明日も継続の予定です。

(安定化C冷却PJT海水腐食防止Gr)

先週 19、20 日で4つのSFPサンプリング評価を行いました。これはSFP循環冷却が全て確立して十分温度が下がりしっかり攪拌されたという事で、今後この水質が続き安定した状態で(聞き取れず)。結果を簡単に説明致します。全体の状況は従前に様々な方法で実施したサンプリング結果と概ね同等でした。塩化物イオン濃度、セシウム放射能、ヨウ素等これまでの状況と殆ど変わりませんでした。3u ですが、以前 PH が 11.2 と非常に高い状態のため、7 月上旬にホウ酸水を注入し中和をしており、その際 PH9 まで下げています。今回の測定結果で 9.2 が確認されたため、現状でも PH 中和効果維持が確認されており、良好な状態が続いています。1u は前回 PH が 10 程あり、若干高い状況でしたが、温度が下がりホウ酸が十分溶け込んだという事で、PH が良い方向 (PH8.2) まで戻ってきています。今後、このデータを元に長期的な対策の品質向上を図っていきます。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(本店) (書画使用)

昨日の 3u R/B 上部ダスト濃度測定結果について報告致します。昨日午前中に行った測定は、図中の4点で採取をしています。クレーンで上からダストサンプラを吊り行っていますが、瓦礫があるためホースを下に延ばし、瓦礫の間に入れて採取しています。その際の気象状況はおおよそ北東からの風が吹いており、No1,2 採取時は風速1m/sec、No3,4採取時は風速2m/s 前後という気象状況でした。測定結果は No1,3の順で高く、No1 はセシウムで 10^{-3} でヨウ素も検出されています。No3は 10^{-4} オーダー、No4,3 と少しずつ下がっています。評価につきまして、場所によって濃度の差があることを踏まえて、風向・風速のデータと合わせて放出量評価をしていきたいと思っています。又、同様に1,2u についても測定を予定しており、9 月上旬までに合計2回ずつ程度測定し、データを多く取って放出量の評価に繋げていきたいと考えています。

(安定化C)

No1は少し高めという事でどのあたりを狙ったのか補足説明願います。

(本店)

今回、R/B 上部を真上から取るということで、クレーンが届く範囲を考慮して4箇所決めています。予想として格納容器隙間から蒸気が出ている事を想定して、周辺の所で測定をしました。又、採取時、同時にビデオ撮影をしており、No1 辺りで蒸気の様なものが見えたことからそれも踏まえて、できれば漏洩箇所を想定して放出量の精度を上げることも考えていきたい。

(安定化C)

要するにNo1は炉心の真上に近い所ということで宜しいですね。今後、3 プラントの評価や温度が下がっていく事も含めてその前後での評価をお願い致します。

(原子炉安全評価Gr (書画使用))

3u 流量を $8\text{m}^3/\text{h}$ から $7\text{m}^3/\text{h}$ に絞っており、その後、温度は上昇していましたが、現在はほぼ静定していると考えています。特に着目していたのが、底部ヘッド上部、下部ヘッド温度であり、 $8\text{m}^3/\text{h}$ に絞った時点から見て、それぞれ 5°C 、 4.6°C の上昇になっています。又、24時間で見ると、それぞれ 0.6°C と 0.3°C という事で上昇傾向も段々収まってきていると考えています。明日、CSへの切替ということで、このまま $7\text{m}^3/\text{h}$ で流量を維持することを考えていましたが、予定がもう少し先になるということで、このまま48時間に 5°C を超えないというクライテリアを設けて監視を継

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

続していきたいと考えています。

(冷却PJT部)

3uCS からの注入の変更について、昨日、4uSFP で使用しているフレキと同様のものを使うため、その調査を終えてからということで先送りしていますが、明日から 4u から切り出した試験片の調査に入り、29 日一杯で結果が出るため、その様子を見てから判断したいと考えております。

(本店広報班)

本日のプレス状況ですが、昨日、読売新聞の紙面に 2008 年に当社が津波の試算をしているという記事が載りました。午前中の会見では、事故調でこれから調査する模様のため、当社として説明することは控えさせていただきたいということでしたが、昨晚 6 時からの会見で保安院はある程度の事実関係を言っているのに、東京電力は何故言わないんだということを迫られまして、4 時間本件について質疑に応じています。その後、本日 11 時からの会見では、1 時間半、津波の件でやりとりをしています。2008 年に試算していたのに何故生かされなかったのか、想定外と言っていたのに 2008 年に試算しているという事は隠していたということか、この事実について社内でもどこまでオーソライズされていたのか等、かなり色々な質問が出てきています。本日は 16 時半から統合会見であり現在継続中ですが、冒頭 1 時間はその様なやり取りで終始しています。本日の夕刊を見ますと、枝野官房長官が 2008 年に一度試算が出ていたのは十分時間があつたのではという発言されていたり、今後、本件については厳しいやり取りが続くと思われます。

(1F)

我々は事故調査委員会にしっかりと有りの俚事実を伝えており、色々な形で検証した結果として出るなら良いが、途中の背景も分からない様な断片的な形が出ていって議論されることになると、事故調査委員会へ協力できなくなるということをし、しっかり言って頂きたい。ここは本部としてしっかりとした対応をお願いしたいと思えます。

(西澤社長)

既に事故調査事務局長には途中の段階でこういった形が出ていくことは言語道断ということと、協力もしっかりとしてきたがこういう形では協力できないと強い抗議をしています。向こうとしては、今後十分気をつける、委員関係者にも徹底することです。もう二度とこういう事が無い様にすることが大前提であり、事実事実は事実として我々は示していくという決意でありますので宜しくお願い致します。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(安定化C)

色々な形でヒアリングを受ける方もいると思いますが、中身は検証を得たものということに関わるかと思われます。冒頭の油漏洩については再発させない様徹底していきたい。発電所と協力して作業管理を含めて災害防止に努めて参ります。それでは本日の全体会議については終了したいと思います。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/26(金)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C所長) 26日夜の全体会議を開始します。本日も天候としては、気温が低目という感じで推移しております。作業関係は、継続のものが多くありますが、本日、怪我が発生しております。昨日、3号機の上部のガラ撤去関係で、油が出てしまったということもありまして、作業そのものは縮小気味でやっていたのですが、N2のホースに土がかぶっているということの土を取り除く作業中に、3号機のガラ関係の作業をされている方が右手中指を怪我したということがありました。ここは、怪我の個別のどういう状況かという話以外にも、いろいろとそういう作業をするに關しての、段取りとか、指示命令とかそういったところについての課題があるように感じています。ここの作業をされている企業さんは、昨日の油配管の漏えいも含めて、もう少ししっかりと現場体制を整えるということで、土日については、一旦作業を、現場作業としては、中止をしたいということで、安全管理、作業管理の徹底を図りたいということをおっしゃっておりますので、我々としても、東電側としても東電側の管理、コミュニケーションも含めて、もう一度再徹底するということで進めていきたいと思ひます。後ほど、紹介があると思ひます。いろいろとご心配をおかけしていますが、まずは、手戻りのないことをするためにも、前提をちゃんと作るということだと思ひますし、これから上部のガラ撤去と非常に難しい仕事を進めるわけですので、ここでは一歩立ち止まるのが重要なことと思ひております。それから、水処理関係では、KURIONの出口のポンプが、14時21分に、移送ポンプのA号機のほうが、過負荷トリップをしております。B号機に切り替えて、17時前ぐらいにまた起動して、流量がまだ安定化していないかと思ひますが、起動はしておりますので、また水処理のほうは復帰しておりますが、原因についてはまた個別にちゃんと調べる必要があると思ひております。後ほど、水処理関係で補足したいと思ひます。トピックスとしては、怪我の話と水処理関係の話ですが、後ほど、本店のほうから新福島の信頼性向上関係の作業について紹介があると聞いていますが、また、お願いしたいと思ひます。福島第一さんのほうから、発電所のプラント状況と作業状況について紹介をお願いします。

(1F所長) 本日、ベースは曇り時々雨というような状況でございます。今、小森さんからありましたように、熱中症等々はなかったが1件、ガレキ撤去に伴う右手の指の損傷という事象がございました。全く、小森さんがおっしゃるとおりで、事前のやはり確認とか、もともと、N2の配管にガレキをなぜかぶせたのかということから紐解かなければいけないが、いずれにしても、段取りよくしっかりとやっていかないと、手戻りが起こると、手戻りが起こるとまた被ばくが増えるということをもう一度徹底していきたいというふうに考えております。

(非管理メモ)

本資料は、本部門卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(1F発電)プラントの情報です。1号機ですが、3.7m³/h注水中です。RPVの底部ヘッドで88℃、使用済燃料プールは30℃、ドライウェル圧力は25kPaゲージということで、安定状態にあります。2号機ですが、3.7m³/hで注水中です。RPVの底部ヘッドで114℃、プールの水温は36℃、ドライウェル圧力は15kPaゲージということで安定しております。3号機ですが、現在7.1立米/hで注水中です。現在、RPVの底部ヘッドの温度で108.7℃です。朝の時点で、109.3℃ございまして、そのあと少しずつ上昇してはありましたが、午後あたりから温度の低下が見られるようにありましたということで、今後も継続して監視していきます。プール水温は33℃、ドライウェル圧力0.2kPaゲージです。4号のプール温度は41℃で安定です。

(1F1～4復旧)まず水移送ですが、3号からプロセス建屋へは、ポンプ2台で移送継続中です。2号からHTIへは、ポンプ1台で移送中です。水処理のほうは、SARRYのほうはベッセル交換のため、朝7時半、7時32分から停止中ですが、まもなく、再起動できる予定です。KURION、AREVAのほうは、小森所長からありましたように、14時21分に移送ポンプの過負荷トリップが発生しまして、停止しまして、約2時間半止まりまして、16時54分からシステムの再起動がかかっております。この関係で、水位のほうは建屋のほうは順調に下がっておりますが、プロセス、HTIのほうは上がり傾向を示しております。建屋のほうの詳細な数字は割愛させていただきますけれども、2号のほうで4mm程度、3号のほうで13～18mm程度の下降がみられております。プロセス建屋は、今朝7時から15mmあがりまして、OP5073mmです。HTI建屋のほうは、190mm上がりまして、OP2963mmという状況になっております。そのほかの作業ですが、4号のSFPについて、15m³ほど水張りを実施しております。明日、AREVA、KURION、SARRYを通じまして、ベッセル交換の予定はございません。

(1F5・6復旧)明日の作業ですが、滞留水について、仮設タンク、メガフロートへの移送はありません。なお、本日の作業ですが、先ほど発電班のほうからありましたけれども、6号機の仮設のRHRSポンプの吐出ラインの養生の取り付けですが、作業は実施しているが、全部作業ができませんでしたので、再度計画して実施する予定です。

(1F土木)高濃度ROのタンク関係作業継続となっております。本日、Gダッシュエリア、セシウム吸着塔一次仮置保管のほうは、フェンス新旧の接続を実施いたしました。引き続きまして、旧フェンスの撤去に入っております。ガラ撤去のほうは、2

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

～4号間の4m盤ポンプ室周り継続となっております。本日、9個のコンテナの処理をしております。1～4号機間、1～4号の取水路架橋護岸の杭打ちですが、本日、機械調整のため、杭の打設はございませんでした。シルトフェンスのほうは、本日、鋼矢板の搬入がございましたので、開閉を行っております。明日は開閉の予定はございません。

(1F建築)1号の原子炉建屋のカバーリング工事につきましては、本日、鉄骨建方及び水切りを行っております。明日は、水切りを行った部材に対して、メガフロートから物揚場のほうに陸揚げを予定しております。3号の、建屋上部ガレキ撤去の準備工事につきましては、本日、工台ウエイトの設置および周辺のガラの片付けを行っております。明日は、先ほどお話がございましたとおり、休工したいと思っております。4号につきましては、4号の上部ガレキ撤去工事準備工事につきましては、引き続き周辺の路盤整備を実施します。また、スラッジ貯蔵施設工事につきましては、本日、均しコンの打設が終了しまして、明日は隣の均しコンの打設を実施します。また、先ほどの怪我の件の概要ですが、2・3号機のタービン建屋間の道路路盤整備の中で、配管類を手作業で掘り出していましたが、そのさ、配管の周辺に鉄骨のガレキがございまして、それを手作業でそこから移動しようとして、路盤整備で敷いておりました敷き鉄板との間に指を挟んで、怪我をしたという現象でございます。15時20分に、5・6号サービス建屋の医務室に移動しまして、16時5分にJヴィレッジのほうに向けて出発しております。現在、Jヴィレッジの医師の診断を受けまして、17時32分に労災病院のほうに向っております。

(1F所長)今の件、先ほどの6号のRHRSの養生の件もありますが、たいした話じゃなさそうですが、これも段取りが十分じゃない、事前に現場でどういう段取りでどうやるかということが決まっていなくて、また、現場で予定変更が出て今日ではできませんと、こういう話になっている。全般的に、そういった意味で、今やっている工事をどれぐらい段取りしているか、段取り8分と言いますが、段取り1部ぐらいしかやっていないように感じがするので、もう一度そこ、二つの工事だけではなく他にも含めて、見直していただきたいと思います。

(1F復旧班)18時4分に、SARRYの起動をいたしました。流量24.5m³/hになっています。

(安定化C水処理) ※書画にて説明

本日、先ほど紹介がありましたように、水処理装置のほうですが、セシウム吸着装置の下流にある、処理水を移送するポンプ、A、B、全部で2台ありますけれども、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

このAポンプが運転中に過負荷でトリップしたということで、制御室、それから現場のMCC盤で確認したところ、過負荷のランプが点いていることを確認しております。現場のほうで、MCCのリセットがきくこと、それから念のため、モーター側のほうは保護装置が働いて保護されていますが、念のためメガのほうを測定して異常がないことを確認しております。明日以降、この調査方法について検討いたしまして、原因調査と対応策のほうをとっていきたいと考えてございます。先ほど、方向がありましたとおり、SARRYのほう、ベッセルの交換が終わりまして、インサービス状態となっております。本日はベッセル交換が2回目になりますが、作業員の習熟訓練等行っておりまして、慎重に作業を行ったということで、少々時間がかかってしまい、この時間のインサービスとなっております。蒸発濃縮装置の1A、B、Cでございますが、本日も実液を使いまして、試運転を実施してございますが、ブロワのほうの調整のほうに手間取っておりまして、本日試運転のほうは終了となっております。明日、電源停止が一旦入りますので、明日は実液試験のほうを一旦中断いたしまして、日曜日以降再度試運転を継続して、ブロワの調整、試運転の状況確認をしてまいりたいと考えてございます。

(安定化C所長)ブロワの不調の件については、いずれにしても、インサービスに入る前に、よくデバックしといてもらうことが重要だと思いますので、しっかりと試運転のほうをやっていたきたいと思います。

(本店広報)本日のプレス対応状況について、ご報告申し上げます。本日、11時から12時5分かけまして午前中でございますが、単独会見ということで記者会見させていただいております。記者会見では、循環注水冷却を開始して2ヶ月になるということもありまして、これについてどのように評価しているか、それから、課題について教えていただきたいというご質問をいただいております。このほかの質問につきましては、引き続き、一昨日、昨日と同様に、津波の関係のご質疑が大数をしめておりました。ただ、質疑につきましては、特定の記者さんによる質問と、非常に詳細にわたっての質問ということで、そういった時間が費やされたということでございます。それから、午後の会見につきましては、18時、先ほどでございますが、開始をされております。先ほどいろいろお話がございました、協力企業の方の負傷のお話であるとか、水処理の最新状況についてご報告する予定となっております。

(本店工務部) ※書画使用

新福島変電所の関係で、福一、福二への外部電源の停止について、ご説明させていただきます。2件ほどございます。まず1件目でございます。まず、2号変圧器、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

でございます。現在、放圧弁が割れた状態でございます、放圧弁の修理並びに主変二次側のしゃ断器の修理を計画してございます。実施時期でございますが、8月30日から9月2日の4日間を予定してございます。この間、福島第二に供給してございます、岩井戸線2Lが停止いたします。福島第二につきましては、富岡線の1L、2L、岩井戸線の1L、2Lの4回線で供給してございますが、8月30日から9月2日の4日間につきましては、岩井戸線2Lが停止する予定でございます。この間、万が一、3回線のうち2回線でトラブルが発生しても、負荷的には問題ない状況でございます。さらには、バックアップといたしまして、D/Gならびに電源車を配置して、万全に期す予定でございます。これが1件目でございます。2件目は、新福島変電所4号変圧器の一次ブッシングの漏油修理並びに二次避雷器の修理、それから4号変圧器の二次しゃ断器の調整ということを予定しております。新福島変電所の変圧器、4号変圧器につきましては、ブッシングから漏油をしているという状況でございます。まず1件目はこれを修理したいということでございます。もう1件が、二次側の避雷器でございますけれども、震災直後に避雷器が根元から折れてございまして、現在は撤去した状態でございますけれども、この避雷器を元通りに修理するという工事を予定してございます。工事の期間でございますが、再来週9月6日から9月9日を予定してございます。9月6日の8時から9月9日の18時までを予定してございます。この関係で、夜ノ森線2Lが停止いたします。福島第一につきましては、3・4号機については夜ノ森線の1L、1・2号機につきましては大熊線の2L、東北から東電原子力線が入ってございます。5・6号機につきましては夜ノ森線の1L、2Lから供給してございますが、この間、夜ノ森線の2Lが停止するという状況でございます。所内のほうにつきましては、連係線も含めて、容量的には1回線停電した場合でも問題ない状況でございます。また、あわせまして、D/Gを4台待機して、万全を期す予定でございます。以上が、新福島変電所の変圧器修理に伴います、外部電源のほうの停止でございます。

(安定化C所長)今の新福島さんの工事関係の話は、第一、第二とも連係して、作業関係の計画は詰めてもらっていると思いますが、天候が、台風が来ている関係もありますが、天候が不順の場合はまた変わる可能性があるという認識でよろしいですか？

(本店工務部)左様でございます。大雨が降った状態では、順延させていただきたいと考えております。

(安定化C所長)台風の動向も含めて、来週は天候が不順そうなので、そこはよく調整をして、仕事をやっていただければと思います。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(本店工務部) 適宜調整させていただきます。

(安定化C所長) ちょっと天候が、気温が低いのも、台風が来ているのが気がかり
ですので、その状況も見ながら、着実に工事ができるように、また計画を練ってい
きたいと思います。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/27(土)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00

(安定化C)本日は作業量が少なめであり、継続作業が主であった。

滞留水の蒸発濃縮装置のM/C受電のため、午前中に電源工事が行われ、計画どおりに復旧している。他特記事項はなし。

(1F所長)天候は曇りから晴れになっている。本日は極めて平穏な1日であった。人身事故もなし。

(1F発電)

1号機ですが、3.7m³/hで注水中です。RPVの底部ヘッドで88℃、使用済燃料プールは30℃、ドライウエル圧力は24kPaゲージということで、安定状態にあります。

2号機ですが、3.5m³/hで注水中です。RPVの底部ヘッドで116℃、プール水温は35℃、ドライウエル圧力は15kPaゲージということで安定しております。炉への注水ですが、3.5より下回るようであったら若干上げる操作を実施する。

3号機ですが、現在7.0m³/hで注水中です。現在、RPVの底部ヘッドの温度で109.0℃です。RPV 底部ヘッド上部温度は朝5時で105.8℃、17時で106.5℃ということで0.7℃程度上昇した。継続監視していく。プール水温は32℃、ドライウエル圧力0.2kPaゲージです。

4号のプール温度は40℃で安定です。

5.6号機はトピックスはなし。

(1F1～4復旧)まず水移送ですが、2号機立て坑から HTI へ継続移送中です。3号からプロセス建屋へも継続中です。

キュリオン、アレバ、サリーの水処理装置は順調である。

水位について、2号機 T/B は6mm 下降し OP3508mm である。3号機 トレンチは13mm 下降し、OP3547mm である。4号機 T/B は13mm 下降し、OP3434mm である。

1号機 R/B の水位は7mm 下降し、OP4788mm である。プロセス建屋は4mm 下降し、OP5083mm。HTI建屋のほうは、40mm 下降し、OP2881mm である。

明日の作業ですが、水処理設備のセシウム吸着設備であるが、H ベッセル3棟交換を実施する。淡水化装置の 1A1B1C の蒸発濃縮試験を継続して実施する。

5, 6号機の滞留水について、仮設タンク、メガフロートへの移送はありません。

(1F土木) (センスイシュリウダンノタンカンセッチについて? 聞き取れず) GH エリアを継続実施している。

ガラ撤去だが、4m 盤、3, 4号機のポンプ室脇を実施しており、コンテナ10個分のガラを撤去した。明日も継続実施する。

海関係として、北防波堤の復旧ということでテトラボットの据え付けを実施してい

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

る。

1～4号機の透過防止の設置工事として、2本の杭の打設を実施した。

シルトフェンスの開閉は本日実施していない。

明日も継続である。

(1F 建築) 1号の原子炉建屋のカバーリング工事については、本日、メガフロートから鉄骨部材を物揚場の方へ陸揚げを実施終了している。

明日はクレーンを用いてのダストサンプリングを予定している。

3号の R/B 建屋上部ガレキ撤去の準備工事は本日、明日は休工である。

4号については、本日路盤整備を終了し、明日はクレーンの点検整備を実施する。

また、スラッジ貯蔵施設関係については、本日、均しコンの打設が完了し、明日は次回の打設エリアの準備段取りをする予定。

(安定化 C) 3, 4号機 S/B 休憩所設置をしている。排気ダクト及び吸気ダクトの設置をしているが、9月上旬には稼働できるように土日とも作業を実施している。また、1号機建屋へダストサンプリングを明日実施する。

(本店広報班) 午前中は11時からレクを行った。主なレク内容はなかったが、マスコミからは保安院が発表した放出放射線量の原子爆弾との比較について、東電の認識を聞かれた。回答としては飛散地を単純に比較することは合理的ではないと答えている。また、西門のダストサンプリングが ND であったが、もっと下げることが検討していないのか、延期されている3号機の注水ライン切替について今後の予定、ベッセルの年内の稼働発生予想等、幅広く質問を受けている。

午後は18時から会見をしており、東芝の蒸発濃縮装置の状況、また25日に線量測定をした結果から、3号機から4号機へ SGTS 系を介して水素が逆流したデータを示す予定である。

(安定化 C) 3号機の注水方法を CS へ変更することについて、来週できる準備はしている。

(1F 吉田) 2ヶ月位前からだが、反面マスクの件であるが、まだ進んでいないところがあり、本店側で握っていると思っているが検討の加速をお願いしたい。

(本店保安班) フォローするが、本店が握っているという認識はなかった。

(1F ? 保安班) 反面マスクについてはゴーグルとセットとなっており、ゴーグルにより反面マスクの利用率アップに繋がっていないという状況があるようだ。

(本店保安班) ゴーグルは屋外作業では必須である。以前 KK では目の中にゴミが入った人がいる。距離0で水晶体が被爆するということになる。現場側になると思うが、好条件でないと、外せない。認識としては、例外なく外すことはできないと考えられる。

(1F 吉田) この話のままで、現場でお願いするのではなくて、具体的にどうすれば

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

良いか考えてほしい。

(本店保安班)はい。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/28(日)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C所長)本日も、昨日に引き続き、作業としては少なめということと、継続作業が中心ということでありました。その中でも特記事項としては、1号機の原子炉建屋の上でのサンプリングが、天候にも恵まれ無事終了しています。明日は2号機のブローアウトパネルのところを測定しようということで準備をしています。測定は天候を見ながらということですが、実施をしているということです。それ以外の関係では、水処理の関係、淡水化装置のフィルタの目詰まりということで、ROの1Aが閉止をしましたが、フィルタ交換をしまして、また復帰しています。それ以外は、ほぼ計画通りの状況です。

(1F所長)天候は、本日晴れです。非常に平穏な1日でした。人身災害等もありませんでした。

(1F発電班)1号機ですが、炉注は3.7m³/hで注水中です。RPV底部ヘッド温度で88℃、使用済燃料プール水温度は30℃、ドライウエル圧力は24kPaと、安定しています。2号機ですが、炉注は3.5m³/hで注水中です。RPV底部ヘッド温度で114℃、使用済燃料プール水温度は34℃、ドライウエル圧力は15kPaと、こちらも安定しています。3号機ですが、引き続き7.0m³/hで注水しています。注視していますパラメータで、RPV底部ヘッド温度で109.1℃、これは、昨日から変わっていません。補助的に見えていますRPV底部ヘッド上部温度は今朝5時で106.8℃、12時間後の17時で107.0℃ということで、0.2℃程度、若干ながら上昇しています。これは、継続監視していきます。使用済み燃料プール水温度は32℃、ドライウエル圧力0.2kPaです。4号機の使用済み燃料プール水温度は41℃です。5、6号機は、トピックスはありません。

(1F1～4復旧班)水移送ですが、継続しています。水処理も問題なく継続しています。この関係でT/Bの水位が順調に低下しています。プロセス主建屋は若干の上昇、HTI建屋は若干の下降です。2号機は建屋側が6mmの下降、トレンチ側が5mmの下降で、建屋側はOP3491mmです。3号機は、建屋側が15mmの下降、トレンチ側が13mmの下降で、トレンチ側はOP3514mmです。4号機は、T/Bは15mmの下降で、OP3400mmです。1号機のR/Bは2mmの下降で、OP4783mmです。プロセス主建屋は2mm、今朝より上昇しまして、OP5083mmです。HTI建屋は、49mmの下降で、OP2766mmです。水処理関係ですが、本日、Hベッセル3塔交換しています。明日はSARRYのベッセル1塔の交換が予定されています。ROの1A、通称、水処理エース君の1Aですが、チェックフィルタの交換をしまして、10:54に再起動し、定格の流量に戻っています。4号のSFPならびに3号のSFPに水補給が行われています。作業は基本的に継続ですが、3号の中操デジタルレコーダ、今日(取り替え作業が)ありまして、また明日もありま

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

すので、その前後の温度変化、指示値の変化等をチェックしていきたいと思います。明日から、1号の1Aコンプレッサの取り替えが開始されます。

(1F5～6復旧班)5、6号機の滞留水について、明日、6号T/Bから仮設タンクへの移送を行います。10:00から16:00です。6号で、SW配管フランジ調査としまして、先日ポンプをT/Rしたときに漏洩した箇所を調査します。今後、フランジを切り離して手入れを行って復旧をする予定です。リークテストまで10日程度を見込んでいます。

(1F土木班)汚染水処理のタンク設置ですが、G、Hエリアを継続実施しています。本日はタンクの組み立て、荷下ろし等、本日計画されたものは計画通り終了しています。無人化施工によるガラ撤去ですが、本日、3、4号機のポンプ室脇ということで、コンテナ7個のガラを収容しています。明日、2号機に移りまして2号機のポンプ室廻り実施する予定です。海工事関係ですが、北防波堤の復旧ということでテトラポットの据え付けを終了しています。また、透過防止口の設置工事として、鋼管矢板の打設をしています。本日は1本の鋼管矢板を打設しています。明日ですが、北護岸のテトラポットの据え付けにつきましても、外海から設置していますので、台風の若干のうねりの影響があるということで中止しています。ただし、透過防止口の設置工事は港湾内の作業ということで、予定通り実施する計画です。

(1F建築班)カバーリング関係工事ですが、1号機関係は、本日、ダストサンプリング6箇所実施しました。明日は、鉄骨材の水切りですが、台風が近づいているということもありまして、本日(夜の)11:00 頃、小名浜出港予定ですが、途中で判断が変わるようであれば連絡をもらうことになっています。継続で、オペフロ上部で不要鉄骨の切断になります。3号機関係ですが、本日は工事が休みでした。明日は、先日25日にメインランスのラジエータを、撤去の時に傷つけて漏油をしてしまったということで、明日は、そのメインランスの防油堤内の試掘を行いまして、漏油の状況を確認しまして、対応を考えたいと思います。4号機関係ですが、本日、クレーンの補修です。明日も継続でクレーンの補修と南側ヤードの鉄板敷きになります。滞留水関係ですが、スラッジ貯蔵施設建築工事ですが、本日は、基礎コンクリートの均しコンの打設段取りです。明日は均しコンの打設です。

(1F所長)台風が近づいていますので、こちらでも台風対策まとめていますが、点検、スタンバイの体制について、安定化Cさんと調整させていただきたいと思います。

(安定化C所長)台風関係、ちょっと遅いようで、来週の後半くらいかと思います。海側のうねりがでてくるでしょうし、作業関係についても留意することと、緊急時の体制等については、安定化Cでも一緒に考えていきたいと思います。ダストサンプリングについては未だデータの結果は出ないのですが、明日、1号機については写真等について紹介してもらおうと思います。1号機については本日、6箇所のダ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

スト測定を行っていますので、まとめて明日説明してもらおうと思います。2号機関係については今日、段取りをしていましたので、どういうやり方をするかというのは、他の建物と違いますので、紹介してもらおうと思います。

(安定化C保安環境部)

2号機のR/Bのブローアウトパネル開口部のダストサンプリングについて説明します。採取予定日は8/29、明日の午前中を予定しています。場所はR/B東側のブローアウトパネルの開口部になります。こちらにガター状の引き上げ装置が掛かっていて、これにダストサンプラーの入ったダストサンプリング装置を、ロープを使って引き上げられる最上段および開口部の最下段の2箇所のサンプリングを予定しています。

(安定化C所長)明日の状況については、明日、補足してください。

(本店広報班)本日のプレスへの説明状況ですが、11時と、午後は6時から、東電単独で実施しています。本日は日曜日ということで、作業がなく、特段大きな質問はありませんでした。先日来の津波関係の質問も午前中はありませんでした。午後も作業状況から大きな質問はないかと思います。

(2F)4号機ですが、原子炉の冷却系ですとか非常用の電源とか順次復旧が進んでいまして、順調に復旧が進みました。明日、所員用エアロックを開にしまして、格納容器内の点検に入ろうと思います。明日の朝10:00に所員用エアロックを開するという状況で進めています。

(安定化 C 所長)一旦入るが、点検が終わったら閉めるということですか？もう、開放するのですか？

(2F所長)点検が全部終了したら、また閉めます。

(安定化 C 所長)日曜日の仕事、ご苦労様ですが、全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/29(月)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C■■■■)本日も、現場での作業、各署での業務、お疲れ様でした。週が開けて、本日は広い範囲で様々な作業が展開されています。また、水処理装置ですが、順調に運転をしています。また、本日はSARRYのベッセル交換を、これまでよりも要領よくできたようです。また、非常に重要なテーマであります、放出放射能の測定、その評価につきまして、昨日は1号機におきまして、本日は2号機におきまして、R/Bでの空気のサンプリングを行っています。後ほど、ご報告したいと思います。台風が近づいています。それにつられまして、今、T/Bの汚染水の水位を下げているところですが、その計画についてご報告したいと思います。もう一点、昨日ですが、AREVA、KURIONを通過した綺麗になった水のフィルタを交換しているところで、その水にはγ線の核種は綺麗になっていますが、β線の核種が入ってしまっていて、その水のフィルタの交換をする作業におきまして、β線の被ばく、これが予想以上に高い被ばくが発生するという事例がありました。β線被ばくというのは、体の内部に入っていない被ばくでして、また上限値も、私たちが常時、気にしていますγ線被ばくとは上限値が違いますが、そのβ線被ばくについて何点か反省すべき点があったようです。まだ第一報ですが、この点について皆様に情報共有させていただきます。

(1F所長)天候は、晴れています。穏やかな一日でした。人身災害もありませんでした。作業は結構ありましたが、順調に進んでいます。

(1F発電班)1号機ですが、3.8m³/hで注水中です。RPV底部ヘッド温度で88℃、使用済燃料プール水温度は30℃、ドライウェル圧力は24kPagageで安定しています。2号機ですが、3.6m³/hで炉注を行っています。RPV底部ヘッド温度で113℃、使用済燃料プール水温度は34℃、ドライウェル圧力は15kPagageと、こちらも安定状態です。3号機ですが、7.0m³/hで注水しています。RPV底部ヘッド温度が109.5℃で、若干、小数点以下の値が上昇をみているので、注意してみたいと思います。なお、もう一箇所注意していますRPV底部ヘッド上部温度は朝5時で107.2℃、17時で同じ107.2℃ということで、落ち着きを見せています。今後とも継続監視していきます。使用済み燃料プール水温度は32℃、ドライウェル圧力0.2kPagageです。4号機の使用済み燃料プール水温度は40℃です。5号機は、RHRによる原子炉の冷却と、FPCによるプール冷却を継続中、6号機は、RHRによる原子炉の冷却とプールの交互冷却ということで、異常なく冷却しています。

(1F1～4復旧班)水移送ですが、終日継続しています。水処理、SARRYが7:08から14:25、ベッセル交換のため停止していますが、今、再起動しまして順調に運転中です。水位関係、T/Bは順調に低下していますが、プロセス主建屋は若

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

千の減少、HTI建屋はSARRYの関係で若干の上昇です。2号機はT/Bで6mm、トレンチで8mm下がっていき、高いT/Bは OP3473mmです。3号機は、T/Bで16mm、トレンチで15mmの下降で、高いトレンチで OP3477mmです。1号機のR/Bも順調に下がっていき、4mmの下降で、OP4774mmです。現在、2号はHTI、3号は2台のポンプでプロセス主建屋に送っていますが、明日、2号を違うDポンプでプロセス主建屋へ、3号は今、2台で送っているものを1台にしてHTI建屋へ、という切り替え作業を予定しています。また、水処理のROの1A、昨日、フィルタを交換しましたが、1Bも同様の圧力低下で、今朝7:00に停止しています。こちらも1Aと同様、チェックフィルタの交換が必要な状況です。その他作業、基本的には継続ですが、主なものとして、1号のコンプレッサーは明日取り替えてT/Rを予定しています。コンプレッサーの停止はなく、N2装置への供給には影響はない状況です。高台の炉注ポンプですが、ミニフローライン等の追設工事が行われます。3/4号のS/Bの休憩所ですが、外気処理装置、内部循環装置のT/Rが予定されています。ROの蒸発濃縮装置の1A~1C、本日試運転、良好状態ということで、明日は、ソフトウェアの改造のためROは停止しますので、明後日以降、運転に入ると聞いています。

(1F5~6復旧班) 明日の作業ですが、5、6号機の滞留水について、仮設タンクからメガフロートへの移送、明日はありません。6号機で、SW配管フランジ点検を継続で実施します。

(1F土木班) 汚染水処理のためのタンク設置ですが、G、Hエリアを継続実施しています。本日はタンク設置、モリコート等を実施しまして、計画通り本日の作業は終了しています。明日も継続実施の予定です。無人化施工によるガラ撤去ですが、本日、2号機のポンプ室廻りを実施していき、コンテナ5個分のガラを収納しています。明日は1、2号機のポンプ室廻りを実施する予定です。海関係ですが、1~4号機の透過防止口の設置工事を実施しています。本日、5本の鋼管矢板を打設しています。海関係の工事ですが、うねりの影響が若干でありますが、港湾内は作業ができる状況になっています。明日は鋼管矢板の打設を継続実施ということで予定しています。

(1F建築班) 1号R/Bカバー工事ですが、本日は、鉄骨の海上輸送、水切りを完了していき、明日はメガフロートからの陸揚げ作業を予定しています。南面の外壁面での鉄骨の切断作業、明日も継続で実施します。3号R/Bの上部ガラ撤去ですが、南側ヤードの防油堤内で試掘調査、明日も継続で実施します。4号R/Bの上部ガラ撤去ですが、敷鉄板の敷設、高所作業用の重機にステージの取り付けが本日完了しまして、明日はオベフロの片づけ作業にはいります。これは、プールまでの動線確保のための片づけ作業になります。それから、敷き鉄板の敷設、鉄板溶接の継続作業になります。スラッジ貯蔵施設ですが、本日は、レベリングコ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ンクリートの打設を行っていますが、明日も、レベリングコンクリートの打設、(聞き取れず)の段取り作業を行います。

(安定化C) 水位を低下させる計画について報告します。

(安定化C滞留水移送G) (書画を使用) 現在、2号の水位は約3500、3号は3520、プロセス主建屋の水位は5100、HTI建屋の水位は約2900になっています。SARRY の試運転終了後、SARRY の単独運転を開始しまして、3号を優先的に下げるといことで、3号を2台、2号を1台、3号はプロセス主建屋、2号はHTI建屋に現在、送水をしています。その結果、3600近傍、もしくはそれを越えていた水位が、現段階で、2号は3500弱、3号は3250まで下がっています。3号が計画通り下がってきましたので、明日、今度は2号を優先的に下げるといことで、2号の移送を増加することを考えています。2号の移送を増加させますので、3号のポンプを1台停止します。2号は、AからD、DポンプはAポンプの約1.5倍の能力がありますが、AからDに切り替えまして、移送先をHTI建屋からプロセス主建屋、それに伴いまして、3号を2台から1台に減らして、移送先をプロセス主建屋からHTI変更に変更します。明日からは、2号の水位低下を優先させます。ちなみに、8/31、サイトバンカーの滞留水をプロセス主建屋に移送する予定になっています。サイトバンカーの水位を再度確認しまして、移送を計画します。

(安定化C) (書画を使用) R/B上部サンプリングの状況について報告をお願いします。

(安定化C環境影響評価G) (書画を使用) これは、先週の3号機、昨日の1号機の採取装置を写した写真です。金属製のかごの中にダストの採取装置を2台積んでいます。この上から出ているホースを下に垂れ下げまして測定をしています。2台積んでいるのは、1回の吊り下げで2回続けて測れるように、2台積んでいます。奥は発電機です。これで電源を供給します。この装置を大型クレーンで吊り下げまして、かご、ホースが下がっていて、採取をしたという状況です。以前よりもR/Bの直上部でサンプリングをしました。結果は、昨日の1号機は、原子炉の上では4点、機器ハッチのところでは2点測っていますが、現状、機器ハッチの上は瓦礫が覆い被さっていて、側面に開口部がありますので、横で2箇所測定をしています。測定結果ですが、6点ありますが、この中で③は再計測値とありますが、ほぼCs-134とCs-137が同じ数値をこれまでの結果でも示していましたが、今回③については少し差が大きかったため、再測定をしました。その結果、Cs-137はほぼ同じ値でしたが、Cs-134は1.4倍が得られましたので、そちらを採用しています。全体で見まして、①～④の原子炉の上部で見ますと、③のCs-137の 1.1×10^{-5} が一番高い値となっていて、これは先週やりました3号機では一番高い値が 1.0×10^{-3} でしたので、約2ケタ小さい値となっています。その他、機器ハッチの横で採りました⑤と⑥は、-4乗、-5乗と少し高い値が出ていますが、こ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

れらについて今後評価していきます。本日、午前中に2号機のブローアウトパネルの開口部においてサンプリングを行っています。はしご状のものの先に滑車がありまして、ロープに採取装置を吊り下げて開口部まで近づけて測る方法をとっています。袋状、かご状のものの中に電池式のサンプリング装置を入れまして、上部と下部の2箇所測定しています。結果については分かり次第、報告します。

(安定化C[REDACTED])大変な作業ですが、非常に大事な測定ですので、続けて測定が計画されています。また、評価をしっかりと願います。最後に、β線被ばくということがありました。若干、反省するところがありましたので、ご報告します。

(安定化C水処理PJ部)(書画を使用)昨日、午前中10時～11時30分頃ですが、水処理エースというRO装置の1A、片割れの方の一つの部品ですが、保護フィルタの差圧が高くなってしまったので、処理ができなくなって止まっています。本日、同じように1Bも差圧が高くなりましたので、交換しなければいけないということで、昨日、交換作業に入りました。そのときの作業になりますが、午前中、ヤードで作業をしました。当社の社員3名が全面マスクにγ、βの線量計、水を扱いますので下のカップを着用しました。また、手袋3枚重ねにし、水についての意識をもって作業をしたのがAとC、作業員Bについては、タイベックを着ていましたが、直接水にかかわらずに取り外したカートリッジを収納、カートリッジをまとめておく係をしていました。β線ですので、管理値は1000mSvという事故時の対応基準がありますが、一昨日の線量としましては、17から23という線量を計測しています。状況ですが、ROの保護フィルタがありまして、RO装置の前に大きな筒に入っているフィルタの集合体、それを横から見ますと、まだ水が入ってまして、その水をろ過して正常な水をRO側に導きますが、キャップを外しながら集水管とフィルタを取り替えるという作業でした。写真は、フィルタの蓋を外したところですが、装置はこのフィルタが18個、縦に並んでいますが、中に水が内包されてまして、水に手を付けながらキャップを外して一つずつ交換するという作業でした。水廻りの作業ということで、カップを着ながら手袋を3重にしていますが、もともとRO側にはKURION、AREVAを通した、セシウム等は吸着されていますが、ストロンチウム等のβ線源が含まれてまして、その線量が無視できないということで、β線の意識はもっていて、γ、βの線量計を持っていきましたが、一部の人間はタイベックしか着ていなかったり、もしくは、カップを下だけ着ていなかったり、上半身は線量計を付けていますので、その上半身の線量計がキャッチしたということです。やや、水に溶けているβ線に対する被ばく防護、そういった観点が少し足りていなかったということです。当社の社員3人でやったため、放射線管理部門ときちんと相談するなり、全体を確認して作業に望むなり、しておけばよかったと反省しています。トラブルの停止でありましたので、少し先走って作業を進めてしまったということです。今後につきまして、同じく1Bも交換しなければいけないので、これにつきま

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

しては、事前の手順、防護のありようをきちんと算段、こちらも今、停止していますので、迅速に対応していきたいと思っています。

(安定化C■■■■)B系の作業は確実に再発防止対策をお願いします。

(1F所長)今の件でお願いがあるのは、β線被ばくももちろん下げなければなりませんし、装備上の話もありますが、水の分析、KURION、AREVA を通った後の水にストロンチウムがあるのであればあるという認識で作業をしないとまずいです。それ以外の核種も含めて、しっかり核種の確定をしておいてもらわないと、被ばく、取り込みが怖いわけで、丁寧に分析をやる必要があると思います。

(安定化C水処理PJ)水質分析につきましては、定期的に実施し公表させてもらっていますが、作業管理をして、RO廻りの水質を見ていくということを痛感しました。

(本店保安班)先週、ちょうど、SARRY、KURION 中の水質を確認しようということで、ストロンチウム、トリチウムを含めて分析をする計画を今、立てているところだと思います。スピードアップして水質評価をしたいと思います。

(本店広報班)本日のプレスへの説明状況ですが、11時は当社単体会見で、約20分でした。内容は、2Fの4号機の格納容器内部の点検で、それに関して2、3質問がありました。なぜ4号機か、どういう目的で入るのか、でした。4時30分からは合同記者会見でしたが、細野大臣の出席がありまして、今、現在説明中です。本日は農水省他にも来ていただきまして、食品モニタリング等の説明をしていただいています。当社からは、β線の被ばくに関しては、時間が間に合えばしっかり説明していきたいということで、ご協力いただいています。管理はどうだったのかとか、作業員への影響ですとか、同様のことが他にもないかどうか、なぜ本日発生したのか、などですが、今日しっかり説明できないところは明日になりますが、ご協力をお願いします。

(細野大臣)今日、民主党代表選挙がありまして、新しい代表が決まりました。それに伴いまして、明日の朝、現内閣は総辞職となります。私がこうしてご挨拶するのもこれが最後の機会となります。3/11以降、特に6月までは海江田大臣のもとで仕事をさせていただきました。7月からは、園田大臣政務官と私とで、担当させていただきました。いたらない我々でしたけれども、皆さんに支えていただいて、何よりも皆さんのがんばりによって、よく3/11からここまで来たと思っています。心より感謝申し上げたいと思います。もちろん、この収束は東京電力と政府とが共同作業でやっていかなければなりません。今日はオフサイトセンターの官僚の皆さんも聞いておられると思いますが、内閣の移行に伴って政府関係者が関与を緩めるとか、また、途中で空白ができることが絶対ないように、是非、関係者に強く要請したいと思います。その上で、当然、これは政府も係わらなければならない課題でありますので、しっかりと私どものほうで引き継いで、我々のほうも空白なく新しく担当するメンバーに引き継ぎたいと思いますので、是非、ご理解をいただきたいと思い

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ます。最後になりますけれども、まだまだ厳しい環境が続くと思います。福島ของ皆さんも、東京の皆さんもお体に気をつけて、体を大事にさせていただいて、収束に向けて是非がんばって頂けますように、心よりお願い申し上げます。お世話になりました。ありがとうございました。

(勝俣会長)細野大臣、ありがとうございました。ある意味ここまで原子炉が収束できたもの、細野大臣の本当に精力的な(聞き取れず)のおかげ、お力添えのおかげと思っております。代表してお礼を申し上げます。ありがとうございました。また、今後もしろいろな課題があります。今後とも、よろしくお願いします。

(細野大臣)ありがとうございました。

(2F ■■■)本日、4号機の格納容器内の点検に入りました。10:00からパーソナルエアロックを開けまして、10:30~11:10まで、内部の状況を確認するためのサーベイを行ったというのが本日の主要な作業です。放射線量とか、中の汚染の度合いというのは、通常の定期検査の時に格納容器を開けて入ったときとほぼ同等のものでありましたので、特に問題になることはありませんでしたが、ペデスタルと呼ばれるドライウェルの下部のところに相当水が溜ってしまして、この水が、今の我々の想定ですと、PLRのところのドレン弁がIAという空気、バルブを操作する空気がなくなったために開放されてずっと水が出ていて水が溜ったものと考えています。明日以降、量とか、実際に溜った原因をしっかりと見極めていきたいと思ひます。それを終了後、実際の点検作業に入っていこうと思ひています。もう一件、本日、2Fの方で熱中症を発症させてしまいました。申し訳ございませんでした。午前中、4号機の熱交で作業をやっていた方が、具合が悪くなりまして、福島第二の産業医によって点滴を行った後、Jヴィレッジさん経由でいわき共立病院に搬送していただきました。いわき共立病院で点滴を受けて症状が回復して、夕方4時頃にはご帰宅されたと聞いています。体調管理、作業管理、もう一度しっかりとやっていきたいと思ひます。

(安定化C ■■■)8/29の統合本部全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/30(火)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C■■■■)本日、現場での作業にあられた皆様、各部署で仕事にあられた皆様、お疲れ様でした。本日は、午前中に2号機から水処理設備への移送ポンプをこれまでのものよりも大容量のポンプに切り替えまして、その結果、2号機の水位が順調に下がってきています。これに関連しまして、3号機から移送していたポンプ、これまで2台で移送していたものを1台に切り替えましたので、3号機の水位の低下は鈍化しています。その他、本日も土木、建築、機械、電気、敷地内外のダスト濃度の測定など、広範囲の作業が行われましたが、トラブルもなく順調に作業が行われました。

(1F所長)本日は、晴れでかなり暑かったですが、熱中症、人身事故はありませんでした。作業も順調に進んでいます。

(1F発電班)1号機ですが、3.6m³/hで注水を行っています。RPV底部ヘッド温度で87℃、使用済燃料プール水温度は30℃、ドライウェル圧力は24kPagageで安定状態にあります。2号機ですが、3.4m³/hで注水を行っています。RPV底部ヘッド温度で113℃、使用済燃料プール水温度は33℃、ドライウェル圧力は15kPagageと、安定状態にあります。原子炉の注水量が3.5m³/hを下回る状態がありますが、若干振れがありまして、まだ3.5m³/hと読めるときもありますので、もう少し下がってから注水量は上げ操作したいと思います。3号機ですが、7.0m³/hで注水中です。RPV底部ヘッド温度が119.3℃で、RPV底部ヘッド上部温度が107.1℃ということで、落ち着いています。使用済み燃料プール水温度は32℃、ドライウェル圧力0.2kPagageです。4号機の使用済み燃料プール水温度は40℃です。5、6号機は、特にトピックスなく冷温停止状態です。

(1F1～4復旧班)SFP関係ですが、本日、3号機でヒドラジンの注入を実施しています。4号機は、スキマーサージタンクの補給を実施して終了しています。水移送関係ですが、2号機の立坑からプロセス主建屋、HTI建屋に移送していたものをプロセス主建屋に移送先を変更しています。3号機は、プロセス主建屋からHTI建屋に移送先を変更して、2台運転から1台運転になっています。水位関係ですが、2号機はT/Bで15mmの下降、トレンチで16mmの下降です。3号機は、T/Bで2mmの上昇、トレンチで12mmの下降です。若干、T/Bで2mm程上昇しましたが、従来40t程度で移送していたものが20t程度になりましたので、その平衡状態に至る過程になっているものと思われます。4号機は、T/Bで12mmの下降です。水処理装置関係ですが、KURION、AREVA、SARRY、順調に稼働しています。本日、ROと蒸発凝縮装置のシステムの操作を可能にするソフトの改造を実施していますが、無事終了してしまして、ROと蒸発濃縮装置が起動しています。Hベッセル3塔交換実施しています。本日、2号機と3号機のデジタルレコーダー

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

の入力点入替作業を実施していますが、終了後に、若干、データに変動が見られています。実際、中操にあがってるデータは問題ありませんでした。実際、起電力関係も特に問題ないことを確認していますので、明日、詳細調査をしたいと思います。データが若干ずれたデータは、RPV上部温度、RPV下部温度、ペデスタル温度等、詳細に調査したいと思います。

(1F5～6復旧班)メガフロートへの移送、T/Bの地下から仮設タンクへの移送、今日も明日も予定がありません。

(1F土木班)タンクの設置工事ですが、G、Hエリアにて継続してタンクの工事中です。無人重機によるガラ撤去ですが、OP4mにてガラの撤去を行っています。明日も同じエリアでガラの撤去を予定しています。海の工事の関係ですが、1～4号機の透過防止口の設置工事で、鋼管矢板の打設を実施しています。明日も実施する予定です。シルトフェンスの開閉はありません。5、6号機の港湾の全面で行っています消波ブロックの据付けですが、台風の関係で、本日は休工、明日も休工の予定です。

(1F建築班)カバーリング関係ですが、1号は、昨日に引き続き、南側鉄骨の撤去、昨日水切りしました鉄骨部材をメガフロートから移動させています。3号ガラ撤去関係は、主変圧器の油の漏洩に伴って、本日、現場調査を実施しましたが、まだ油の溜りのところまでいっていませんので、明日も引き続き調査を継続します。また、今回、原因となりました設備に対する認識不足、コミュニケーションエラー、現場の見える化等について、本日、末端の作業員まで説明会をしまして、明日から作業を再開する予定です。4号については、大々的な瓦礫撤去に先駆けて、オペフロ上の瓦礫の片づけを人力で本日も行っています。また、周辺ヤードで鉄板敷き、ヤード整備を実施しています。スラッジ貯蔵関係は、こちらも継続作業ですが、スラッジ塔の方で盛り土、配筋の段取り、設備塔の方で継続的な均ししコンの打設を本日も実施しました。また、イントラ上でアップしていますが、9/1夕方4時から、ガラの運搬を開始します。主に海側を通りまして、6号の北側から土捨場の方に中ダンプによって移動させますが、先導車等、安全に十分注意しながら行いますので、ご協力をお願いします。

(安定化C[REDACTED])過日より、4号機のプール冷却のステンレスの配管、フレキシブルの配管でリークが生じていましたが、部材を先週末から切り出して調査をしています。その結果について報告します。

(安定化C冷却 PJ 部) (書画を使用) 4号機の使用済み燃料プール循環冷却のシステムの系統図ですが、漏洩の発生箇所はプールから熱交換器へ行くラインのストレーナの手前のところと、熱交換器を通してプールに戻る戻りラインのポンプを出た後のところで漏洩が発生しています。漏洩が発生しているフレキシブルチューブの漏洩箇所ですが、フレキシブルチューブの断面図ですが、フレキシブルチ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

チューブの外観の写真です。漏洩が発生しているところは、ベローズとラップジョイントというところの溶接部ですが、こちらは拡大した図ですが、ラップジョイントのところにピンクに塗っているベローズのところが溶接されていますが、ここから漏洩が発生しているということで、漏洩の方は溶接部から発生しまして、ベローズ本体には腐食、孔食は認められていません。フレキシブルチューブですが、先週、漏洩した箇所のテストピースを切り出して、波面を観察しています。こちらは切り出したテストピース、一つの溶接部のテストピースの写真ですが、先程の溶接線を、円周状の溶接線を広げた図ですが、B1、B2というところをテストピースで切り出してまして、B1の写真がこちらです。こちら、切り出したところがこちらの写真で、その側面から見たのがこういう写真になっています。B1の部分では、漏洩がでていまして、それを拡大したのがこちらの写真になっています。漏洩箇所の中を更に拡大したのがこの形になっています。その原因ですが、いろいろ要因分析表を作りながら絞り込んでいまして、フレキから漏洩ということで、もともと仕様があっっていなかったとか、溶接、材料の不良とか、継手の不良、外的要因というところで、可能性として一番大きいと考えたのが腐食というところで、分析表を作りながら一つ一つ潰し込みをかけています。現時点で漏洩の可能性で一番大きいと考えているのが腐食のところで、腐食のところは、孔食と呼ばれる腐食と微生物腐食というものが可能性として考えられますが、微生物の方はプール水の方をサンプリングして既に分析をかけていまして、この結果を踏まえると、微生物の腐食の可能性は少ないと考えていまして、今のところ結果を踏まえますと、孔食による腐食で穴があいてしまったと原因を特定しています。他の部分についても、テストピースを切り出していますので、順次、他の部分も波面観察を継続してやっていきたいと考えています。それから、3号機のCSからの炉注のラインの切り替えを当初、先週からやろうと考えていましたが、SUSのフレキシブルチューブを3号機のCSのラインに使いますので、4号で起きたような漏洩がないか、というところを評価するということで、一旦、CSのラインのホースの敷設を待ちました。今回の結果を踏まえた結論は、4号のプールの環境が、塩素が2000ppm、当初はプールの温度は80℃と高い温度なので、孔食が発生しやすい環境であった、一方、現状の3号の炉注水の水ですが、塩素が20ppm、温度も40℃以下ということで、塩素濃度が低くて温度が低いので孔食は発生しないと考えています。その根拠ですが、参考文献のグラフをもっていっていますが、横軸が塩素濃度、縦軸に温度ということで、CとかBとかアルファベットのマークですが、Cはクラック、Bはピittingということで孔食ということで、グラフの見方としては、塩素濃度が高く、温度が高い、このような環境ですと孔食が起きやすい、逆に、塩素濃度が低くて、温度が低い程、孔食は起きにくいということで、4号のプールの環境ですとこの辺、一方、現状の3号のプール水の環境ですと、この辺ということで、3号の今の環境であれば、孔食は起きないと

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

考えています。3号のCSのホースの敷設ですが、4号とは環境が違ってすぐに孔食は起きないということで、今の結果を踏まえまして、ホースの敷設を明日31日に行いまして、9/1からCS系による注水を実施していくということで計画を立てています。

(安定化C) 2号機のダスト測定結果の報告をお願いします。

(安定化C環境影響評価G) (書画を使用) 昨日行われました、2号機のR/Bの上部のダスト測定値の速報ということで報告します。これは、2号機の開いているところはブローアウトパネルです。採取点は2箇所採取しまして、①と②の開口部、中央付近ですが、2箇所です。ダスト採取をしました。その結果としては、対象核種としてはヨウ素とセシウムについて報告しますが、ヨウ素は2箇所とも検出されませんでした。セシウムは、ほぼ同様な値ですが、②の中央部の方が少し高めの値で $1.5 \sim 1.6 \times 10^{-3} \text{ bq/cm}^3$ です。現在、これにつきまして放出量の評価を始めたところです。結果がでましたら報告します。

(安定化C) 測定、大変お疲れ様でした。

(安定化C水処理PJ部) 明日もベッセル交換を予定しています。AREVAのエバポレータ、蒸発凝縮装置ですが、明日、いよいよインサービスということで、試験を全て終えて完了しています。

(本店広報班) 本日のプレスへの説明状況ですが、本日は11時と午後は6時から当社単独会見でした。11時からの説明につきましては、いろいろ議題がありまして、2時間程度のやりとりとなっています。一番メインは、昨日からありました、β線の被ばく関係です。これについては、今朝の主要紙に、それぞれ、作業中に社員2名が被ばくしたということで記事になっていまして、その後の状況についてもやりとりがありました。内容は、アラームが鳴ったのに気付いたのか、なおかつ作業を続けたのか、現場管理がどうなっているのか、そういった類の質問がメインでした。もう一つは、福島第一の作業をやった方が白血病で亡くなったという事実がありましたので、参考情報でお知らせしています。作業に起因するものではないということで医師の診断をいただいていますので、プライバシーを侵害しないように限られた情報の提供でした。従って、ある意味では記者のフラストレーションが溜ってしまったのですが、記事としては、今日の夕刊に載っている程度です。なぜ当社から発表したかということ、このまま発表しないで、という手もありましたが、どこかから情報を仕入れて、それが一人歩きして、東電が隠したんじゃないかということが危惧されましたので、当社から事実関係を淡々と説明するというスタンスで発表しています。他には、昨日の2Fの4号機の格納容器の溜り水についても紹介しています。なぜ溜り水ができるのか、ということが中心のやりとりでした。その他、今日、報告がありまして、新耐震指針に照らした耐震安全性評価について、保安院から報告徴収を受けていまして、内容としましては、3/11の地震の状況を調べて、耐震設計

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

上、考慮すべき断層の可能性が否定できないものがないかどうかということです。また、基準地震動の影響がどうであったか、あるのかないのか、ということを報告するように言われています。結果としては、5つの断層についてあったのですが、基準地震動にはならないということにしています。これについても2, 3質問がありました。最後に、核種分析結果の確報版、これについて誤りがあったということで数が多かったのですが、基本的には転記間違いということで、これについては、間違っ

て報告してしまったということで、保安院からも注意を受けています。その他の公表につきましては、ダストサンプリングの結果と、1F/2Fの台風対策、これも説明する予定です。

(安定化 C ■■■) 広報から様々なトピックスについて報告いただきましたが、お願いが一つあります。いくつかのテーマについて、例えば、断層の件については、本店の担当部署から報告いただければ、この会議に参加している人がもう少し理解できたかと思います。

(2F ■■■) 本日、福島第二の2号機ですが、高圧炉心スプレイ系の水を冷却する冷却システムがありますが、その配管の中に溜っている水を、鉄の濃度が高くなってきたということで、調整運転をして水を入れ替える作業をしていました。高圧炉心スプレイ系の機器を冷却するシステムの中の水を置換しようとしたのですが、置換するための冷却系を更に海水を使っている冷却するシステムがありまして、そちらのモータの電氣的な故障によりまして、HPCS系の機能を喪失するという状況になりました。実際には、10:46に運転を始めまして、2時間後の12:59に電源設備の地絡という警報が出てトリップしまして、調査の結果、14:10にHPCSSポンプのモータの故障という形で確認できました。絶縁の不良が確認できましたので、工場で調査することにしますが、このモータが安全上重要な機器の故障ということで通報しました。ただし、現在、2号機は冷温停止中で、保安規定上の注水機能としては、このHPCS系がなくても満足している状況です。プラントとしては特に問題ないと思いますが、重要な機器の故障ということで、今後しっかりと調査したいと思います。大量に水の入った熱交換器建屋にあるモータですので、点検の結果、特に異常はなかったのですが、その後の環境の変化もあると思います、しっかりと調査した上で、対策を立てたいと思います。もう一件、台風対策を兼ねまして、福島第二の2号機と4号機の注水機能を期待していますRHR系をA系からB系に切り替えます。これは、A系は岩井戸線という外部電源からとっているのですが、その後、仮設の電源で発電所の構内を引き廻しています。これを本設の電源がしっかりとあるB系に切り替えるという作業を実施します。それによって、バックアップの電源の信頼性が十分期待できるという状況になると思います。2号機で3時間、4号機で1時間、切り替えのため停止を計画していますが、14:00頃から作業を始めて、2号機で9℃の炉水温度上昇、4号機で2℃の炉水温度上昇と評価しています。また、作

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

業前、終了後に、連絡させていただきます。

(安定化 C [REDACTED]) 8/30の統合本部全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<8/31(水)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C所長)本日は、水処理の方で、AREVA の装置ですが、スラッジの移送ポンプのところから漏洩があったということで、後ほどご紹介しますが、この2つスラッジで沈殿させる槽がありまして、後ろの方のアクチフローという装置ですが、こちらの移送ポンプから漏洩がありまして、ポンプの切り替えでは止まらないということで、後段側の装置をバイパスするということで、運転は継続している状況です。後ほどご紹介します。状況については、線量もありますので、現場の状況の確認はこれからということになります。3号機の原子炉の注水ラインということで、CSの上の方からラインを作って本日、作業をしています。漏洩確認等が終わりましたら、明日、炉注を上の方から開始したいということで段取りをしていますので、後ほどスケジュール感も含めてご紹介します。その他、何点か後ほど報告することがありますが、台風の進路が非常に気になる場所でありまして、かなり進行が遅いので、こちらの浜通りにかかるとすると、今度の土、日当たりが暴風圏にはいる可能性があるということで、現場のパトロールとか、タービンの大物搬入口の土嚢積み、水が入らないように発電所と協力して、発電所は発電所、安定化Cの方も自分たちの設備に係わる場所の点検をやっていくという状況です。そのあたりは明日、纏めてお話しできればと思います。トピックス的な話は以上ですが、海側の作業はいずれにしてもうねりがかなり強くなっていますので、作業については海側が当面中止という状況です。

(1F所長)天候は薄曇りという状況でした。本日の人身関係ですが、一人、休憩所で気分が悪くなられたということで、これは特段、熱中症ということではなくて、ご本人の健康の関係だと思っています。もう一つ、水処理関係でベッセルの洗浄に伴いまして、一人の方が水を被ったということで、装備はアノラックなし、タイベックだったものですから、汚染したということで、これについても後で報告があると思いますが、やはり、水を被るといった可能性を全面的にきちっと考えて装備をしていくということが基本かと思っていますので、各作業毎にきめ細かく指導していく必要があると考えています。台風の件ですが、多分、3日の午後から4日にかけてくらいということですが、波高という意味では、土木の方で報告があると思いますが、3日に波高10m、通常の潮位+台風の高波で足して10mくらいが最大波高かなと考えています。これも、その波高を考えていろいろな対策を検証していく必要があると思います。

(1F発電班)17時のデータですが、1号機ですが、原子炉へ3.6m³/hで注水中です。RPV底部ヘッド温度で88℃、使用済燃料プール水温度は30℃、ドライウェル圧力は25kPagage で安定しています。2号機ですが、原子炉へ3.8m³/hで注水中です。RPV底部ヘッド温度で114℃、使用済燃料プール水温度は34℃、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ドライウェル圧力は15kPagage で安定しています。3号機ですが、原子炉へ7.0 m³/hで注水中です。RPV底部ヘッド温度が109.4℃で、RPV底部ヘッド上部温度が106.9℃で安定しています。使用済み燃料プール水温度は32℃、ドライウェル圧力0.2kPagage です。4号機の使用済み燃料プール水温度は40℃です。5、6号機は、引き続き冷温停止中で、パラメータ等、特に変化はありません。

(1F1～4復旧班) 炉注水関係、特に調整等ありません。SFP関係の補給等の作業もありませんでした。水移送関係ですが、2号機は立坑からプロセス主建屋へ、3号機はHTI建屋へ移送中です。水位の方ですが、2号機はT/Bで17mmの下降です。トレンチで17mmの下降です。3号機は、T/Bで1mmの上昇です。トレンチで7mmの下降です。4号機は、T/Bで22mmの下降です。3号機のT/Bの1mm上昇につきましては、バランスがとれる過程かと思います。引き続き監視していきたいと思います。受け入れ側の集中ラドですが、プロセス主建屋で29mm下降して、OP4982、HTI建屋で7mm下降して、OP2707で順調に下がっています。滞留水処理装置関係ですが、廃スラッジポンプの入口側からリークしているということで、現在はアクチフローをバイパスして水抜きが完了していると、水が止まったことを確認しています。Hベッセルについては3塔交換済みです。明日、SARRY ですが1塔交換予定です。本日、蒸発凝縮装置、エバポレータの1Aから1Cにつきましてインサービスになっています。3号機のCSライン切り替えについては、明日、リークチェックを実施して台風の状況を見ながら作業をする予定です。

(1F5～6復旧班) メガフロートへの移送、本日ありません。T/Bの地下から仮設タンクへの移送もありませんでした。明日ですが、メガフロートへの移送はなし、T/Bの地下から仮設タンクですが10:00から16:00に行う予定です。

(1F土木班) タンクの設置工事ですが、G、Hエリアでタンクの設置工事中です。明日も天候等を見ながら作業を実施する予定です。無線重機によるガラ撤去ですが、OP4m盤のポンプ室廻りで本日はコンテナ3個のガラの撤去を行っています。明日も作業をやる予定です。海の工事に関しましては、1～4号機の透過防止口の設置工事で、鋼管杭の打設は本日実施しています。明日については、台風の養生ということで、作業を休止して養生を実施する予定です。テトラポットの据付けについては、昨日以降、台風の影響ということで休工、明日以降も休工という予定です。台風の対策ということで、明日は養生等を実施することと、台風対策の点検、一部、開口部の養生等。実施する予定です。今後の波の予想ですが、明日は、最大で5m、有義波高で3m、金曜日は最大で8m、有義で5m、土曜日は最大で10m、有義で9mで、大体そのような形で徐々に波が大きくなっていますが、進路によって変化していくと思いますので、予報によって対応していきたいと思います。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(1F建築班)1号カバー工事につきましては、本日、南側の鉄骨の切断撤去、ならびに鉄骨建方準備を行っています。明日、引き続き鉄骨建方の準備を行います。3号機のR/B上部のガラ撤去の準備工事につきましては、本日、主変圧器の絶縁油漏れ箇所の防油堤内の試掘調査を実施していきまして、漏れた周辺での試掘から湿り確認まではできていますが、明日も引き続き調査を継続します。合わせて、周辺ヤードの整備と、地組ヤードでの高台搬入組立を継続で行っています。明日も継続です。4号機のR/B上部のガラ撤去の準備工事につきましては、オペフロの瓦礫の片づけ、南側ヤードの敷鉄板を行います。3号廻りの瓦礫の運搬を明日の17:00以降、37tの大型ダンプで運搬作業を明日夕方以降開始をします。土捨場までの道路を通行規制しながら行う予定です。滞留水関係のスラッジ貯蔵施設の設置工事につきましては、スラッジ塔の方で配筋の段取り、埋め戻し、設備塔の方で本日、均しコンを打設して、明日、L型のBC板の搬入を行います。

(安定化C水処理PJ部)身体汚染、発生させまして申し訳ございませんでした。本件は、使用済みのベッセルの中の水が、温度があがってきたときに逃がすためのホースを付けて水を回収していますが、そのホースを外す手順の段階でミスがありまして、その水を被ってしまったということです。作業員の人に分かりやすい図解があるような手順書、あるいは中の状態が分かるような事前説明ができるような資料をもとにどんな作業をやっているかが分かるような説明を今後考えていって、やっている作業の意味、扱っている水がどんな水か、ということを理解していただきながら作業ができるように今後していきたいと思います。ご面倒をお掛けしました。

(1F所長)水を扱うところはアノラックを着るとか、原理原則をきちっと決めておく必要があるので、よろしくお願いします。

(安定化C所長)身体汚染の件は、言われたとおりリスクを考えということですが、一個ずつの仕事で考えるリスクもありますが、基本的な装備とか、基本動作とかで守らなければならないものもあると思います。定例的にやっている仕事でもしあるならば、装備とかアノラックを着るとかを含めてやっておくといふかなと思います。逆に、違った仕事とか、漏洩で何か対策をとらなければならないといったものは、現場が変わるので、より慎重な装備等が、事前のモニターが必要になるということだと思います。水処理関係ではいろいろと作業関係でトラブルがありますので、ここは気を引き締めてしっかり仕事をしていかなければならないと思います。よろしくお願いします。水処理の週報がありましたので、一週間の状況等、トラブルの状況について報告をします。

(安定化C水処理 PJ 部)(書面を使用)除染装置の方で水漏れが発生しましたので、概要を説明します。除染装置、通常 AREVA といっている装置ですが、上流側、セシウム吸着装置、KURION の装置の方から水を通しまして、高速凝集沈殿装置、超高速凝集沈殿装置で薬液を入れて放射性物質を凝集させて除去するという装

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

置になっています。今回漏れが確認されたのは、こちらのアクチフロー、超高速凝集沈殿装置の凝集槽に溜った水を循環させるラインのポンプ廻りから漏れ発生していることが確認されました。今現在は、二次反応槽という入口のタンクの手前から分岐しまして、凝集沈殿装置の出口側にバイパスがありますので、この装置をバイパスして、アクチフローという装置を隔離した状態にしています。実際、この凝集沈殿装置に水が溜っていますので、ドレンラインで水をはき出しまして今、漏れが止まっている状況です。線量が高いということで、漏洩箇所の確認ができていない状況ですが、遠隔カメラで見ますと、ポンプ廻りで漏れが発生していることが分かりますので、今後、状況分かり次第、ご報告したいと思います。実際、凝集の仕組みですが、上から薬液を入れた後に、この中を水を通しながら、凝集沈殿させて、沈殿槽の方からスラッジを抜き取って、ポンプで抜き出して循環させます。循環させて、一部、マイクロサンドという砂をこの中に戻してあげて、スラッジ自身を上流側、マルチフローという装置に戻してあげるという装置になっています。今現在、アクチフローをバイパスしていますので、この中の水が一巡するくらいのタイミングで再度、凝集沈殿装置のDF、水のサンプリングを行いまして、放射能の除去状況、DFを確認したいと思います。以上が水漏れの概要です。それから、今日、一週間分の水処理の週報を報告していますので、状況について報告します。各建屋の水の貯蔵状況ですが、1～4号機合わせて約91090m3ほどあります。前回に比べますと、各号機共、水が減っている状況です。こちらの方は KURION、AREVA の装置と SARRY の装置の2系列運転を行いまして、現在、水処理を行っていますので、水の貯蔵量としましては、減少しているという状況です。それから、水の移送先となりますプロセス主建屋、高温焼却炉の方も約22080m3ということで、前回報告に比べまして減っているという状況になっていまして、装置を2系列運転しているという状況で、貯蔵量の方が減っているという状況です。装置の性能ですが、セシウム134、137それぞれ、10+6オーダーで除去できています。SARRY については、5×10+4のオーダーで除去できているという状況で、所定の性能が出ていると考えています。淡水化処理装置の方ですが、入口で6000ppmあった水が、20ppmまで落ちているということで、こちらの方も所定の性能が得られていると考えています。処理した水、淡水に戻した水ですが、処理水については、一週間で2453m3使っていまして、累積で21547m3程淡水として再利用している状況です。水処理の一週間の運転状況は以上です。明日は SARRY1塔ベッセル交換を行います。KURION につきましてはベッセルの交換の予定があります。

(安定化C所長)3号機のCSからの注水関連での今日の状況、明日以降のスケジュールについて説明をお願いします。

(安定化C冷却PJ部)(書画を使用)3号機のCSラインの注入の作業ですが、本日、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

原子炉へ注水するホースの敷設の作業は全て完了しています。明日、予定通りCSからの注入の操作を開始したいと思います。1枚目のシートは、おさらいを兼ねていますが、CSのラインからの狙いがどこにあるかを簡単に説明します。右のポンチ絵に、この円筒状の筒が書いてありますが、一番外側の筒が原子炉圧力容器、真ん中の筒がシュラウド、炉心の燃料を入れておくもの、黄色の部分が燃料が入っていた炉心であります。炉内の熔融燃料は、現在どうなっているのか、正直、中を覗かないと分からないですが、我々の想定しているところだと、熔融燃料はRPVの底の部分に溜っているものと、一部、炉心を支えている炉心支持板と呼ばれているところに、熔融燃料があるのではないかと推定しています。現在、FDW、給水系から水を入れて炉心を冷やしていますが、この水は、炉心の下部に溜った熔融燃料には直接水がかかって下部のところは冷えています、炉心支持板のところにある熔融燃料に対しては、蒸気でもって冷やしていて、直接水では冷やしていないのではないかと考えています。今回、CSに切り替えますと、シュラウドでリング上のヘッダが組まれていて、ここから水を炉心に直接水を散水できますので、この露出している熔融燃料に対して直接水がかけられるということで、その結果、シュラウドの温度が冷えて、最後は圧力容器の温度が冷えるのではないかとということで、そういったところを狙いとしてCSからの注入を計画しています。明日の作業の予定ですが、これは明日1日のタイムスケジュールですが、明日の10:00に作業開始と考えています。まず、最初に屋外とT/Bのホースの水張り、昇圧、漏洩確認をやりたいと思います。こちらの作業は、本日の午後、1回やっていますが、SUSの屋外のフレキシブルチューブのカップリングのねじ込み部から一部滲みがあったということで、明日その部分を新しいホースに替えて、再度水張り、昇圧、漏洩確認をやるということで計画しています。その後、昇圧用のホースを外して、原子炉建屋にある止め弁、こちらに写真がありますが、こちらの止め弁を開いて、MO-12B、隔離弁の開操作、こちらは中央制御室の方で行います。その後、FDW、給水系とCSの流量の切り替え操作をやるということで、こちらは、高台にある炉注のポンプの出口にある流量調整弁と、2号機のT/Bの海側にあるFDWとCSを切り替える流量調整のヘッダがありますので、そちらのヘッダのバルブ操作で流量の切り替え操作をやることで考えています。こういった操作をやって、通水してから接続ホースから漏れがないかということで、原子炉建屋内を敷設した赤のラインのリークチェックを行うことで考えています。引き続き、流量調整と流量を増やした時の監視の考え方を本店の安全評価Gから紹介してもらいます。

(本店安全評価G) 只今、示しているのが、流量切り替え手順です。現在、 $7\text{m}^3/\text{h}$ で注水していますが、明日CSに切り替えるという段階で、CSを1日ずつホールドしながら、 $3\text{m}^3/\text{h}$ 増やしていきます。その後、その状態で48時間ホールドし、その後、給水系を $1\text{m}^3/\text{h}$ ずつ減らしていったら $4\text{m}^3/\text{h}$ まで、トータルで現在と同

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

じ7m³/hになるように下げていくというように考えています。その後につきましては、この状態で温度の状態を監視しつつ、その後どのようにしていくか再度検討したいと思います。つづきまして、CSに切り替え行く際の監視ですが、最初にCSの注入をしていく段階、前半部分につきましては、RPVの上部の温度、D/Wの圧力、環境モニタリングをやっていくと考えています。このように考える理由としては、いままで蒸気で冷却されていた部分が、直接水によって冷却されるということから、一時的に蒸気の発生量が増えるであろうということが考えられるため、上部の温度がどのように変わっていくのか、蒸気の発生によって圧力がどのように変わるか、影響はないと評価はしていますが、念のために、環境モニタリングで周辺に影響を及ぼしていないか、ということを確認していくと考えています。後半部につきましては、従前から監視をしています、RPV下部温度、下部ヘッド底部ヘッドと底部ヘッド上部温度を監視して上昇していかないか監視していきます。下部温度につきましては、48時間経過した段階で、温度上昇が見られるようであれば、24時間ホールドし、24時間内で温度上昇がなくなれば次のステップに進みますが、継続していくようであれば1m³/h戻してホールドすることを考えています。参考までに、温度の監視ポイントですが、こちらの方に図示しています。上部といった4点につきましては、上蓋フランジ、スタッドボルト、胴フランジと胴フランジ下部あたりの温度になります。後半の下の方の監視項目は、底部ヘッド上部と下部ヘッドということで、こういった温度を監視します。

(安定化C所長) 慎重に監視を見ていくということで、次のステップに行くときはよく確認をして、切り替えて行くことにしたいと思います。

(1F 所長) 直営で配管を引いてくれて大変だったと思いますが、台風の影響を考えたときに、ちょうど10m³/hになる、3日の台風が直撃しているときに増やすとか、切り替え操作はヤードでやるのですが、台風とのタイミングがありますから、今の工程表ありきでやるということではなくて、柔軟に見て、台風の状況とか見てやっていただければと思いますので、検討をお願いします。

(安定化C冷却PJ部) おっしゃるとおりで、流量の増加もT/Bの滞留水の増加傾向を見て、あと、屋外の作業も天候の状況を見て、工程ありきではなく、難しそうであれば一旦ホールドしてと言う形でやりたいと思います。

(安定化C環境影響評価G) 先程の説明で影響は見られないと評価しているのですが、念のためのモニタリングということで、CSから注水が開始されてから蒸気発生量が一時的に増加する期間内において、環境モニタリングを実施しようと考えています。実施の項目、内容につきましては、先に2号機、3号機で実施しましたN2封入のモニタリングと同じ考えで計画をしています。具体的には、敷地の周辺の空間線量をモニタリングポストで監視していく、敷地内の空気中の放射性物質をモニタリングカーで風下方向で監視をします。モニタリングポストにつまし

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

では、7番、8番が周辺のバックグラウンドが高いということで、N2封入時も平行観測ということで、比較的低い地点で計測器を設置して今回も同様な対応をとることで計画しています。監視の期間ですが、開始3時間は少し頻度をあげてモニタリングポストの監視、ダスト濃度測定をします。それ以降、1日間の期間において監視継続しようと考えています。

(安定化C所長)モニタリングも天候の変動があれば、状況が変わってしまうこともありますので、先程の話と関係しますが、状況を見て実施していくことかと思えます。福島第二の進入路で土木の方で段取りをしていますので紹介してください。

(?)道路の開通の状況です。震災で福島第二の進入路部分の南、いわき方面を見たものですが、道路通行止めになっていて国交省のほうで道路の復旧工事をしていますが、今日の3時に開通しました。ここを左に行くと福島第二になります。写真は2車線ありますが、1車線になっていて、片側交互開通での開通ということです。工事は引き続き行われますが、全線開通時期はまだ見通しが立っていないという状況です。Jヴィレッジから1Fまでは6号線を通じて移動できる状況が整ったということです。

(安定化C環境影響評価G)1Fの南北のところで放水口の海水サンプリングを実施していますが、7月以降、NDとなっています。検出下限値が高いということが一つの原因となっていますので、ダストの検出下限値を下げる試みを今、実施していますが、放水口につきましても明日採取分から分析をするときの水の量を増やす等を実施して、検出下限値を下げる予定です。海域の検出下限値と同程度に下げる予定です。

(本店保安班)本日、厚労省に3月、4月、5月と、それと6月分の内部被ばく線量と外部被ばくの線量評価について報告しています。このうち、内部被ばくについて紹介します。3月、4月、5月と順調に線量は下がっていき、今回始めて報告をしました6月分につきましては、最大の内部被ばくが1.67ということで、10m以下のところに全部の方がということでありまして、予定通り下がっています。未測定は6月ですと300人弱となっていて、3月、4月、5月からは減ってはいます。行方不明者の取り組みについて報告をしていまして、9月末目途に徹底して調査することになっています。6月に、J ヴィレッジにバーコードを導入した6/8以降は、不明は存在していないということで、7月以降もないと思っています。報告聴取ですが、厚労省から文書をいただいています。緊急時作業に係わる被ばく限度の引き下げについての検討にかかる協力依頼ということで、現在、特別ということで250mSvとなっていますが、線量が下がっている状況も踏まえて、緊急時の解除時に平常時に戻すということで、厚労省としては段階的に緊急時被ばく線量を下げたいと、それについて東京電力に検討の協力を依頼する文書です。具体的にはSETP2で発生する高線量被ばくの作業の洗い出し、作業場所の洗い出し、線量

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

低減対策について検討してくれということです。関係する保安院と連携して取り組むことを考えています。福島労働局からは是正勧告書をいただいています。内部被ばくの関係ですが、3月に従事した方で、3ヶ月以内にWBC受けていない、法令では受けることになっていますので、それに抵触することになりますので、是正勧告がでています。東京電力としては、残念ながら8名の方が6月末にでています。これは、その後は発生していないということと、8名のうち7名の方が7月に受験してもらっています。対応についてご報告することになっています。

(本店広報班)本日のプレスへの説明対応の状況について説明します。午前中は11:00～11:40で実施しています。3号機の炉注のスケジュールについて、仮設タンクの設置状況について、白血病を発症された方についての質問、追加ライブカメラに移った作業員についての追加質問がありました。夕方の会見は18時から開催しています。通常のサンプリング状況に加えまして、海側の遮水壁の設置、福島第一の緊急作業に従事した人の線量評価状況、溜り水の貯蔵状況、処理状況について公表しています。先程、身体汚染の件がありましたので、内容を確認させていただいて、今の会見でどの程度までお話しできるか検討したいと思います。

(2F)本日、3号機の非常用ディーゼル発電機のA系の確認運転が完了しまして待機状態とすることができました。2号機、3号機、4号機はA系、B系両系の非常用電源が復旧しましたので、多重性を確保することができました。台風対策として、2号機と4号機の残留熱除去系のA系からB系に切り替えて電源の信頼性を確保するものですが、無事終了しました。

(安定化C)水処理は情報が入り次第適宜ご連絡するということで今後も対応したいと思います。本日の統合本部全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～